

こどもの権利に関する意識調査（２回目）  
報 告 書

令和７年 11 月  
文 京 区



# 目 次

1 調査実施概要 .....	3
（1）目的 .....	3
（2）調査対象者及び調査方法 .....	3
（3）調査期間 .....	3
（4）回収数 .....	3
（5）報告書の見方 .....	3
（6）調査結果の概要 .....	5
2 こども向け調査 調査結果 .....	12
（1）学年 .....	12
（2）「こどもの権利」に関する認知度 .....	13
（3）自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うか .....	20
（4）自分の気持ちや意見を言うことができているか .....	31
（5）自分のことを決めるときに自分の気持ちや意見を確認されているか .....	33
（6）自分の気持ちや意見を受け止めてもらっているか .....	35
（7）相談相手の有無 .....	37
（8）相談相手 .....	38
（9）相談手段 .....	40
（10）居場所の有無 .....	42
（11）希望する居場所 .....	44
（12）大人や社会に希望すること .....	46
（13）「こどもの権利」の周知方法 .....	48
（14）自由回答 .....	50
3 大人向け調査 調査結果 .....	53
（1）年齢 .....	53
（2）こどもの就学段階 .....	53
（3）こどもと関わる機会の有無 .....	54
（4）「こどもの権利」に関する認知度 .....	55
（5）「こどもの権利」を意識してこどもと接しているか .....	59
（6）「こどもの権利」が大切にされているか .....	61
（7）こどもは気持ちや意見を言うことができているか .....	64
（8）こどもの気持ちや意見を確認しているか .....	65
（9）こどもの相談相手になっているか .....	66
（10）相談手段 .....	67
（11）こどもの居場所 .....	68
（12）周りの大人が「こどもの権利」を守るために行うべきこと .....	70

(13) 社会や行政が「こどもの権利」を守るために行うべきこと .....	71
(14) 「こどもの権利」の周知方法 .....	72
(15) 自由回答 .....	73
<b>資料編</b> .....	<b>77</b>
(1) 調査依頼ハガキ .....	77
(2) 調査依頼チラシ .....	79
(3) 調査画面 .....	81

# 1 調査実施概要

## (1) 目的

本調査は、令和6年10月・11月に実施した意識調査に引き続き、こどもの権利の現状を把握するために実施した。

## (2) 調査対象者及び調査方法

区内在住・在勤・在学の方を調査対象とした。調査対象者の詳細、調査方法は以下のとおり。

調査対象者	調査方法
① 小学1～3年生	・WEB アンケート形式で実施。 ・令和7年4月2日時点で区内在住の調査対象者本人宛てにWEB アンケートにつながる二次元コードを掲載したはがきを送付するほか、区立小学校、中学校に調査への協力を依頼した。
② 小学4～6年生	
③ 中学生	
④ 高校生相当	
⑤ 大人	・WEB アンケート形式で実施。 ・区報、区 HP、SNS、区設掲示板等で周知するほか、二次元コードを掲載したチラシを区有施設等で配架した。 ・就学前児童の保護者については、令和7年4月2日時点で区内在住の就学前児童宛に二次元コードを掲載したはがきを送付し、保護者に回答を依頼した。

## (3) 調査期間

令和7年5月9日（金）～令和7年6月8日（日）

## (4) 回収数

調査対象者	回収数
① 小学1～3年生	922 件
② 小学4～6年生	1,033 件
③ 中学生	1,098 件
④ 高校生相当	907 件
⑤ 大人	2,969 件
計	6,929 件

※ 本調査は、区内在住・在勤・在学の方を対象としており、母数が特定されないため回収率は算出されず、回収数のみを記載している。

## (5) 報告書の見方

回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。

複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。

小学生向けの調査は学年にあわせてひらがな、または、ルビ付きの漢字表記としたが、本報告書では漢字表記で統一している。また、小学生向け調査は、選択肢を平易な表現にしているが、本報告書で中学生以上を対象にした調査とまとめた形で調査結果に言及する際は、中学生以上の調査の選択肢にあわせた表現で調査結果に言及している。

クロス集計の分析で、分析の軸（＝表側）が対になっている項目については、比率の差を記述している。その表現は％ではなく、ポイントであらわすこととしている。

統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりとしている。

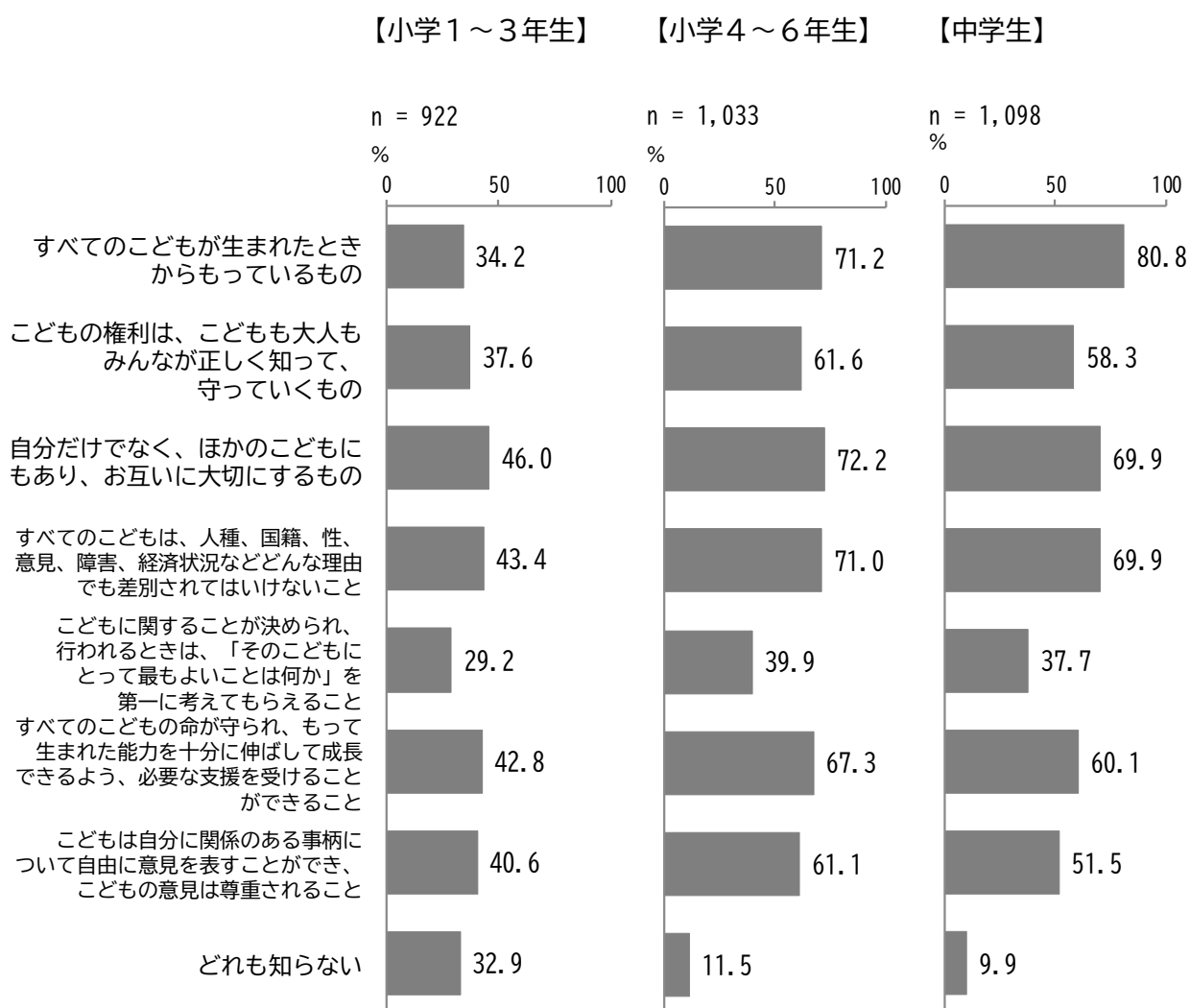
例	表現
17.0～19.9%	2割近く
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	3割近く

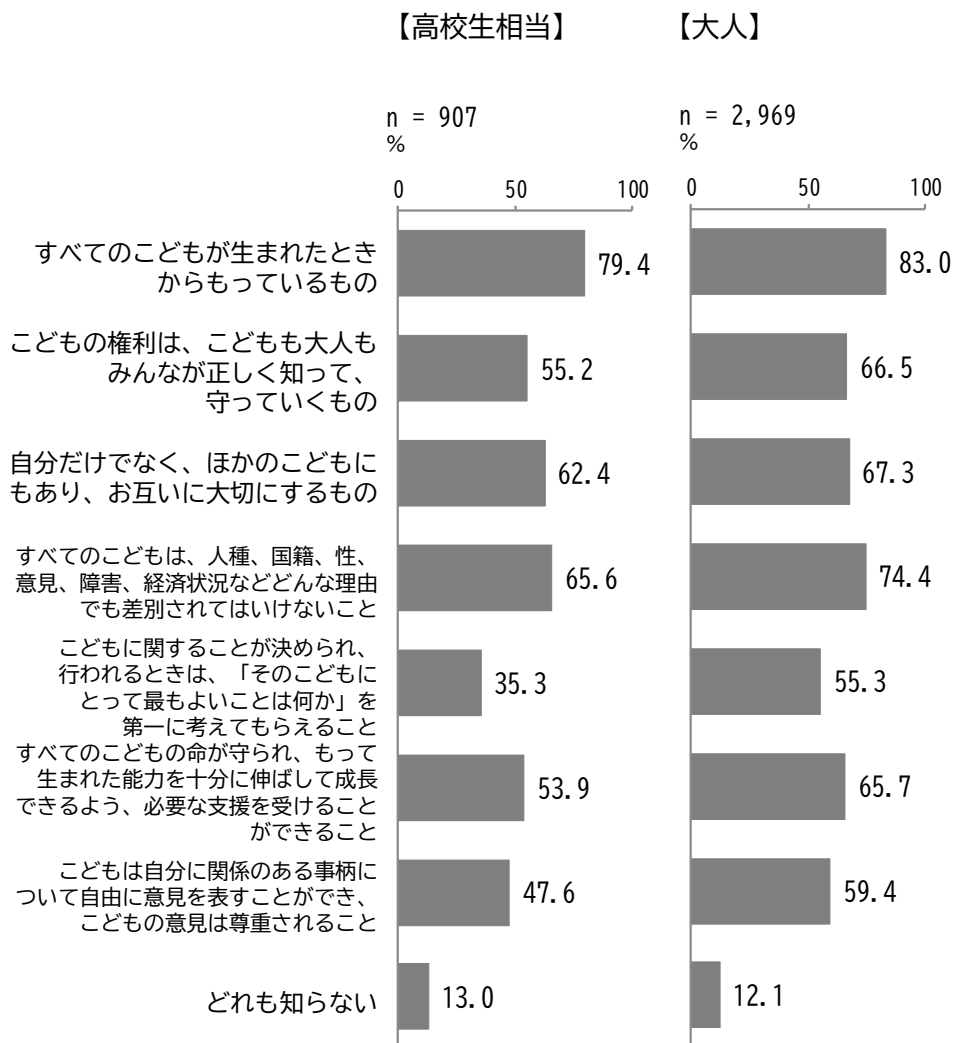
クロス集計の分析の軸（＝表側）で、基数が30を下回るものについては、調査数が少ないため参考として図示するに留め、文中では言及をしない。

## (6) 調査結果の概要

### ①「こどもの権利」に関する認知度

「こどもの権利」に関する認知度は、小学4～6年生以上の学年の層と大人では、「すべてのこどもが生まれたときから持っているもの」、「自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にするもの」、「すべてのこどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと」（小学4～6年生：「すべてのこどもは、どんな理由があっても差別されてはいけないこと」）と回答した割合が高くなっている。一方、「こどもに関することが決められ、行われるときは、「そのこどもにとって最もよいことは何か」を第一に考えてもらえること」（小学生：「こどものことが決められるときは、こどもにとって1番よいことを考えてもらえること」）は、すべての学年の層と大人で低い傾向にある。

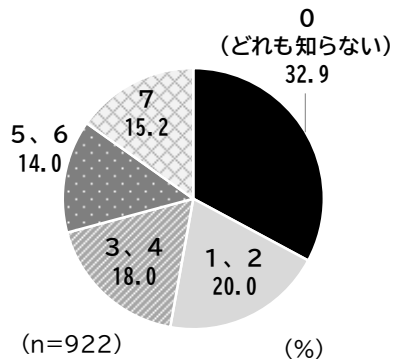




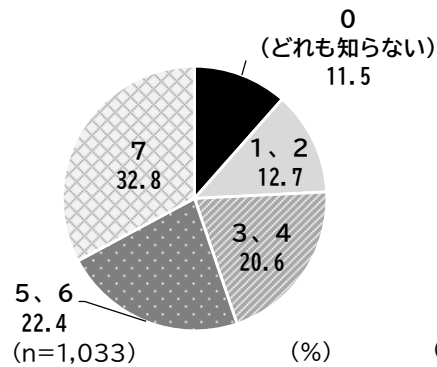
## ②「こどもの権利」に関する認知度（回答数）

「こどもの権利」に関する認知度の回答数は、小学1年生は「0（どれも知らない）」と回答した割合が最も高く3割を超えているが、小学4～6年生以上の学年の層は「5、6」、「7」が5割前後を占め、大人は「7」が5割近くを占めて高くなっている。

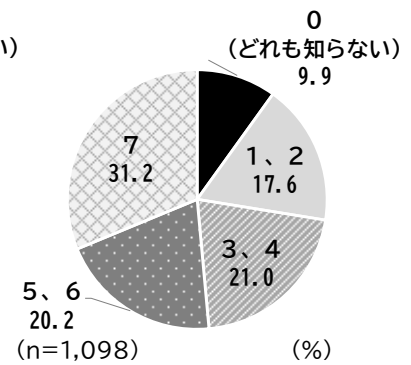
【小学1～3年生】



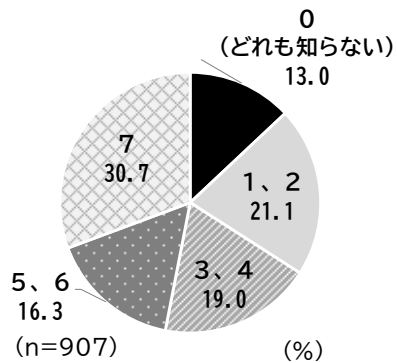
【小学4～6年生】



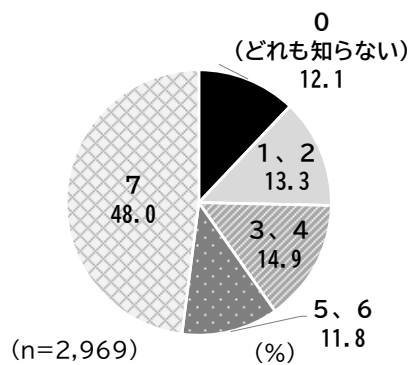
【中学生】



【高校生相当】



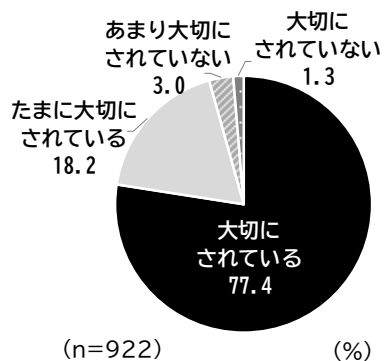
【大人】



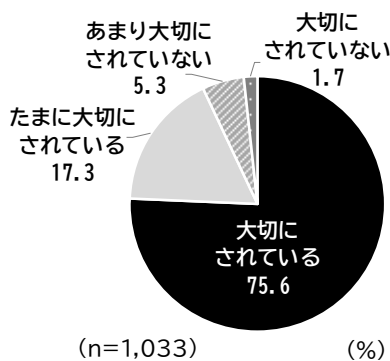
### ③「こどもの権利」が大切にされているか

「こどもの権利」が大切にされているかは、こどもでは、すべての学年の層で「大切にされている」が6割以上を占めているが、学年の層が上がるほど回答割合が低くなっている。大人では、文京区において「こどもの権利」が「大切にされている」と回答した割合が3割台半ば、「たまに大切にされている」が3割近くとなっている。

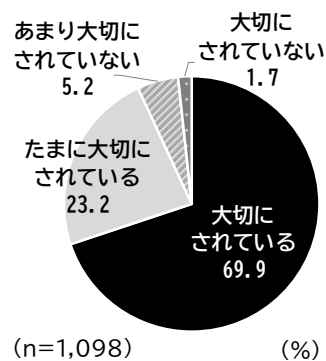
【小学1～3年生】



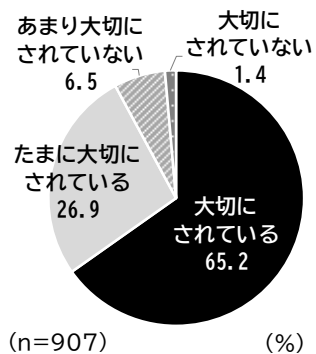
【小学4～6年生】



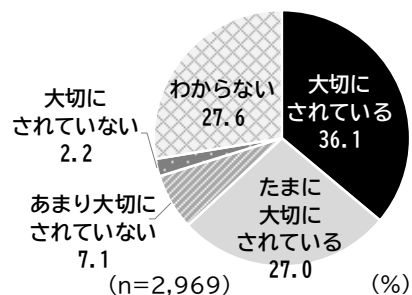
【中学生】



【高校生相当】



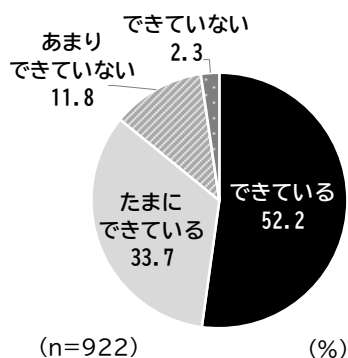
【大人】



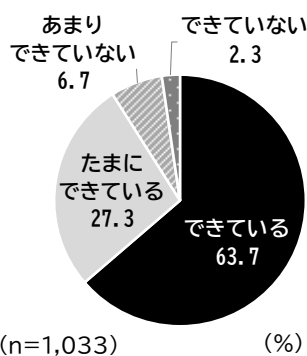
#### ④こどもは自分の気持ちや意見を言うことができるか

こどもは自分の気持ちや意見を言うことができるかは、こどもでは、すべての学年の層で「できている」と回答した割合が最も高くなっており、小学1～3年生は5割を超え、小学4～6年生以上の層は6割台となっている。一方、小学1～3年生で「できていない」と「あまりできていない」をあわせた回答割合は1割台半ばと他の学年の層と比較して高くなっている。大人では文京区においてこどもは自分の気持ちや意見を言うことが「できている」と回答した割合が3割を超え、「たまにできている」と回答した割合は3割台半ばとなっている。

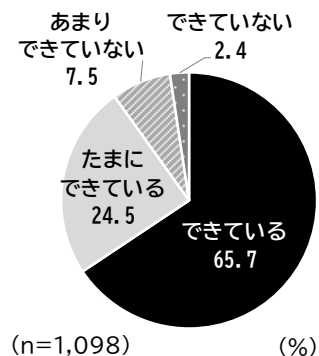
【小学1～3年生】



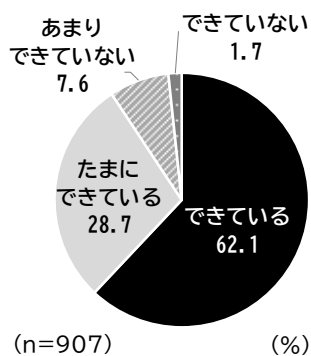
【小学4～6年生】



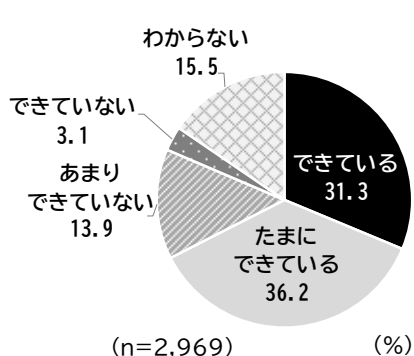
【中学生】



【高校生相当】



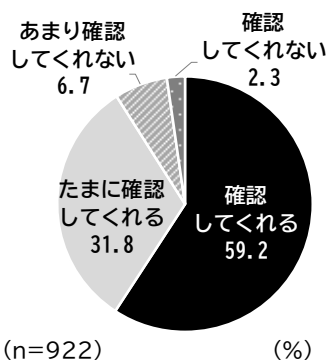
【大人】



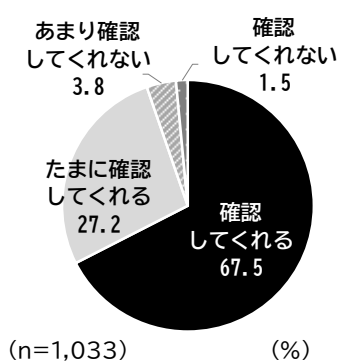
### ⑤大人はこどもの気持ちを確認しているか

大人はこどもの気持ちを確認しているかは、こどもでは、すべての学年の層で「確認してくれる」が5割以上を占めており、学年の層が上がるほど回答割合が高くなっている。大人では、「確認している」が7割を超えて高くなっている。

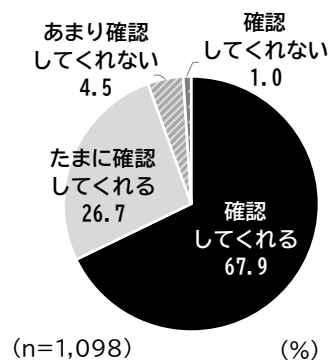
【小学1～3年生】



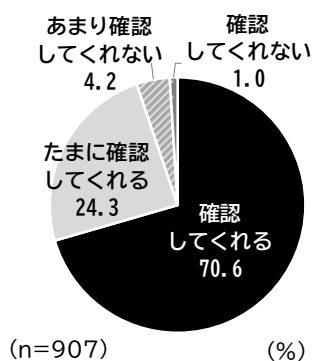
【小学4～6年生】



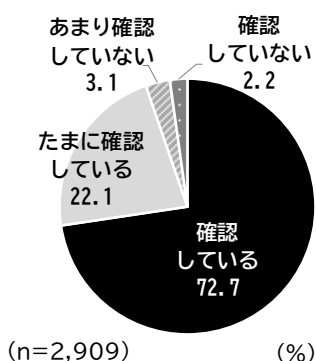
【中学生】



【高校生相当】



【大人】

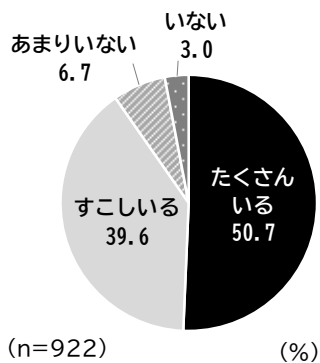


※ 大人は、P.53（2）こどもの就学段階で「未就学児」、「小学1～3年生」、「小学4～6年生」、「中学生」、「高校生相当」と回答およびP.54（3）こどもと関わる機会の有無で「ある」と回答した2,909人が回答の対象

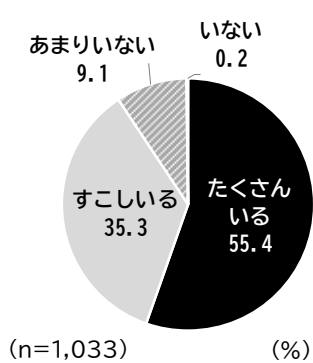
## ⑥こどもの相談相手

こどもの相談相手は、中学生以下の学年の層では、「たくさんいる」が最も高くなっているが、高校生相当では、「すこしいる」が4割台半ばで最も高く、「たくさんいる」は4割近くなっている。大人では、こどもの相談相手に「なっている」が5割台半ばと最も高くなっている。

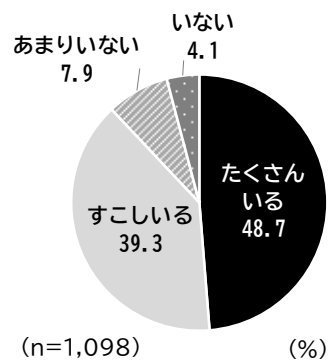
【小学1～3年生】



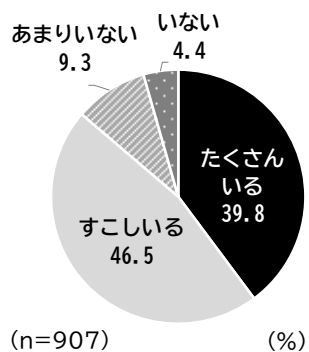
【小学4～6年生】



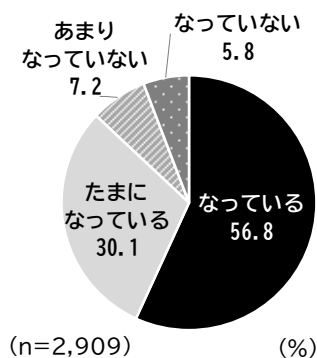
【中学生】



【高校生相当】



【大人】



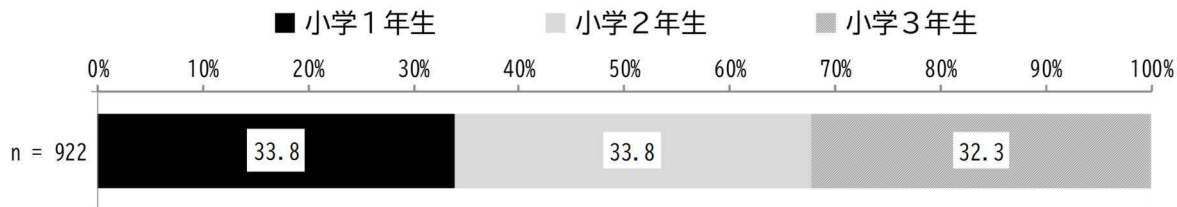
※ 大人は、P. 53 (2) こどもの就学段階で「未就学児」、「小学1～3年生」、「小学4～6年生」、「中学生」、「高校生相当」と回答およびP. 54 (3) こどもと関わる機会の有無で「ある」と回答した2,909人が回答の対象

## 2 こども向け調査 調査結果

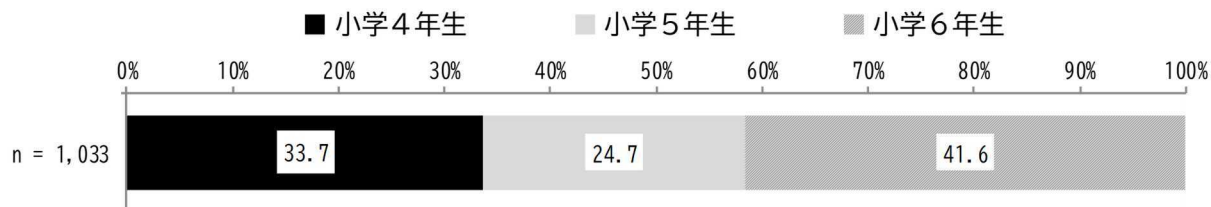
### (1) 学年

問1 あなたの学年を教えてください。(単数回答)

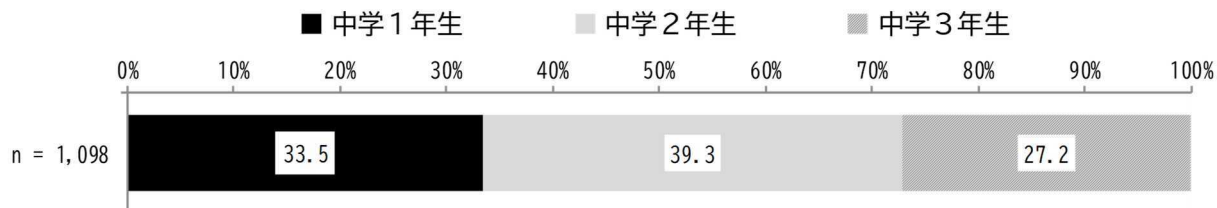
#### 【小学1～3年生】



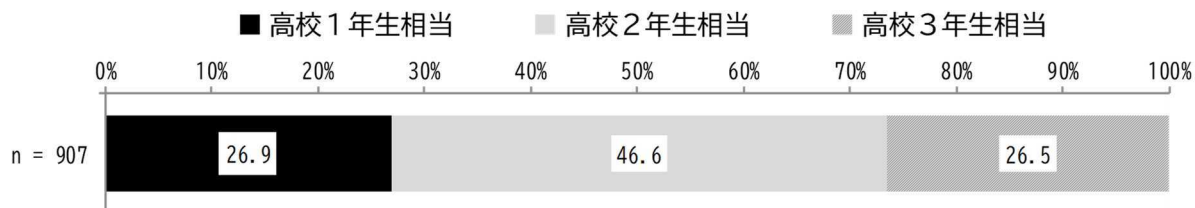
#### 【小学4～6年生】



#### 【中学生】



#### 【高校生相当】



学年は、小学1～3年生では、「小学1年生」、「小学2年生」が33.8%で高くなっている。

小学4～6年生では、「小学6年生」が41.6%で最も高くなっている。

中学生では、「中学2年生」が39.3%で最も高くなっている。

高校生相当では、「高校2年生相当」が46.6%で最も高くなっている。

## (2) 「こどもの権利」に関する認知度

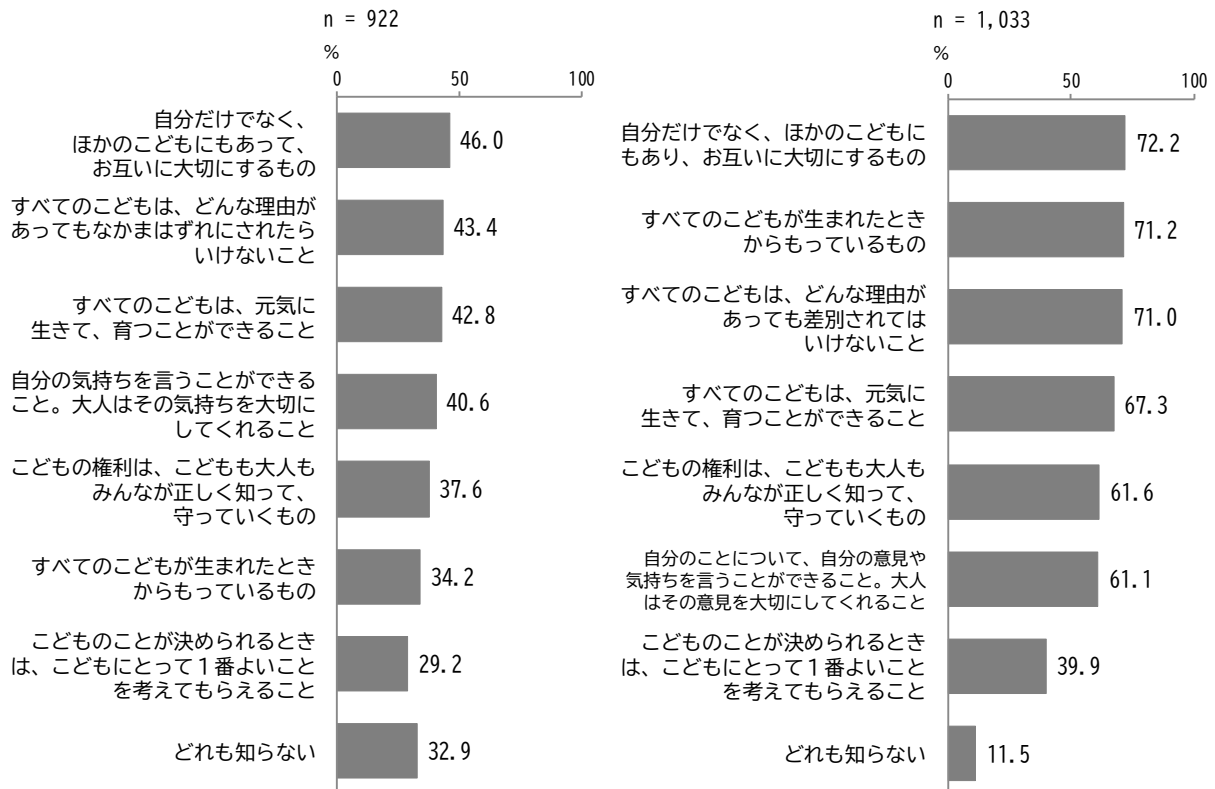
問2 こどもには元気で健康に自分らしく育ち、ありのままの自分で生きるために必要な「こどもの権利」があります。

「こどもの権利」について知っていることはありますか。すべて教えてください。

(複数回答)

### 【小学1～3年生】

### 【小学4～6年生】



「こどもの権利」に関する認知度は、小学1～3年生では、「自分だけでなく、ほかのこどもにもあって、お互いに大切にするもの」が46.0%で最も高く、以下、「すべてのこどもは、どんな理由があってもなかまはずれにされたいいけないこと」(43.4%)、「すべてのこどもは、元気に生きて、育つことができること」(42.8%)、「自分の気持ちを言うことができること。大人はその気持ちを大切にしてくれること」(40.6%)となっている。

小学4～6年生では、「自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にするもの」が72.2%で最も高く、以下、「すべてのこどもが生まれたときからもっているもの」(71.2%)、「すべてのこどもは、どんな理由があっても差別されてはいけないこと」(71.0%)、「すべてのこどもは、元気に生きて、育つことができること」(67.3%)となっている。

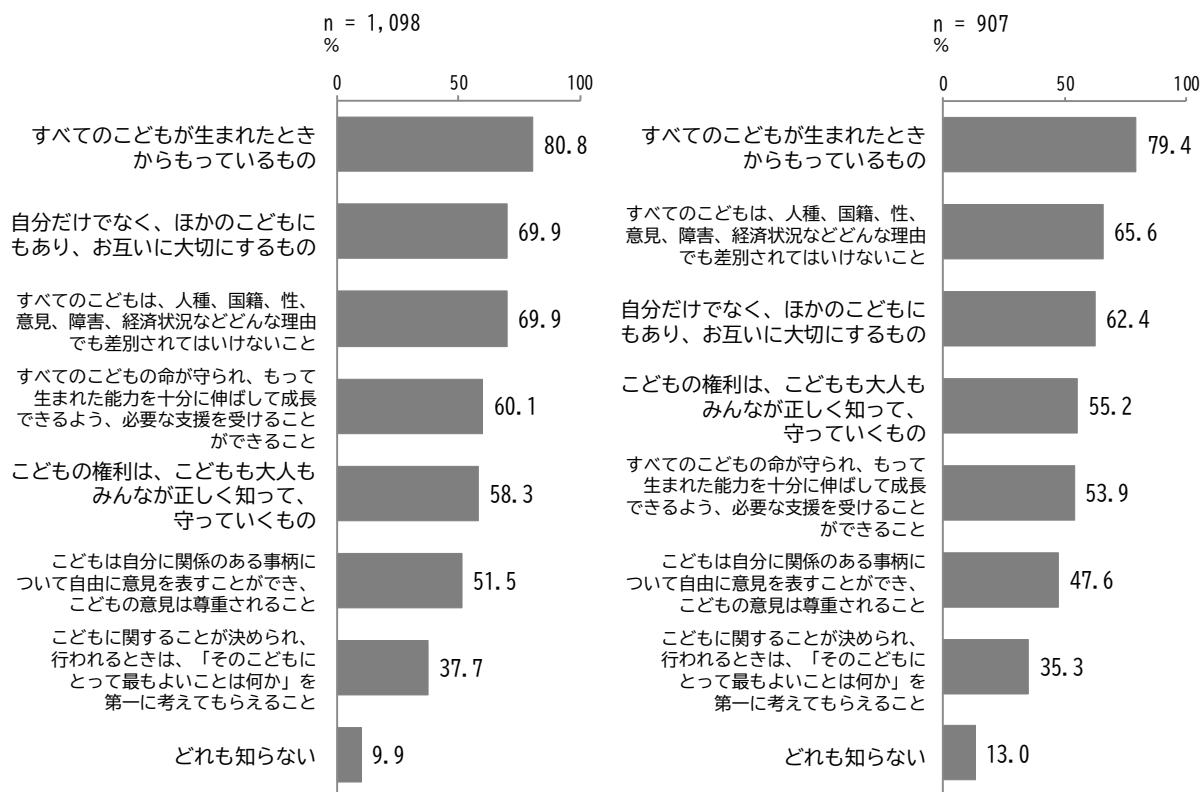
問2 こどもには元気で健康に自分らしく育ち、ありのままの自分で生きるために必要な「こどもの権利」があります。

「こどもの権利」について知っていることはありますか。すべて教えてください。

(複数回答)

【中学生】

【高校生相当】



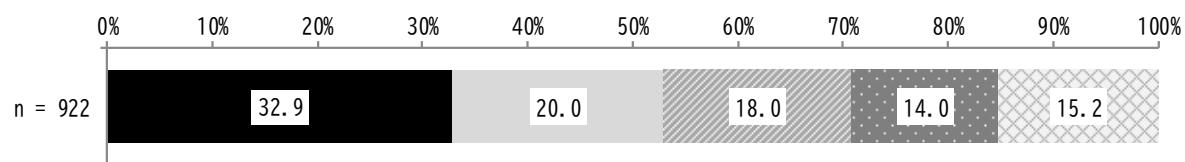
「こどもの権利」に関する認知度は、中学生では、「すべてのこどもが生まれたときからもっているもの」が80.8%で最も高く、以下、「自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にすることも」(69.9%)、「すべてのこどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと」(69.9%)、「すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、必要な支援を受けることができること」(60.1%)となっている。

高校生相当では、「すべてのこどもが生まれたときからもっているもの」が79.4%で最も高く、以下、「すべてのこどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと」(65.6%)、「自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にすることも」(62.4%)、「こどもの権利は、こどもも大人もみんなが正しく知って、守っていくもの」(55.2%)となっている。

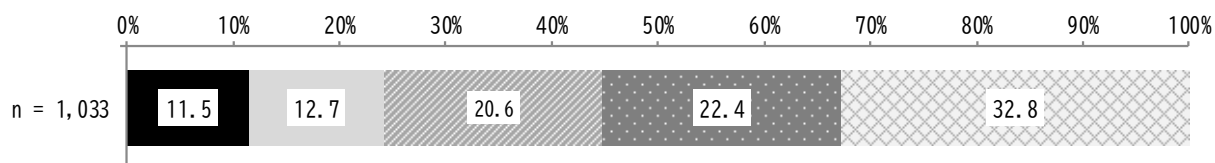
< 「こどもの権利」に関する認知度（回答数） >

■ 0（どれも知らない）    ■ 1、2    ■ 3、4    ■ 5、6    ■ 7

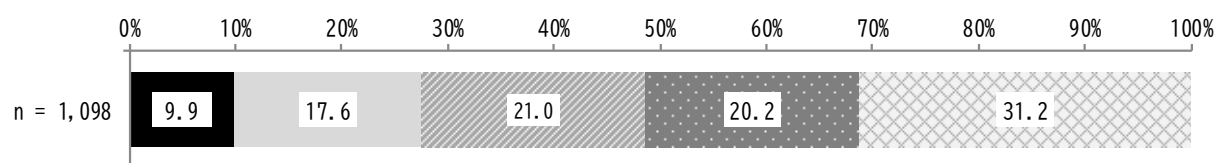
【小学1～3年生】



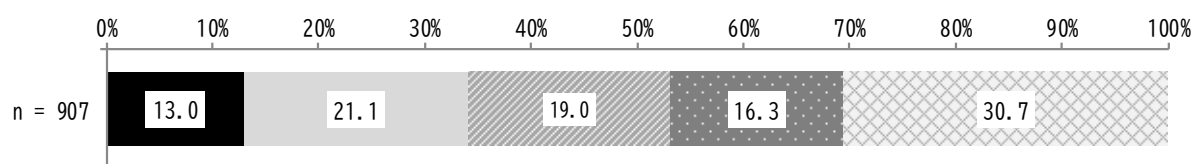
【小学4～6年生】



【中学生】



【高校生相当】



「こどもの権利」に関する認知度を回答数別でみると、小学1～3年生では、「0（どれも知らない）」が32.9%で最も高く、以下、「1、2」（20.0%）、「3、4」（18.0%）となっている。

小学4～6年生では、「7」が32.8%で最も高く、以下、「5、6」（22.4%）、「3、4」（20.6%）となっている。

中学生では、「7」が31.2%で最も高く、以下、「3、4」（21.0%）、「5、6」（20.2%）となっている。

高校生相当では、「7」が30.7%で最も高く、以下、「1、2」（21.1%）、「3、4」（19.0%）となっている。

【小学1～3年生】

「こどもの権利」に関する認知度を自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うか別でみると、「自分の気持ちを言うことができること。大人はその気持ちを大切にしてくれること」は“大切にされている（計）”が“大切にされていない（計）”よりも 24.1 ポイント高くなっている。一方、「どれも知らない」は“大切にされていない（計）”が“大切にされている（計）”よりも 23.1 ポイント高くなっている。

【小学4～6年生】

(%)

		調査数（n）	もすべてのこどもが生まれたときから	こどもの権利は、こどもも大人もみんなが正しく知って、守っていくもの	自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切ににするもの	すべてのこどもは、どんな理由があっても差別されてはいけないこと	こどものことが決められるときは、こどもにとつて1番よいことを考えてもらえること	すべてのこどもは、元気に生きて、育つことができること	自分のことについて、自分の意見や気持ちを言うことができること。大人はその意見を大切にしてくれること	どれも知らない
全 体		1,033	71.2	61.6	72.2	71.0	39.9	67.3	61.1	11.5
別に「自分の権利が大切か」と思っている	大切にされている（計）	960	71.9	61.7	73.0	71.6	39.3	67.9	61.1	10.9
	大切にされていない（計）	73	63.0	60.3	61.6	63.0	47.9	58.9	60.3	19.2

「こどもの権利」に関する認知度を自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うか別でみると、「自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にするもの」は“大切にされている（計）”が“大切にされていない（計）”よりも11.4ポイント高くなっている。一方、「こどものことが決められるときは、こどもにとって1番よいことを考えてもらえること」は“大切にされていない（計）”が“大切にされている（計）”よりも8.6ポイント、「どれも知らない」も“大切にされていない（計）”が“大切にされている（計）”よりも8.3ポイント高くなっている。

【中学生】

		調査数（n）	すべてのこどもが生まれたときからもっているもの	こどもの権利は、こどもも大人もみんなが正しく知って、守っていくもの	自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にするもの	見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	すべてのこどもは、人種、国籍、性、意識、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	こどもに関することが決められ、行われるときは、「そのこどもにとつて最もよいことは何か」を第一に考えてもらえること	こどもに必要な支援を受けることができること	すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できること	は尊重されること	こどもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、こどもの意見は尊重されること	(%)
全 体		1,098	80.8	58.3	69.9	69.9	37.7	60.1	51.5	9.9			
別に 思う か	自分の「こどもの権利」が大切	1,022	81.3	58.9	71.3	70.9	37.9	61.1	51.6	9.3			
	大切でない	76	73.7	50.0	51.3	56.6	35.5	47.4	50.0	18.4			

「こどもの権利」に関する認知度を自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うか別でみると、「自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にするもの」は“大切にされている（計）”が“大切にされていない（計）”よりも 20.0 ポイント高くなっている。一方、「どれも知らない」は“大切にされていない（計）”が“大切にされている（計）”よりも 9.1 ポイント高くなっている。

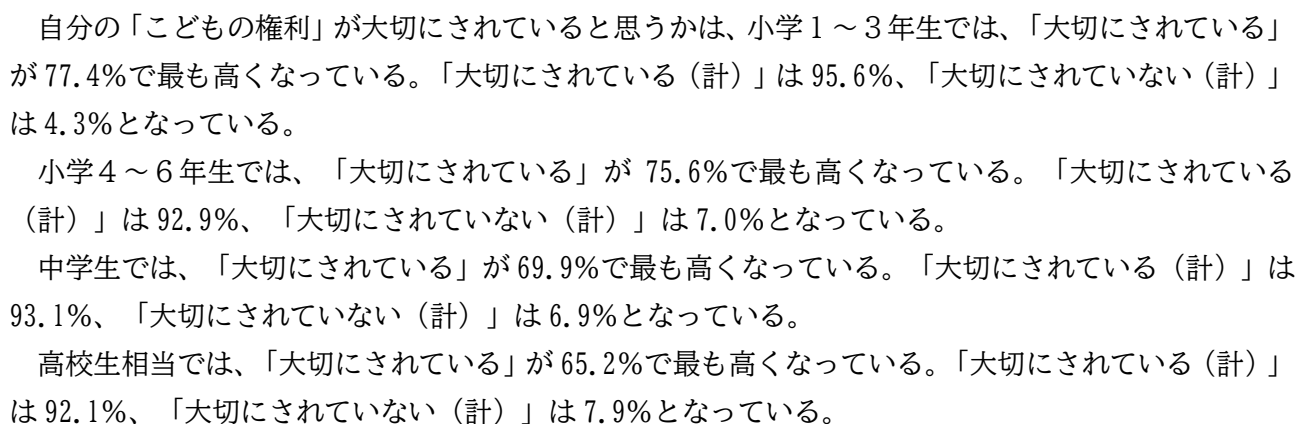
【高校生相当】

(%)

		調査数（n）	すべてのこどもが生まれたときからもっているもの	こどもの権利は、こどもも大人もみんなが正しく知って、守っていくもの	自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にすることも	見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	すべてのこどもは、人種、国籍、性、意識、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	こどもに関することが決められ、行われるときは、「そのこどもにとつて最もよいこととは何か」を第一に考えてもらえること	う、必要な支援を受けることができること	すべてのこどもの命が守られ、もつて生まれた能力を十分に伸ばして成長できること	は尊重されること	こどもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、こどもの意見は尊重されること	どれも知らない
全 体		907	79.4	55.2	62.4	65.6	35.3	53.9	47.6	13.0			
別に「自分の権利を大切にしている」と思っているか	大切にされている（計）	835	79.4	55.7	62.8	66.0	35.7	54.1	47.9	12.6			
	大切にされていない（計）	72	79.2	50.0	58.3	61.1	30.6	51.4	44.4	18.1			

「こどもの権利」に関する認知度を自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うか別でみると、「こどもの権利は、こどもも大人もみんなが正しく知って、守っていくもの」は“大切にされている (計)”が“大切にされていない (計)”よりも 5.7 ポイント、「こどもに関することが決められ、行われるときは、「そのこどもにとって最もよいことは何か」を第一に考えてもらえること」も“大切にされている (計)”が“大切にされていない (計)”よりも 5.1 ポイント高くなっている。一方、「どれも知らない」は“大切にされていない (計)”が“大切にされている (計)”よりも 5.5 ポイント高くなっている。

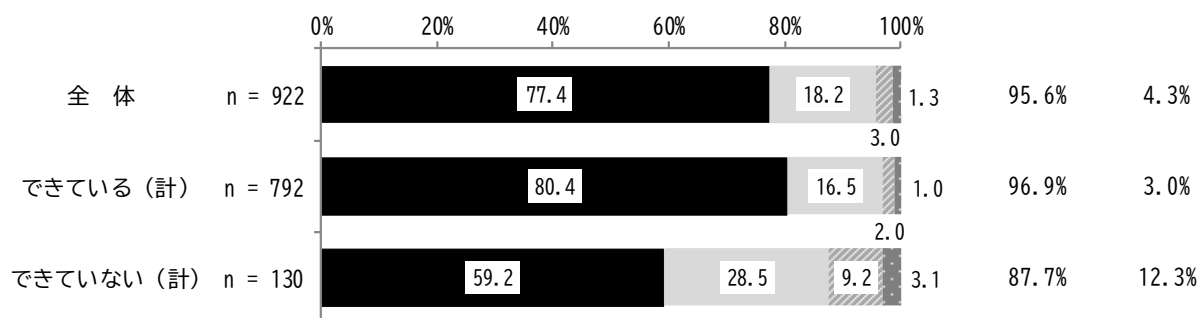
問3 あなたの「こどもの権利」は大切にされていると思いますか。(単数回答)



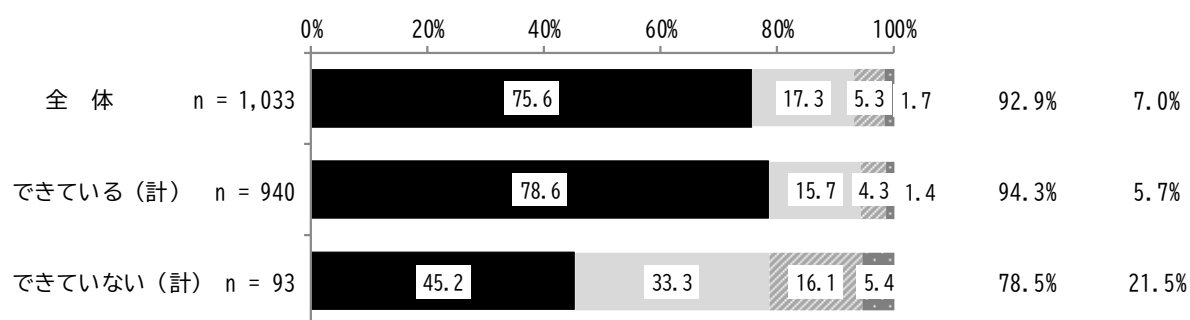
<自分の気持ちや意見を言うことができるか別の自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うか>

■ 大切にされている      □ たまに大切にされている      大切にされている (計)  
 ▨ あまり大切にされていない      ■ 大切にされていない      大切にされていない (計)

### 【小学1～3年生】



### 【小学4～6年生】



自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うかを自分の気持ちや意見を言うことができるか別でみると、小学1～3年生で「大切にされている」は“できている (計)”が“できていない (計)”よりも21.2ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“できていない (計)”が“できている (計)”を上回っており、「たまに大切にされている」は“できていない (計)”が“できている (計)”よりも12.0ポイント高くなっている。

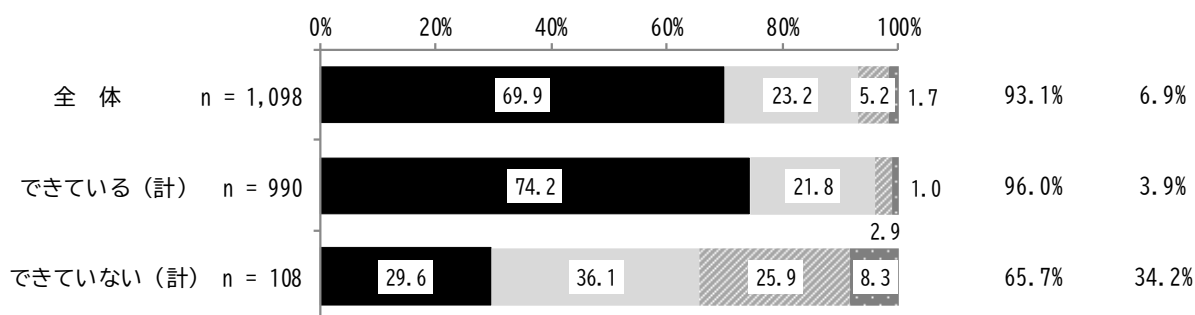
小学4～6年生で「大切にされている」は“できている (計)”が“できていない (計)”よりも33.4ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“できていない (計)”が“できている (計)”を上回っており、「たまに大切にされている」は“できていない (計)”が“できている (計)”よりも17.6ポイント高くなっている。

■ 大切にされている      □ たまに大切にされている  
 ▨ あまり大切にされていない      ■ 大切にされていない

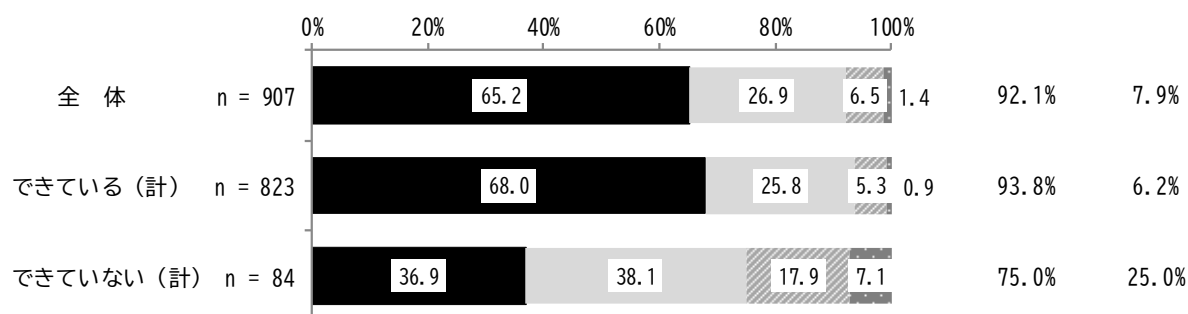
大切に  
 されている  
 (計)

大切にされ  
 ていない  
 (計)

### 【中学生】



### 【高校生相当】



自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うかを自分の気持ちや意見を言うことができているか別でみると、中学生で「大切にされている」は“できている (計)”が“できていない (計)”よりも 44.6 ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“できていない (計)”が“できている (計)”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“できていない (計)”が“できている (計)”よりも 23.0 ポイント高くなっている。

高校生相当で「大切にされている」は“できている (計)”が“できていない (計)”よりも 31.1 ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“できていない (計)”が“できている (計)”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“できていない (計)”が“できている (計)”よりも 12.6 ポイント、「たまに大切にされている」も“できていない (計)”が“できている (計)”よりも 12.3 ポイント高くなっている。

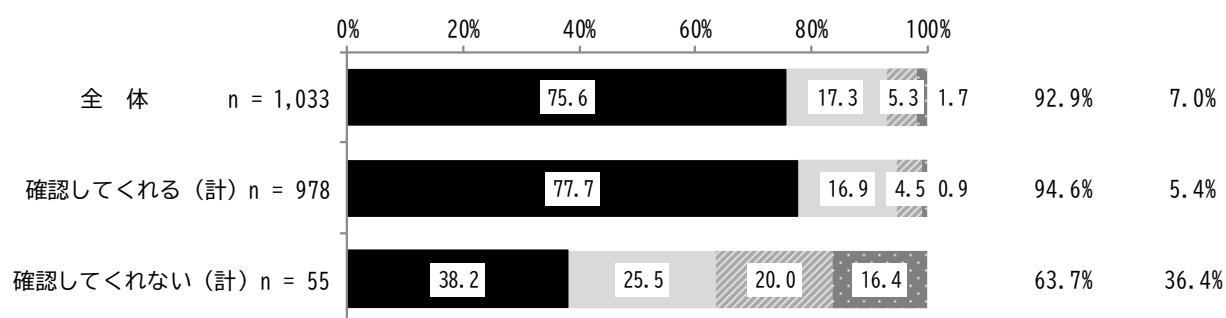
<自分のことを決めるときに自分の気持ちや意見を確認されているか別の自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うか>

■ 大切にされている      □ たまに大切にされている      大切にされている (計)  
 ▨ あまり大切にされていない      ■ 大切にされていない      大切にされていない (計)

### 【小学1～3年生】



### 【小学4～6年生】



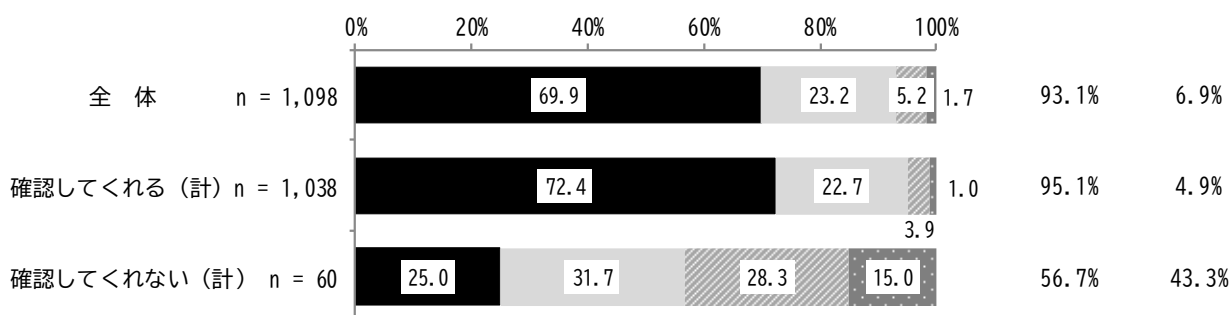
自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うかを自分のことを決めるときに自分の気持ちや意見を確認されているか別でみると、小学1～3年生で「大切にされている」は“確認してくれる (計)”が“確認してくれない (計)”よりも 29.5 ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“確認してくれない (計)”が“確認してくれる (計)”を上回っており、「たまに大切にされている」は“確認してくれない (計)”が“確認してくれる (計)”よりも 15.7 ポイント高くなっている。

小学4～6年生で「大切にされている」は“確認してくれる (計)”が“確認してくれない (計)”よりも 39.5 ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“確認してくれない (計)”が“確認してくれる (計)”を上回っており、「大切にされていない」、「あまり大切にされていない」は“確認してくれない (計)”が“確認してくれる (計)”よりも 15.5 ポイント高くなっている。

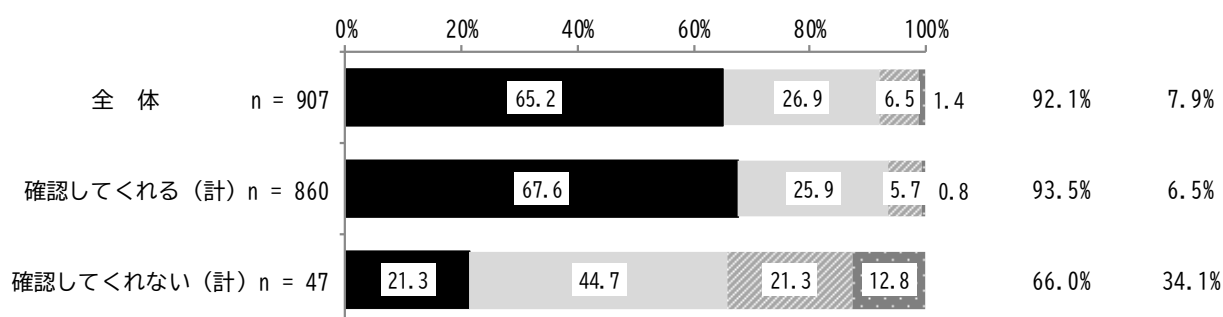
■ 大切にされている      □ たまに大切にされている  
 ▨ あまり大切にされていない      ■ 大切にされていない

大切に  
されている  
(計)      大切にされ  
ていない  
(計)

### 【中学生】



### 【高校生相当】



自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うかを自分のことを決めるときに自分の気持ちや意見を確認されているか別でみると、中学生で「大切にされている」は“確認してくれる(計)”が“確認してくれない(計)”よりも47.4ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“確認してくれない(計)”が“確認してくれる(計)”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“確認してくれない(計)”が“確認してくれる(計)”よりも24.4ポイント高くなっている。

高校生相当で「大切にされている」は“確認してくれる(計)”が“確認してくれない(計)”よりも46.3ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“確認してくれない(計)”が“確認してくれる(計)”を上回っており、「たまに大切にされている」は“確認してくれない(計)”が“確認してくれる(計)”よりも18.8ポイント高くなっている。

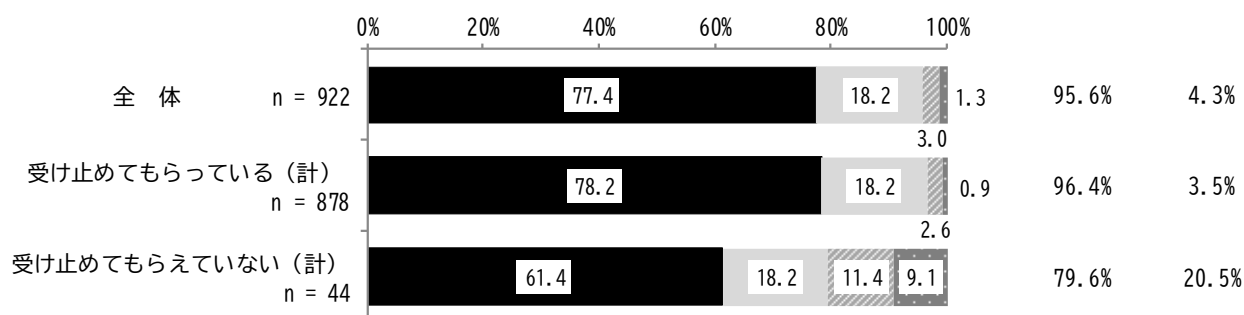
<自分の気持ちや意見を受け止めてもらっているか別の自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うか>

■ 大切にされている      □ たまに大切にされている  
 ▨ あまり大切にされていない      ■ 大切にされていない

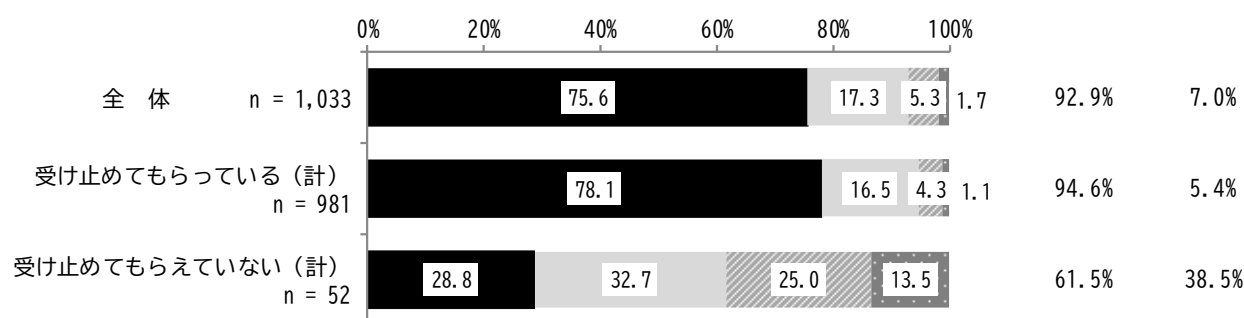
大切に  
されている  
(計)

大切にされ  
ていない  
(計)

### 【小学1～3年生】



### 【小学4～6年生】



自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うかを自分の気持ちや意見を受け止めてもらっているか別でみると、小学1～3年生で「大切にされている」は“受け止めてもらっている（計）”が“受け止めてもらえていない（計）”よりも16.8ポイント高くなっている。一方、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“受け止めてもらえていない（計）”が“受け止めてもらっている（計）”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“受け止めてもらえていない（計）”が“受け止めてもらっている（計）”よりも8.8ポイント、「大切にされていない」も“受け止めてもらえていない（計）”が“受け止めてもらっている（計）”よりも8.2ポイント高くなっている。

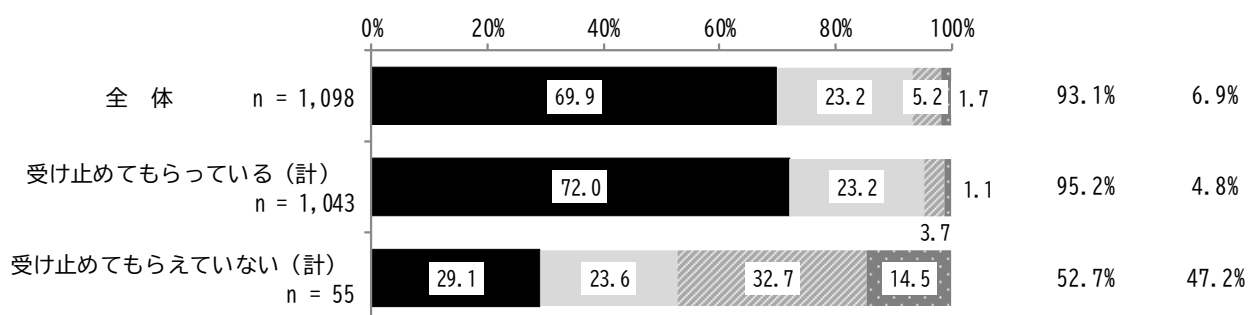
小学4～6年生で「大切にされている」は“受け止めてもらっている（計）”が“受け止めてもらえていない（計）”よりも49.3ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“受け止めてもらえていない（計）”が“受け止めてもらっている（計）”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“受け止めてもらえていない（計）”が“受け止めてもらっている（計）”よりも20.7ポイント高くなっている。

■ 大切にされている      □ たまに大切にされている  
 ▨ あまり大切にされていない      ■ 大切にされていない

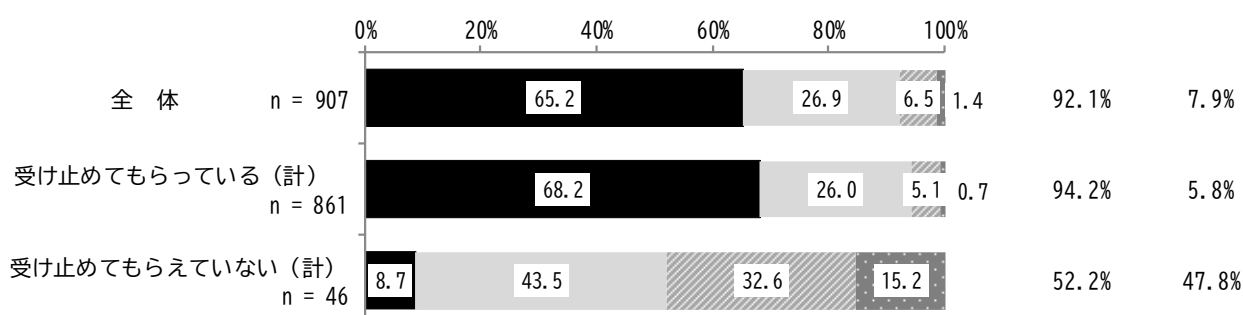
大切に  
されている  
(計)

大切にされ  
ていない  
(計)

### 【中学生】



### 【高校生相当】



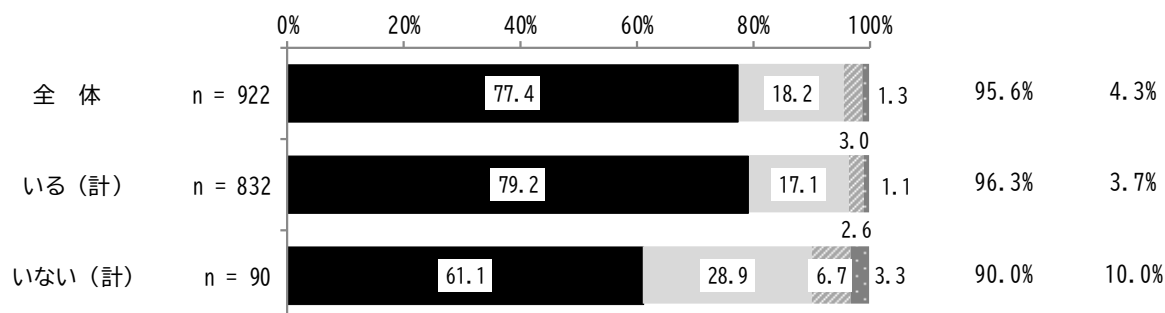
自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うかを自分の気持ちや意見を受け止めてもらっているか別でみると、中学生で「大切にされている」は“受け止めてもらっている（計）”が“受け止めてもらえていない（計）”よりも42.9ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“受け止めてもらえていない（計）”が“受け止めてもらっている（計）”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“受け止めてもらえていない（計）”が“受け止めてもらっている（計）”よりも29.0ポイント高くなっている。

高校生相当で「大切にされている」は“受け止めてもらっている（計）”が“受け止めてもらえていない（計）”よりも59.5ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“受け止めてもらえていない（計）”が“受け止めてもらっている（計）”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“受け止めてもらえていない（計）”が“受け止めてもらっている（計）”よりも27.5ポイント高くなっている。

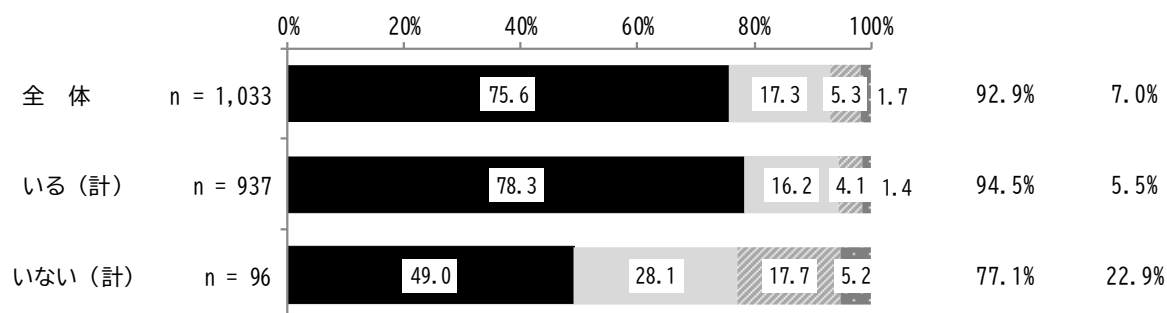
## <相談相手の有無別の自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うか>

■ 大切にされている      □ たまに大切にされている      大切にされている (計)  
 ▨ あまり大切にされていない      ■ 大切にされていない      大切にされていない (計)

### 【小学1～3年生】



### 【小学4～6年生】



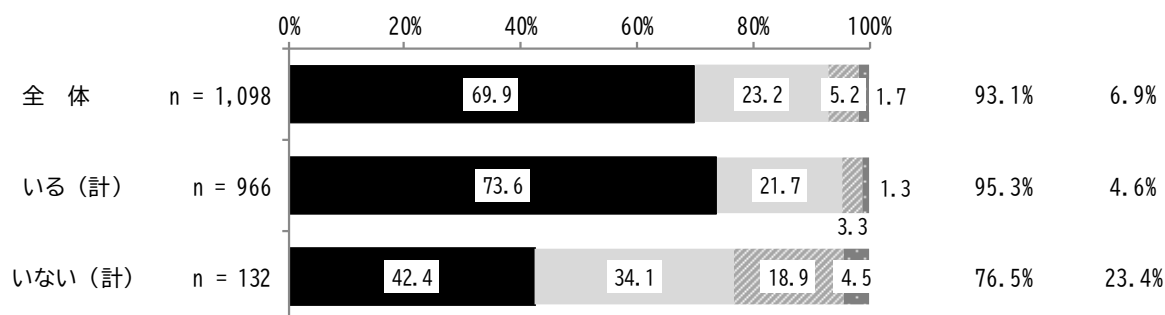
自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うかを相談相手の有無別でみると、小学1～3年生で「大切にされている」は“いる (計)”が“いない (計)”よりも18.1ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“いない (計)”が“いる (計)”を上回っており、「たまに大切にされている」は“いない (計)”が“いる (計)”よりも11.8ポイント高くなっている。

小学4～6年生で「大切にされている」は“いる (計)”が“いない (計)”よりも29.3ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“いない (計)”が“いる (計)”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“いない (計)”が“いる (計)”よりも13.6ポイント高くなっている。

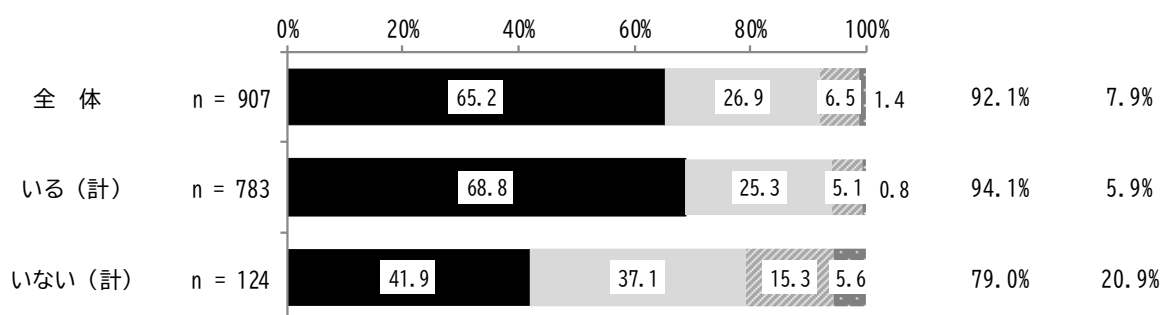
■ 大切にされている      □ たまに大切にされている  
 ▨ あまり大切にされていない      ■ 大切にされていない

大切に  
されている  
(計)      大切にされ  
ていない  
(計)

### 【中学生】



### 【高校生相当】



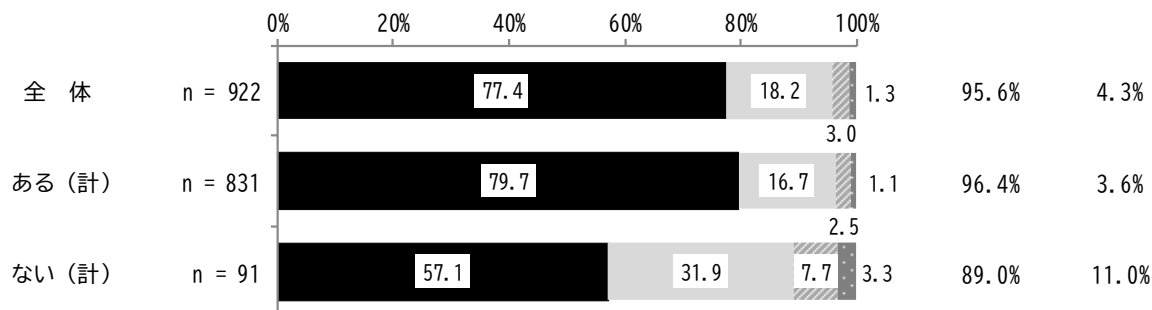
自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うかを相談相手の有無別でみると、中学生で「大切にされている」は“いる (計)”が“いない (計)”よりも 31.2 ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“いない (計)”が“いる (計)”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“いない (計)”が“いる (計)”よりも 15.6 ポイント高くなっている。

高校生相当で「大切にされている」は“いる (計)”が“いない (計)”よりも 26.9 ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“いない (計)”が“いる (計)”を上回っており、「たまに大切にされている」は“いない (計)”が“いる (計)”よりも 11.8 ポイント高くなっている。

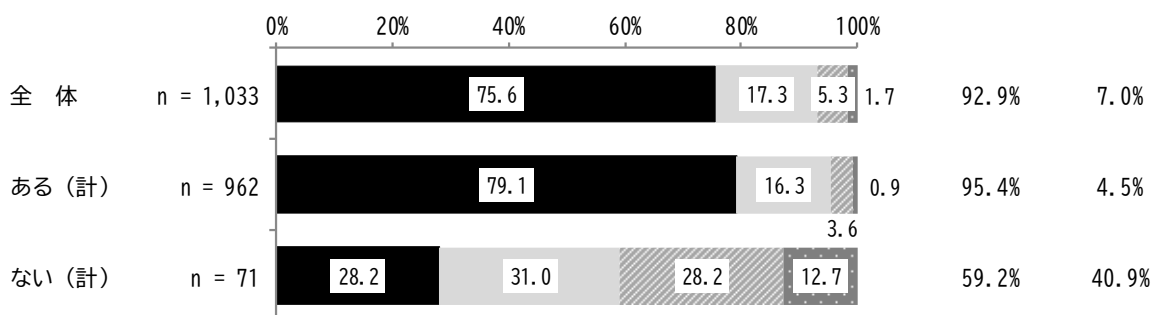
## <居場所の有無別の自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うか>

■ 大切にされている      □ たまに大切にされている      大切にされている (計)  
 ▨ あまり大切にされていない      ■ 大切にされていない      大切にされていない (計)

### 【小学1～3年生】



### 【小学4～6年生】



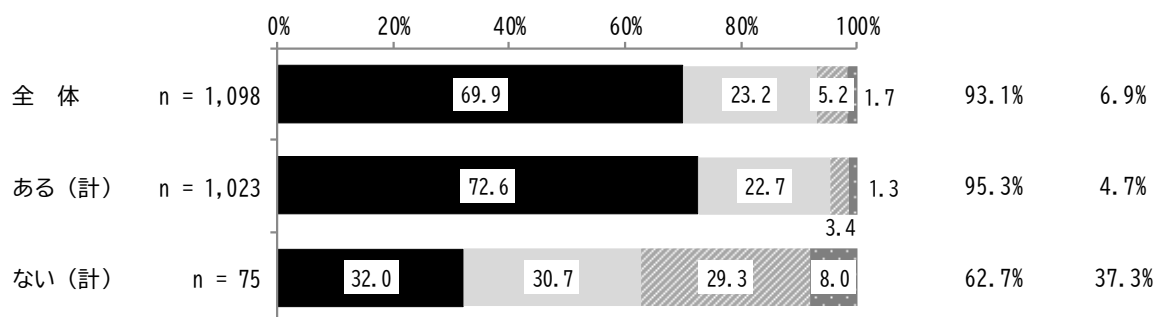
自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うかを居場所の有無別でみると、小学1～3年生で「大切にされている」は“ある (計)”が“ない (計)”よりも22.6ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“ない (計)”が“ある (計)”を上回っており、「たまに大切にされている」は“ない (計)”が“ある (計)”よりも15.2ポイント高くなっている。

小学4～6年生で「大切にされている」は“ある (計)”が“ない (計)”よりも50.9ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“ない (計)”が“ある (計)”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“ない (計)”が“ある (計)”よりも24.6ポイント高くなっている。

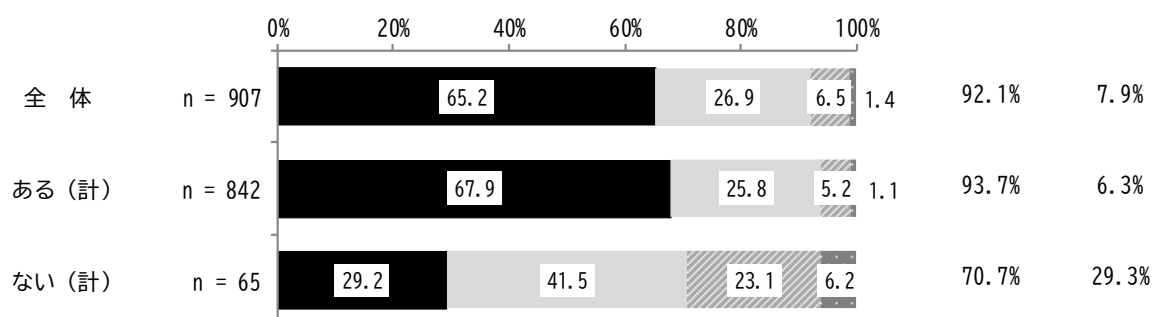
■ 大切にされている      □ たまに大切にされている  
 ▨ あまり大切にされていない      ■ 大切にされていない

大切に  
されている  
(計)      大切にされ  
ていない  
(計)

### 【中学生】



### 【高校生相当】



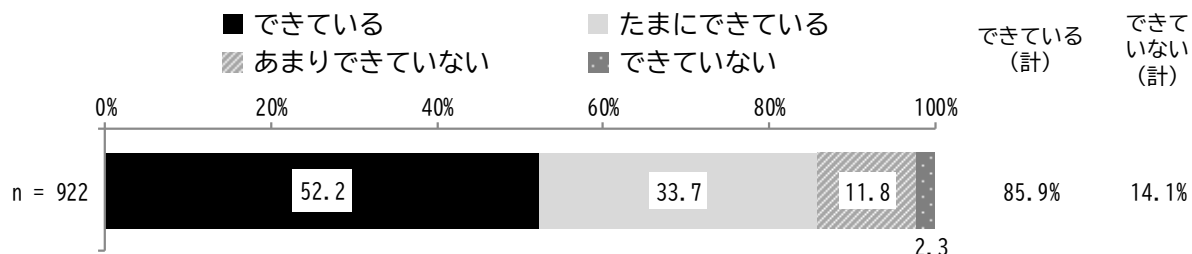
自分の「こどもの権利」が大切にされていると思うかを居場所の有無別でみると、中学生で「大切にされている」は“ある (計)”が“ない (計)”よりも 40.6 ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“ない (計)”が“ある (計)”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“ない (計)”が“ある (計)”よりも 25.9 ポイント高くなっている。

高校生相当で「大切にされている」は“ある (計)”が“ない (計)”よりも 38.7 ポイント高くなっている。一方、「たまに大切にされている」、「あまり大切にされていない」、「大切にされていない」は“ない (計)”が“ある (計)”を上回っており、「あまり大切にされていない」は“ない (計)”が“ある (計)”よりも 17.9 ポイント高くなっている。

#### (4) 自分の気持ちや意見を言うことができるか

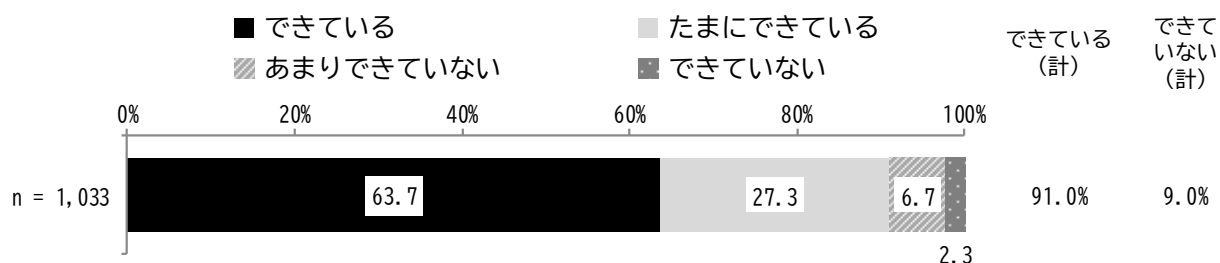
問4 あなたはまわりの人に自分の気持ちを言うことができますか。(単数回答)

##### 【小学1～3年生】



問4 あなたはまわりの人に自分の気持ちや意見を言うことができますか。(単数回答)

##### 【小学4～6年生】



※ 「できている (計)」は「できている」と「たまにできている」の合計

※ 「できていない (計)」は「できていない」と「あまりできていない」の合計

自分の気持ちや意見を言うことができるかは、小学1～3年生では、「できている」が52.2%で最も高くなっている。「できている (計)」は85.9%、「できていない (計)」は14.1%となっている。

小学4～6年生では、「できている」が63.7%で最も高くなっている。「できている (計)」は91.0%、「できていない (計)」は9.0%となっている。

問4 あなたはまわりの人に自分の気持ちや意見を言うことができますか。（単数回答）

■ できている  
 ▨ あまりできていない

■ たまにできている  
 ■ できていない

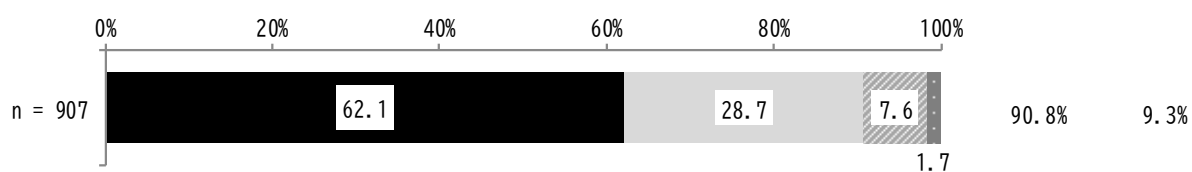
できている  
 (計)

できて  
 いない  
 (計)

【中学生】



【高校生相当】



※ 「できている (計)」は「できている」と「たまにできている」の合計

※ 「できていない (計)」は「できていない」と「あまりできていない」の合計

中学生では、「できている」が65.7%で最も高くなっている。「できている (計)」は90.2%、「できていない (計)」は9.9%となっている。

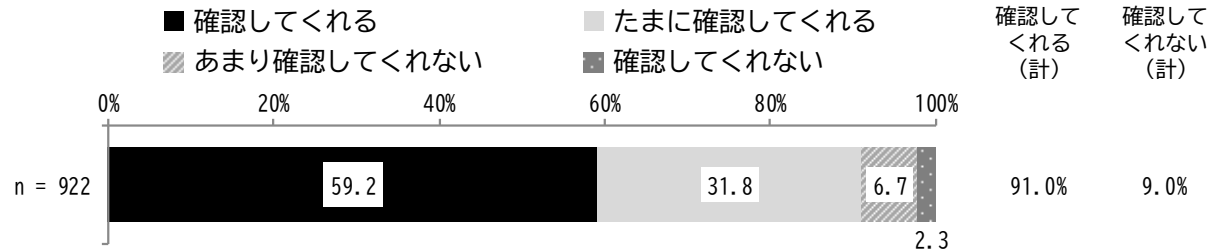
高校生相当では、「できている」が62.1%で最も高くなっている。「できている (計)」は90.8%、「できていない (計)」は9.3%となっている。

## (5) 自分のことを決めるときに自分の気持ちや意見を確認されているか

問5 まわりの人はあなたのことを決めるときに、あなたの気持ちを確認してくれますか。

(単数回答)

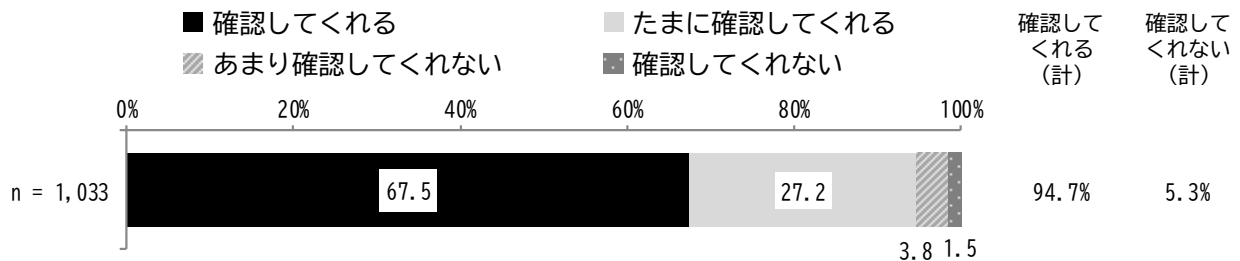
【小学1～3年生】



問5 まわりの人はあなたのことを決めるときに、あなたの気持ちや意見を確認してくれますか。

(単数回答)

【小学4～6年生】



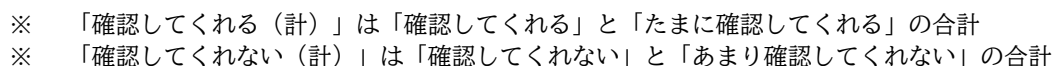
※ 「確認してくれる (計)」は「確認してくれる」と「たまに確認してくれる」の合計

※ 「確認してくれない (計)」は「確認してくれない」と「あまり確認してくれない」の合計

自分のことを決めるときに自分の気持ちや意見を確認されているかは、小学1～3年生では、「確認してくれる」が59.2%で最も高くなっている。「確認してくれる (計)」は91.0%、「確認してくれない (計)」は9.0%となっている。

小学4～6年生では、「確認してくれる」が67.5%で最も高くなっている。「確認してくれる (計)」は94.7%、「確認してくれない (計)」は5.3%となっている。

(单数回答)

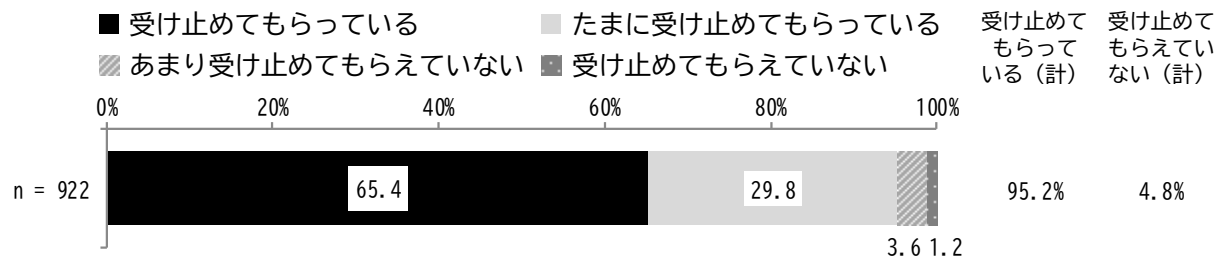


高校生相当では、「確認してくれる」が70.6%で最も高くなっている。「確認してくれる（計）」は94.9%、「確認してくれない（計）」は5.2%となっている。

## (6) 自分の気持ちや意見を受け止めてもらっているか

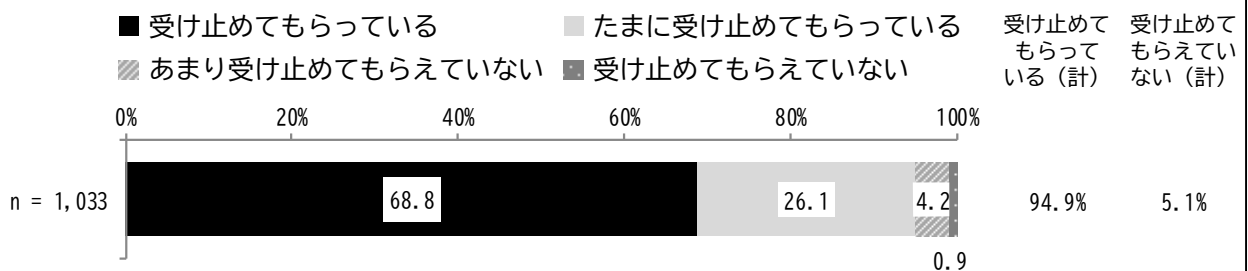
問6 あなたの気持ちは、まわりの人に受け止めてもらっていますか。(単数回答)

【小学1～3年生】



問6 あなたの気持ちや意見は、まわりの人に受け止めてもらっていますか。(単数回答)

【小学4～6年生】



※ 「受け止めてもらっている(計)」は「受け止めてもらっている」と「たまに受け止めてもらっている」の合計

※ 「受け止めてもらえていない(計)」は「受け止めてもらえていない」と「あまり受け止めてもらえていない」の合計

自分の気持ちや意見を受け止めてもらっているかは、小学1～3年生では、「受け止めてもらっている」が65.4%で最も高くなっている。「受け止めてもらっている(計)」は95.2%、「受け止めてもらえていない(計)」は4.8%となっている。

小学4～6年生では、「受け止めてもらっている」が68.8%で最も高くなっている。「受け止めてもらっている(計)」は94.9%、「受け止めてもらえていない(計)」は5.1%となっている。

問6 あなたの気持ちや意見は、まわりの人に受け止めてもらっていますか。（単数回答）

■ 受け止めてもらっている      □ たまに受け止めてもらっている      受け止めてもらっている（計）  
 ▨ あまり受け止めてもらえていない      ■ 受け止めてもらえていない      受け止めてもらえていない（計）

【中学生】



【高校生相当】



- ※ 「受け止めてもらっている（計）」は「受け止めてもらっている」と「たまに受け止めてもらっている」の合計
- ※ 「受け止めてもらえていない（計）」は「受け止めてもらえていない」と「あまり受け止めてもらえていない」の合計

中学生では、「受け止めてもらっている」が70.8%で最も高くなっている。「受け止めてもらっている（計）」は95.0%、「受け止めてもらえていない（計）」は5.0%となっている。

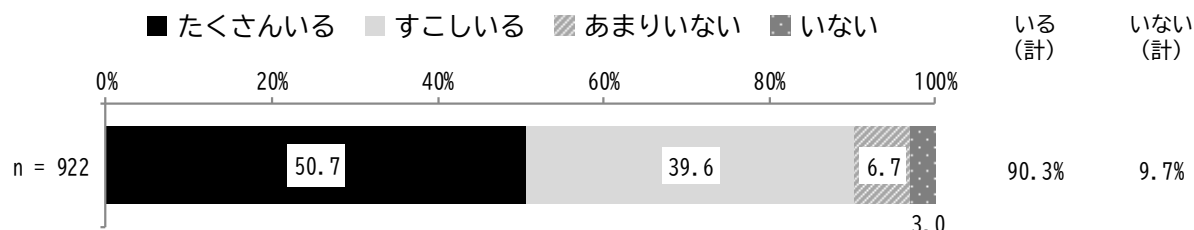
高校生相当では、「受け止めてもらっている」が68.8%で最も高くなっている。「受け止めてもらっている（計）」は94.9%、「受け止めてもらえていない（計）」は5.0%となっている。

## (7) 相談相手の有無

問7 あなたにはこまっていることや、悩んでいることを安心して話せる人はいますか。

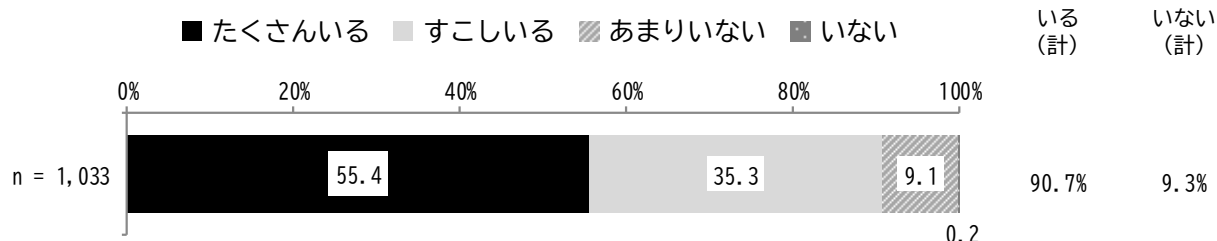
(単数回答)

### 【小学1～3年生】

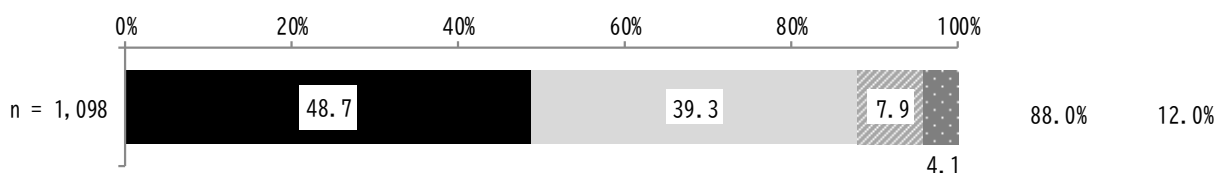


問7 あなたには安心して相談できる相手はいますか。(単数回答)

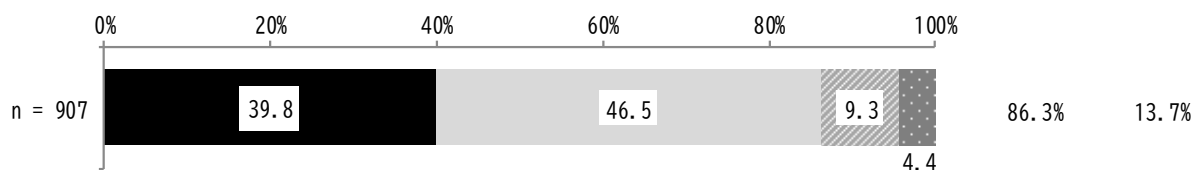
### 【小学4～6年生】



### 【中学生】



### 【高校生相当】



※ 「いる (計)」は「たくさんいる」と「すこしいる」の合計

※ 「いない (計)」は「いない」と「あまりいない」の合計

相談相手の有無は、小学1～3年生では、「たくさんいる」が50.7%で最も高くなっている。「いる (計)」は90.3%、「いない (計)」は9.7%となっている。

小学4～6年生では、「たくさんいる」が55.4%で最も高くなっている。「いる (計)」は90.7%、「いない (計)」は9.3%となっている。

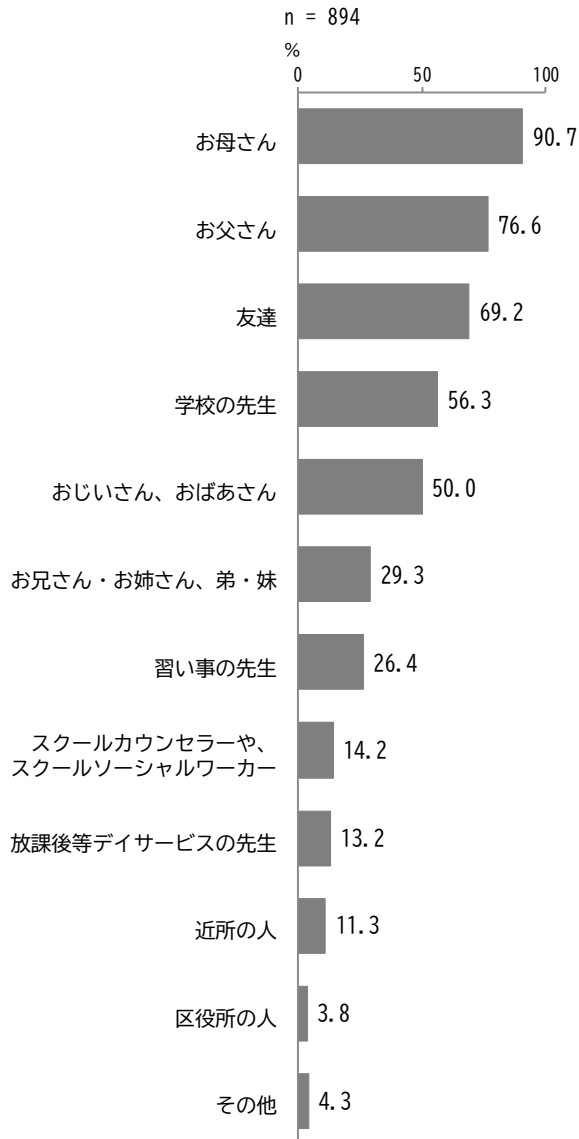
中学生では、「たくさんいる」が48.7%で最も高くなっている。「いる (計)」は88.0%、「いない (計)」は12.0%となっている。

高校生相当では、「すこしいる」が46.5%で最も高くなっている。「いる (計)」は86.3%、「いない (計)」は13.7%となっている。

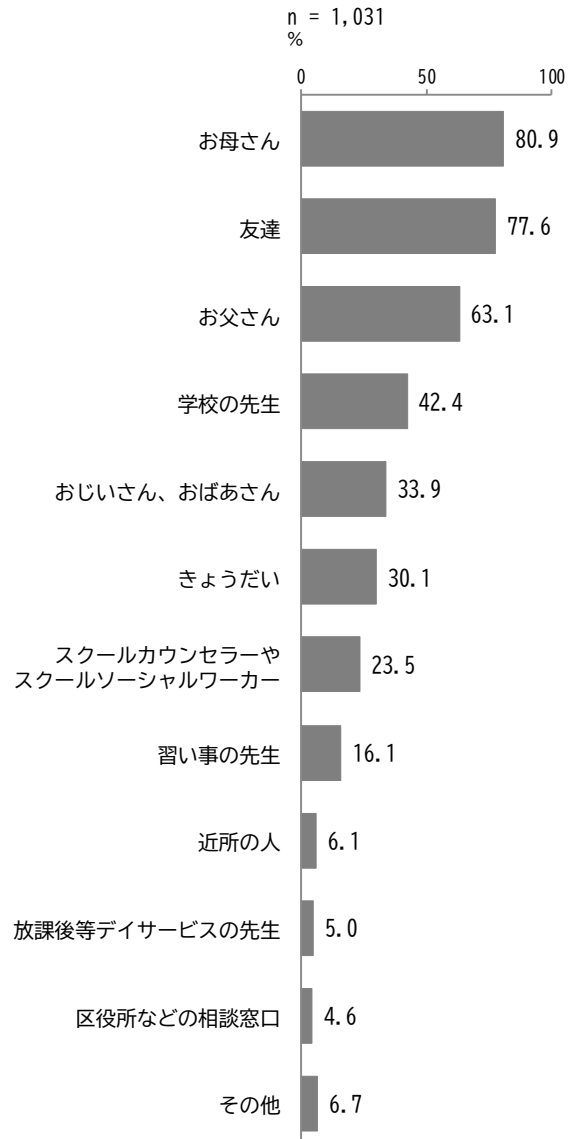
## (8) 相談相手

問7-1 それはだれですか。すべて教えてください。(複数回答)

### 【小学1～3年生】



### 【小学4～6年生】



※ (8) 相談相手 は、(7) 相談相手の有無 で「たくさんいる」、「すこしいる」、「あまりいない」のいずれかに回答した者(小学1～3年生:894人、小学4～6年生:1,031人)が回答の対象

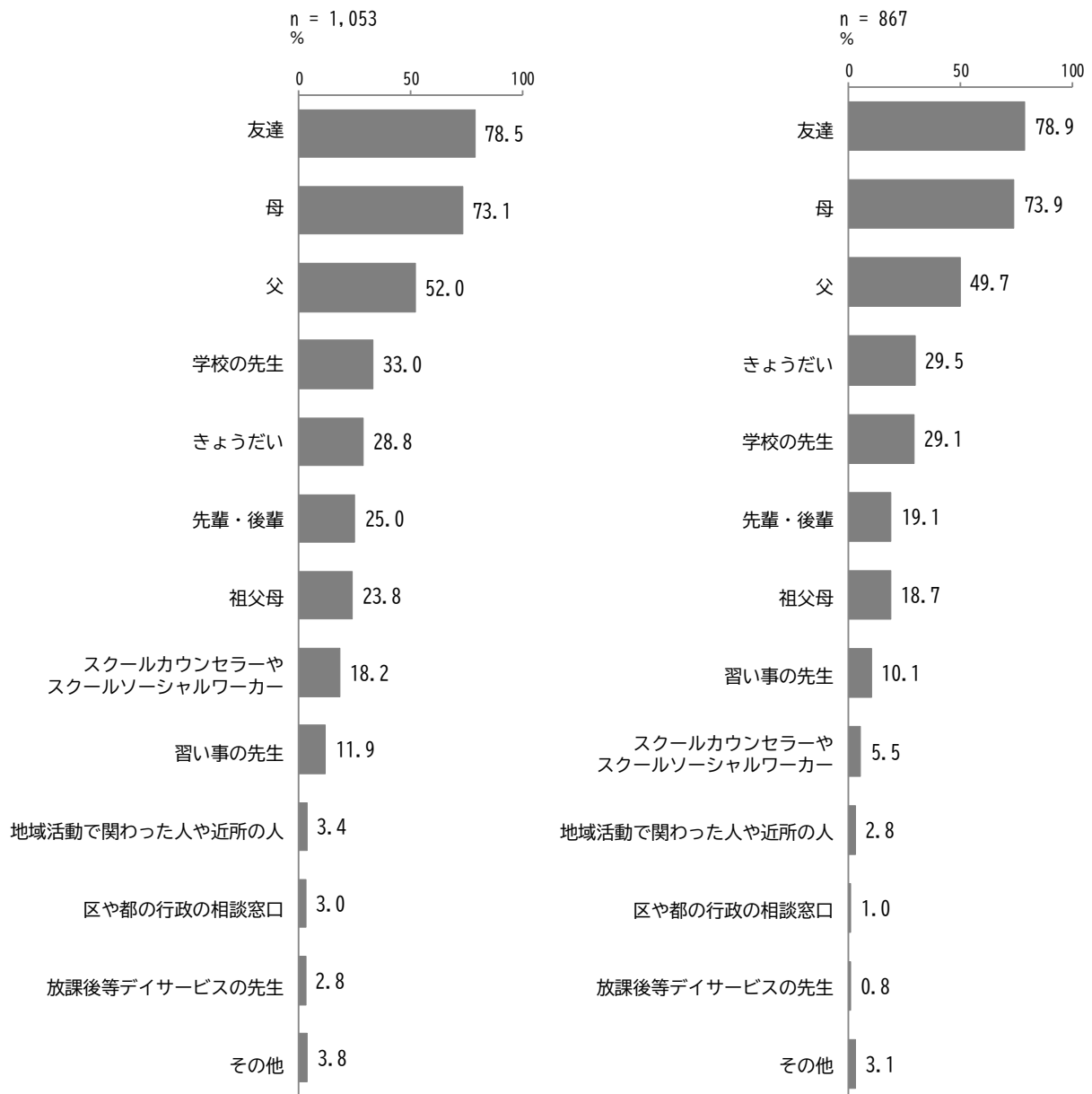
相談相手は、小学1～3年生では、「お母さん」が90.7%で最も高く、以下、「お父さん」(76.6%)、「友達」(69.2%)、「学校の先生」(56.3%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「親戚」、「育成室の先生」、などがあつた。

小学4～6年生では、「お母さん」が80.9%で最も高く、以下、「友達」(77.6%)、「お父さん」(63.1%)、「学校の先生」(42.4%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「親戚」、「友達の家族」などがあつた。

問7-1 それはだれですか。すべて教えてください。（複数回答）

【中学生】

【高校生相当】



※ (8) 相談相手 は、(7) 相談相手の有無 で「たくさんいる」、「すこしいる」、「あまりいない」のいずれかに回答した者（中学生：1,053 人、高校生相当：867 人）が回答の対象

相談相手は、中学生では、「友達」が78.5%で最も高く、以下、「母」(73.1%)、「父」(52.0%)、「学校の先生」(33.0%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「小学校の時の先生」、「chatGPT」などがあつた。

高校生相当では、「友達」が78.9%で最も高く、以下、「母」(73.9%)、「父」(49.7%)、「きょうだい」(29.5%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「ChatGPT」、「恋人」などがあつた。

## (9) 相談手段

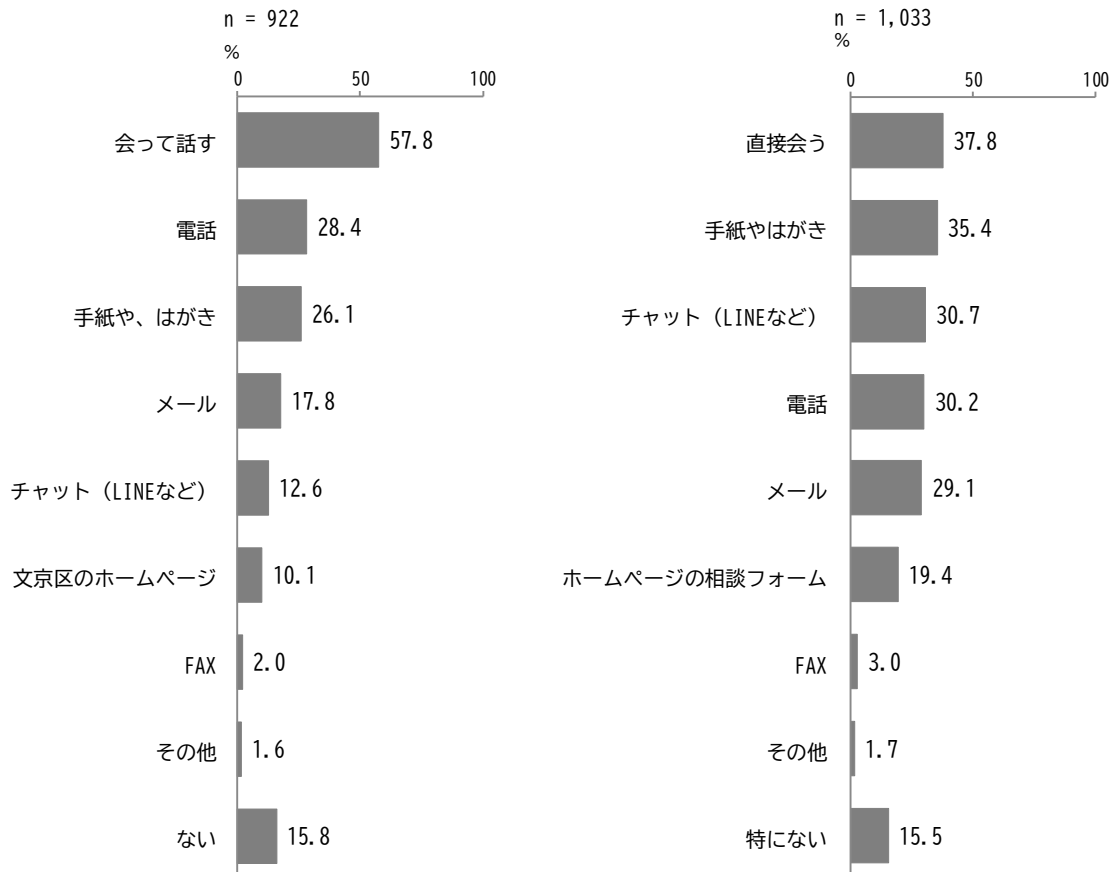
問8 区役所の人にこまっていることや、悩んでいることを話す場合、どんな方法だと話しやすいですか。すべて教えてください。【小学1～3年生】

問8 区役所などにあるこどもの相談窓口では、どんな方法だと相談しやすいですか。すべて教えてください。【小学4～6年生】

(複数回答)

【小学1～3年生】

【小学4～6年生】



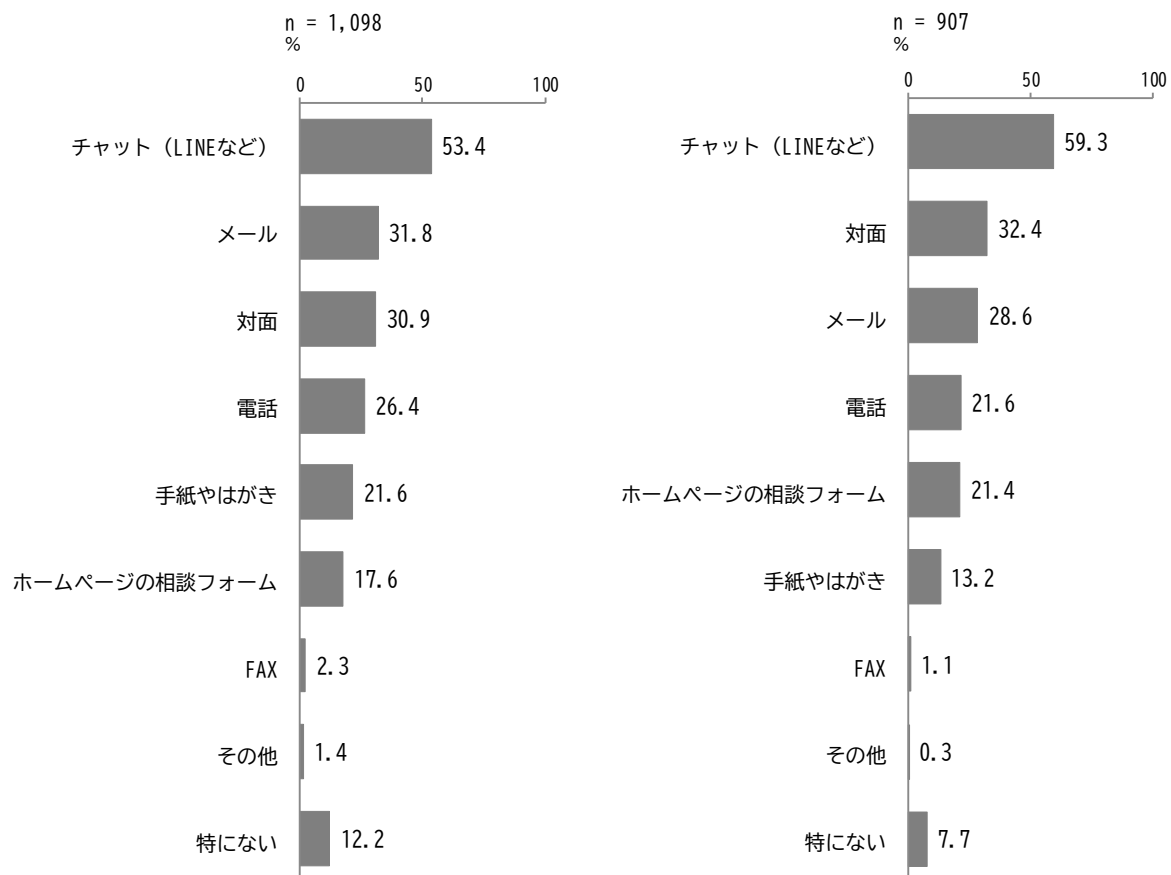
相談手段は、小学1～3年生では、「会って話す」が57.8%で最も高く、以下、「電話」(28.4%)、「手紙や、はがき」(26.1%)、「メール」(17.8%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「大人の人と一緒に話して話す」、「zoom」などがあつた。

小学4～6年生では、「直接会う」が37.8%で最も高く、以下、「手紙やはがき」(35.4%)、「チャット (LINE など)」(30.7%)、「電話」(30.2%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「オンライン」、「学校に来てくれる」などがあつた。

問8 区役所などにあるこどもの相談窓口では、どんな方法だと相談しやすいですか。すべて教えてください。（複数回答）

【中学生】

【高校生相当】



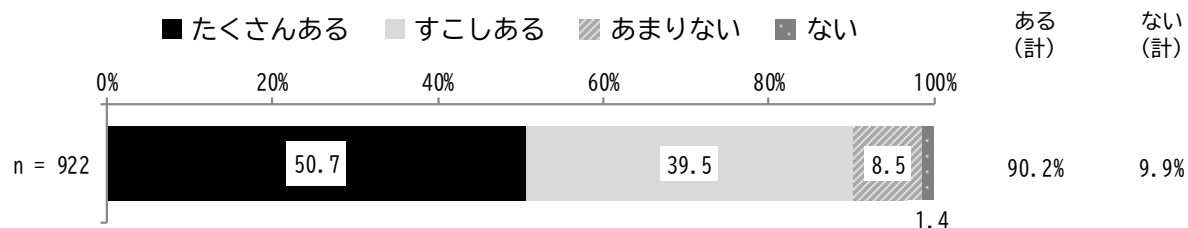
相談手段は、中学生では、「チャット (LINE など)」が53.4%で最も高く、以下、「メール」 (31.8%)、「対面」 (30.9%)、「電話」 (26.4%) となっている。

高校生相当では、「チャット (LINE など)」が59.3%で最も高く、以下、「対面」 (32.4%)、「メール」 (28.6%)、「電話」 (21.6%) となっている。

## (10) 居場所の有無

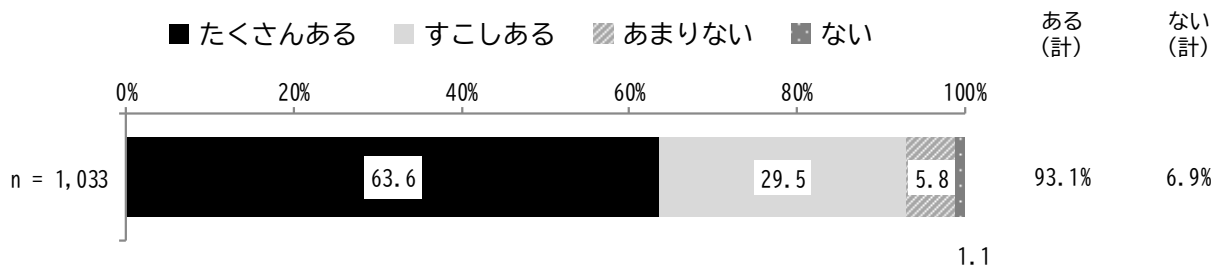
問9 あなたにはほっとできる場所がありますか。(単数回答)

【小学1～3年生】



問9 あなたには安心して過ごせる場所がありますか。(単数回答)

【小学4～6年生】



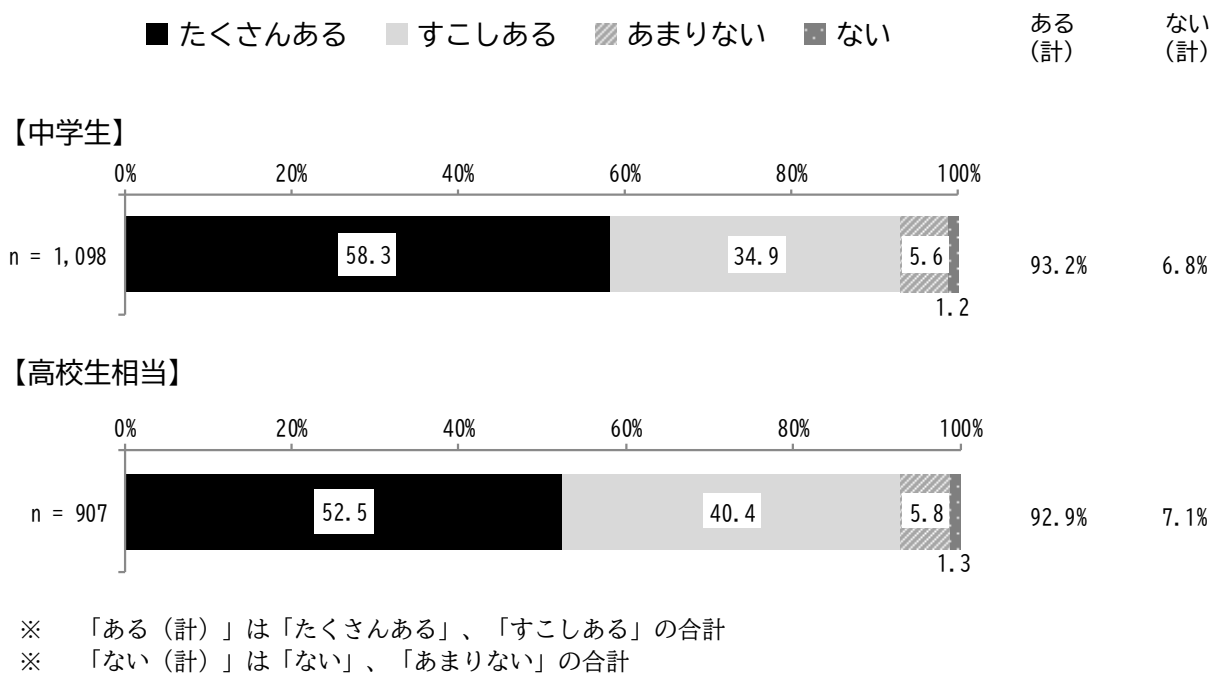
※ 「ある(計)」は「たくさんある」、「すこしある」の合計

※ 「ない(計)」は「ない」、「あまりない」の合計

居場所の有無は、小学1～3年生では、「たくさんある」が50.7%で最も高くなっている。「ある(計)」は90.2%、「ない(計)」は9.9%となっている。

小学4～6年生では、「たくさんある」が63.6%で最も高くなっている。「ある(計)」は93.1%、「ない(計)」は6.9%となっている。

問9 あなたには安心して過ごせる居場所がありますか。（単数回答）



中学生では、「たくさんある」が58.3%で最も高くなっている。「ある（計）」は93.2%、「ない（計）」は6.8%となっている。

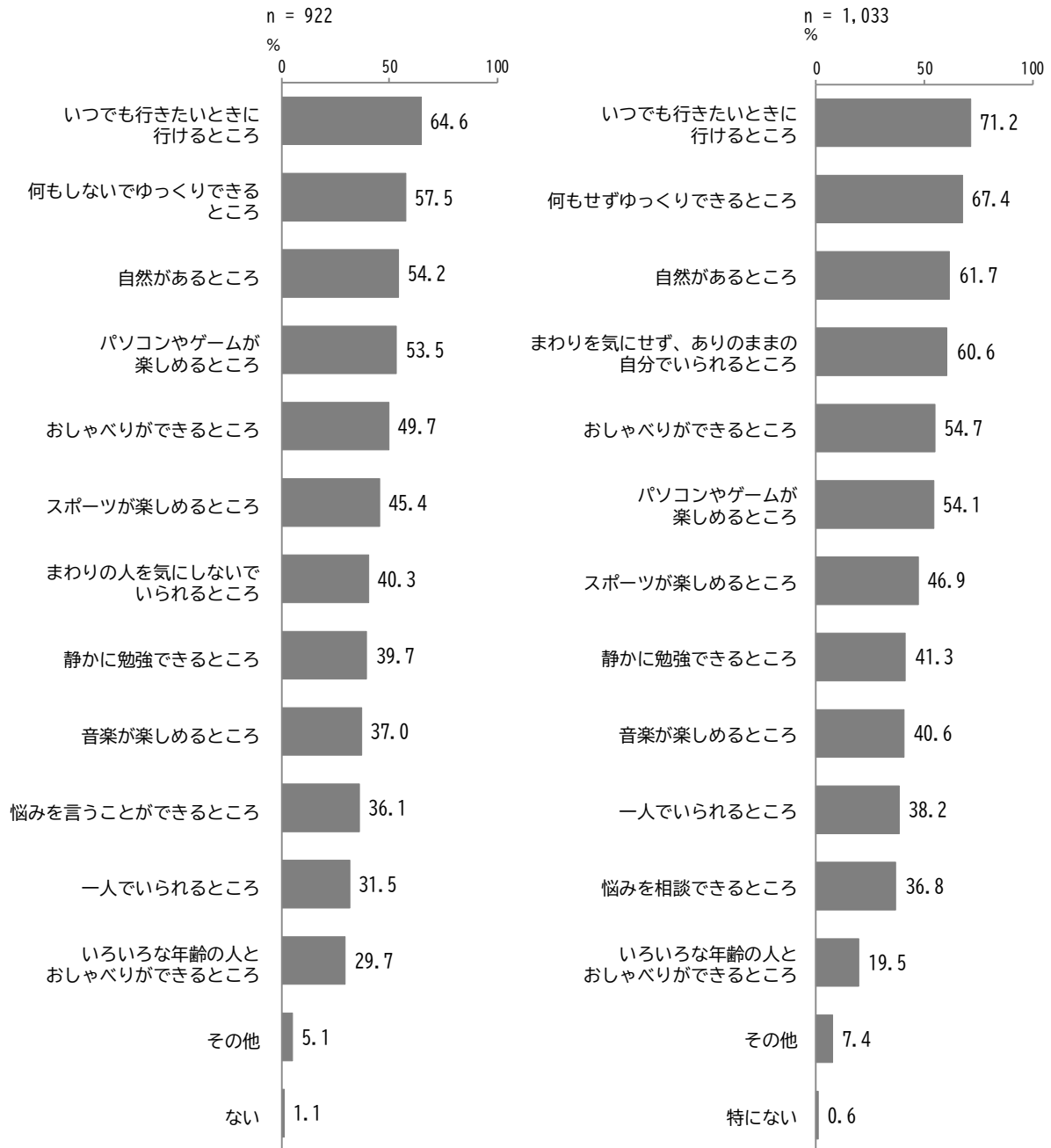
高校生相当では、「たくさんある」が52.5%で最も高くなっている。「ある（計）」は92.9%、「ない（計）」は7.1%となっている。

## (11) 希望する居場所

問 10 どんな場所があったらよいと思いますか。すべて教えてください。（複数回答）

### 【小学1～3年生】

### 【小学4～6年生】



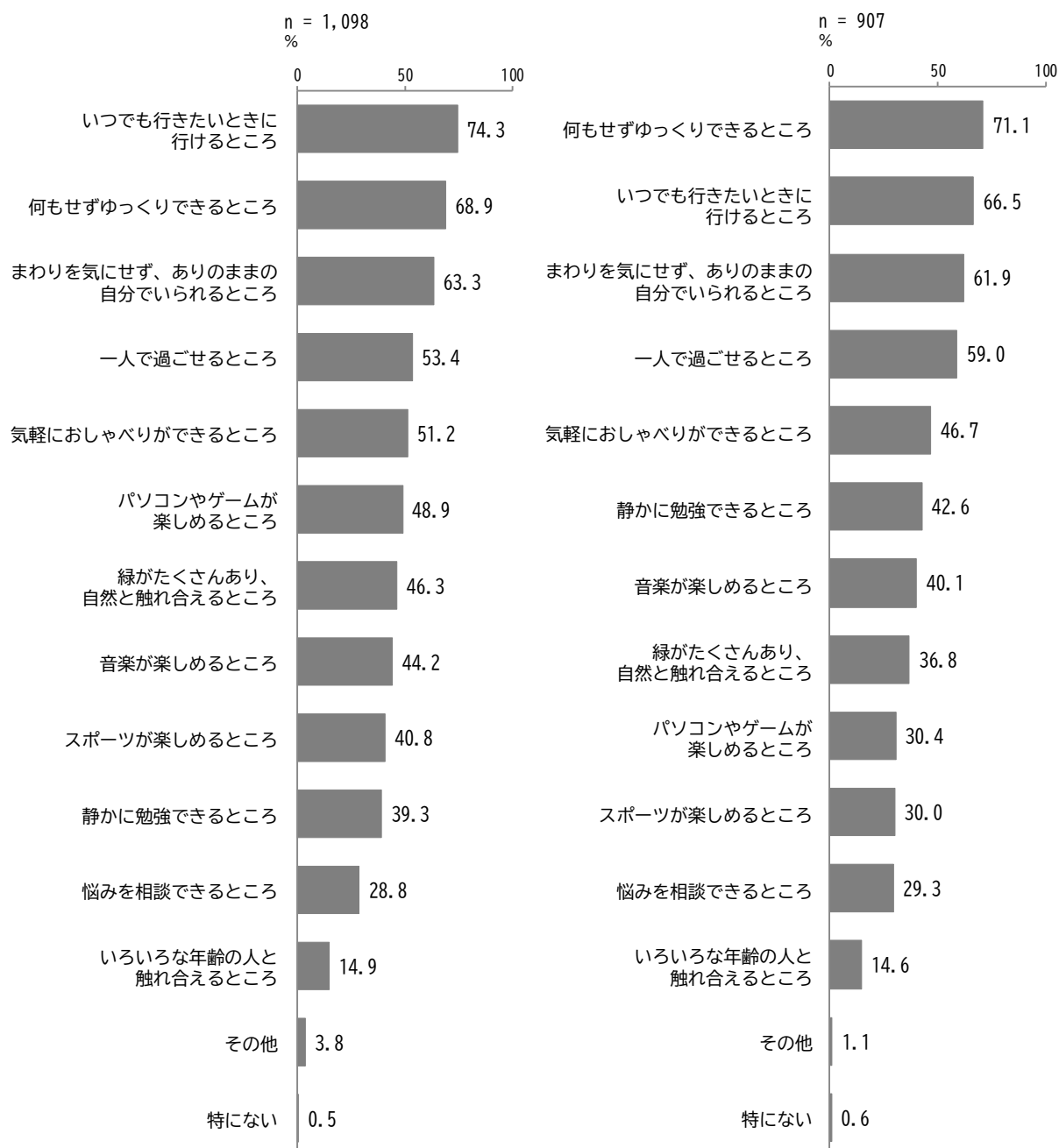
希望する居場所は、小学1～3年生では、「いつでも行きたいときに行けるところ」が64.6%で最も高く、以下、「何もしないでゆっくりできるところ」（57.5%）、「自然があるところ」（54.2%）、「パソコンやゲームが楽しめるところ」（53.5%）となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「みんなで遊べる場所」、「落ちついて本を読めたり出来る場所」などがあつた。

小学4～6年生では、「いつでも行きたいときに行けるところ」が71.2%で最も高く、以下、「何もせずゆっくりできるところ」（67.4%）、「自然があるところ」（61.7%）、「まわりを気にせず、ありのままの自分でいられるところ」（60.6%）となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「友達と遊んだり話したり出来る場所」、「ゆっくり、本が読める場所」などがあつた。

問 10 どんな居場所があったらよいと思いますか。すべて教えてください。（複数回答）

【中学生】

【高校生相当】



希望する居場所は、中学生では、「いつでも行きたいときに行けるところ」が74.3%で最も高く、以下、「何もせずゆっくりできるところ」（68.9%）、「まわりを気にせず、ありのままの自分でいられるところ」（63.3%）、「一人で過ごせるところ」（53.4%）となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「趣味が会う人がいるところ」、「他人に干渉されない場所」などがあつた。

高校生相当では、「何もせずゆっくりできるところ」が71.1%で最も高く、以下、「いつでも行きたいときに行けるところ」（66.5%）、「まわりを気にせず、ありのままの自分でいられるところ」（61.9%）、「一人で過ごせるところ」（59.0%）となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「好きなだけ読書が出来るところ」、「何かを作りたい時に自由に創作（絵や文章など）できる場所」などがあつた。

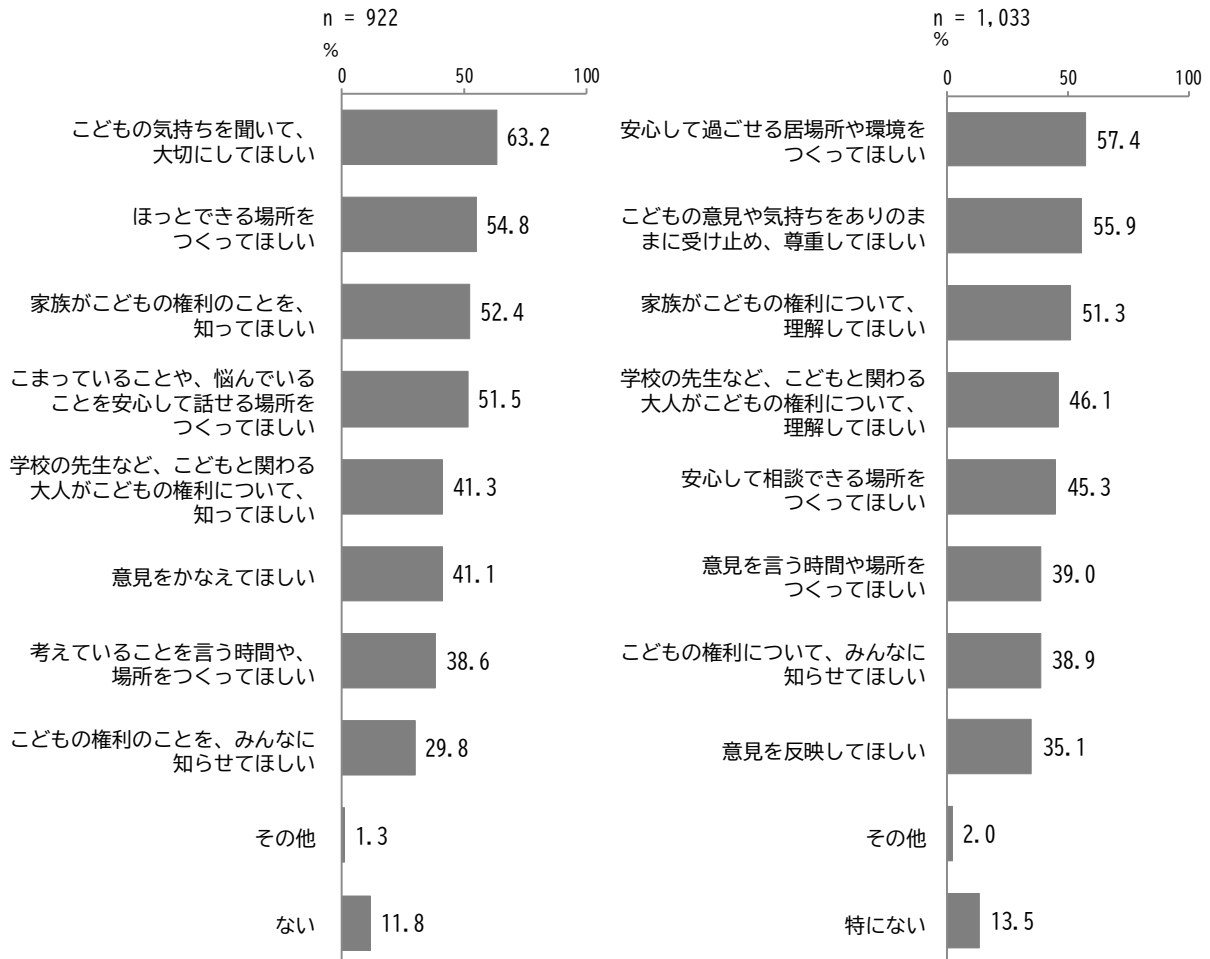
## (12) 大人や社会に希望すること

問 11 「こどもの権利」を大切にするために大人にしてほしいことをすべて教えてください。

(複数回答)

### 【小学1～3年生】

### 【小学4～6年生】



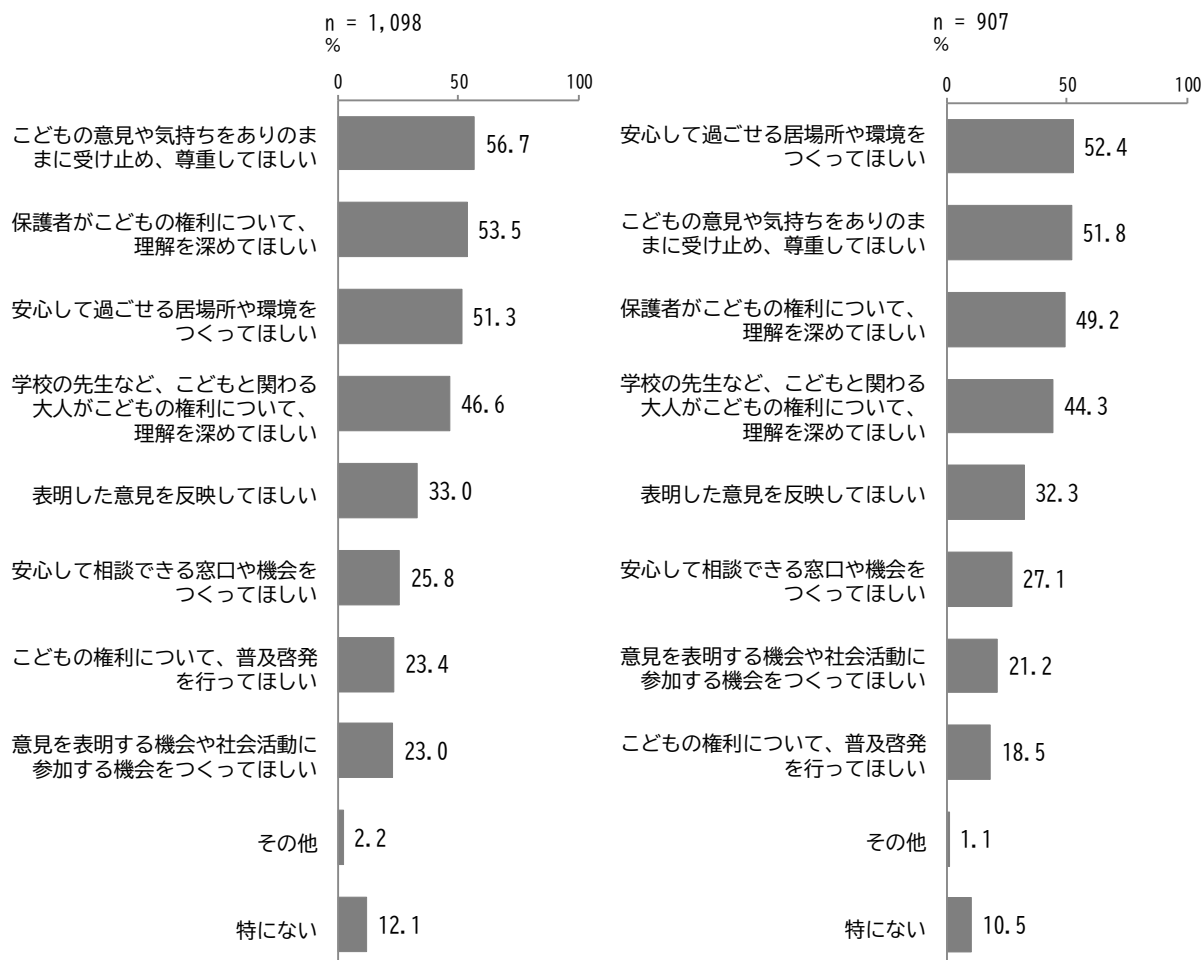
大人や社会に希望することは、小学1～3年生では、「こどもの気持ちを聞いて、大切にしてほしい」が63.2%で最も高く、以下、「ほっとできる場所をつくってほしい」(54.8%)、「家族がこどもの権利のことを、知ってほしい」(52.4%)、「こまっていることや、悩んでいることを安心して話せる場所をつくってほしい」(51.5%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「こどもの言うことをわかってほしい」、「じぶんをあいしてほしい」などがあつた。

小学4～6年生では、「安心して過ごせる居場所や環境をつくってほしい」が57.4%で最も高く、以下、「こどもの意見や気持ちをありのままに受け止め、尊重してほしい」(55.9%)、「家族がこどもの権利について、理解してほしい」(51.3%)、「学校の先生など、こどもと関わる大人がこどもの権利について、理解してほしい」(46.1%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「自分を尊敬してほしい」、「子どもの自由を守ってもらいたい」などがあつた。

問 11 「こどもの権利」を大切にするために大人や社会にしてほしいことをすべて教えてください。（複数回答）

【中学生】

【高校生相当】



大人や社会に希望することは、中学生では、「こどもの意見や気持ちをありのままに受け止め、尊重してほしい」が 56.7%で最も高く、以下、「保護者がこどもの権利について、理解を深めてほしい」（53.5%）、「安心して過ごせる居場所や環境をつくってほしい」（51.3%）、「学校の先生など、こどもと関わる大人がこどもの権利について、理解を深めてほしい」（46.6%）となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「否定しないでほしい。大人の価値観を押し付けないでほしい」、「こどもの権利について大人とこどもの両方に説明をして、理解を深めてほしい」などがあつた。

高校生相当では、「安心して過ごせる居場所や環境をつくってほしい」が 52.4%で最も高く、以下、「こどもの意見や気持ちをありのままに受け止め、尊重してほしい」（51.8%）、「保護者がこどもの権利について、理解を深めてほしい」（49.2%）、「学校の先生など、こどもと関わる大人がこどもの権利について、理解を深めてほしい」（44.3%）となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「人権的側面においてこどもと大人の区別をしないで欲しい」などがあつた。

### (13) 「こどもの権利」の周知方法

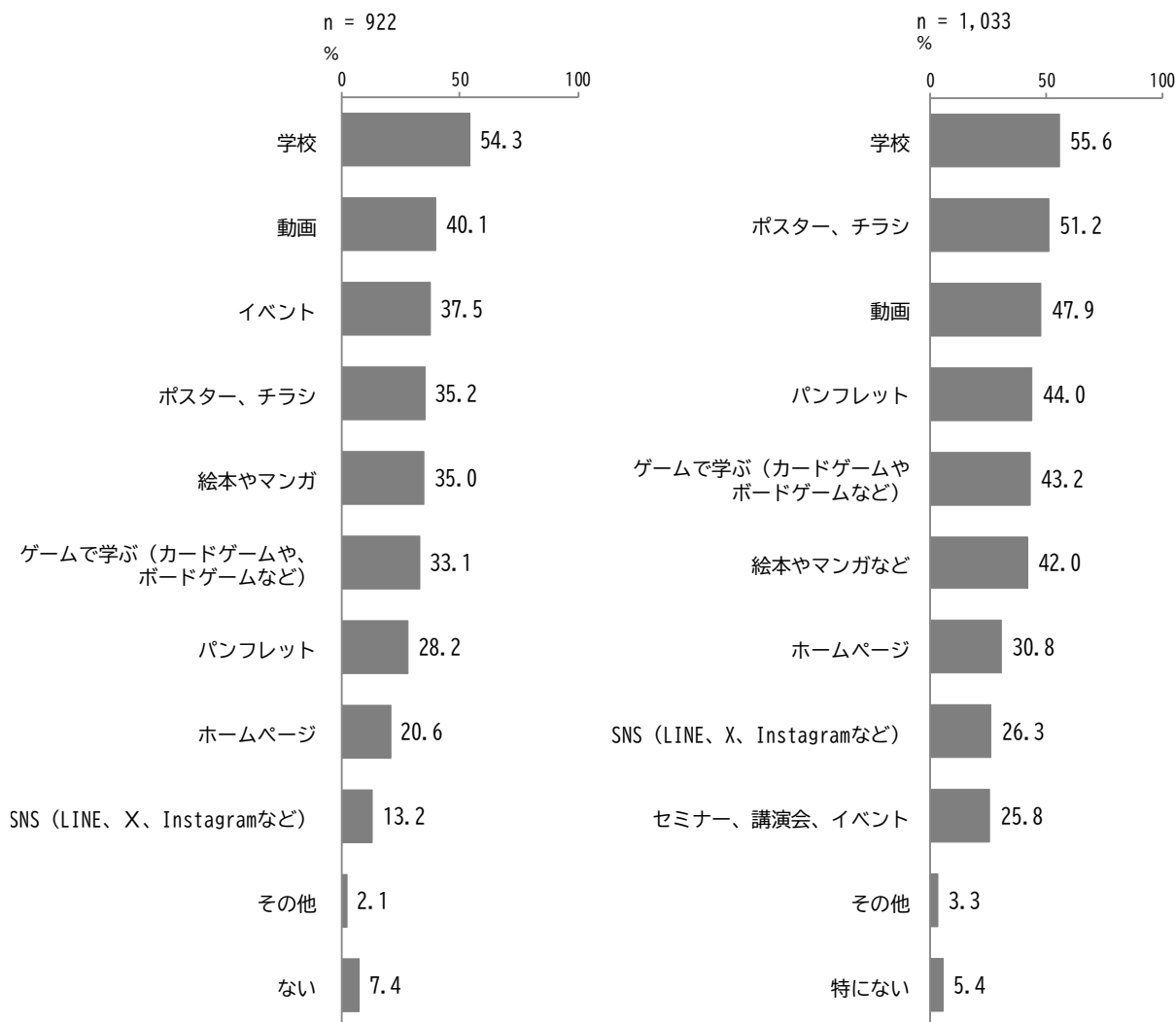
問 12 あなたと同じ年のこどもに「こどもの権利」について知ってもらうにはどのようなやり方がよいと思いますか。すべて教えてください。 【小学1～3年生】

問 12 あなたと同じ年のこどもに、「こどもの権利」について知らせるにはどのようなやり方がよいと思いますか。すべて教えてください。 【小学4～6年生】

(複数回答)

【小学1～3年生】

【小学4～6年生】



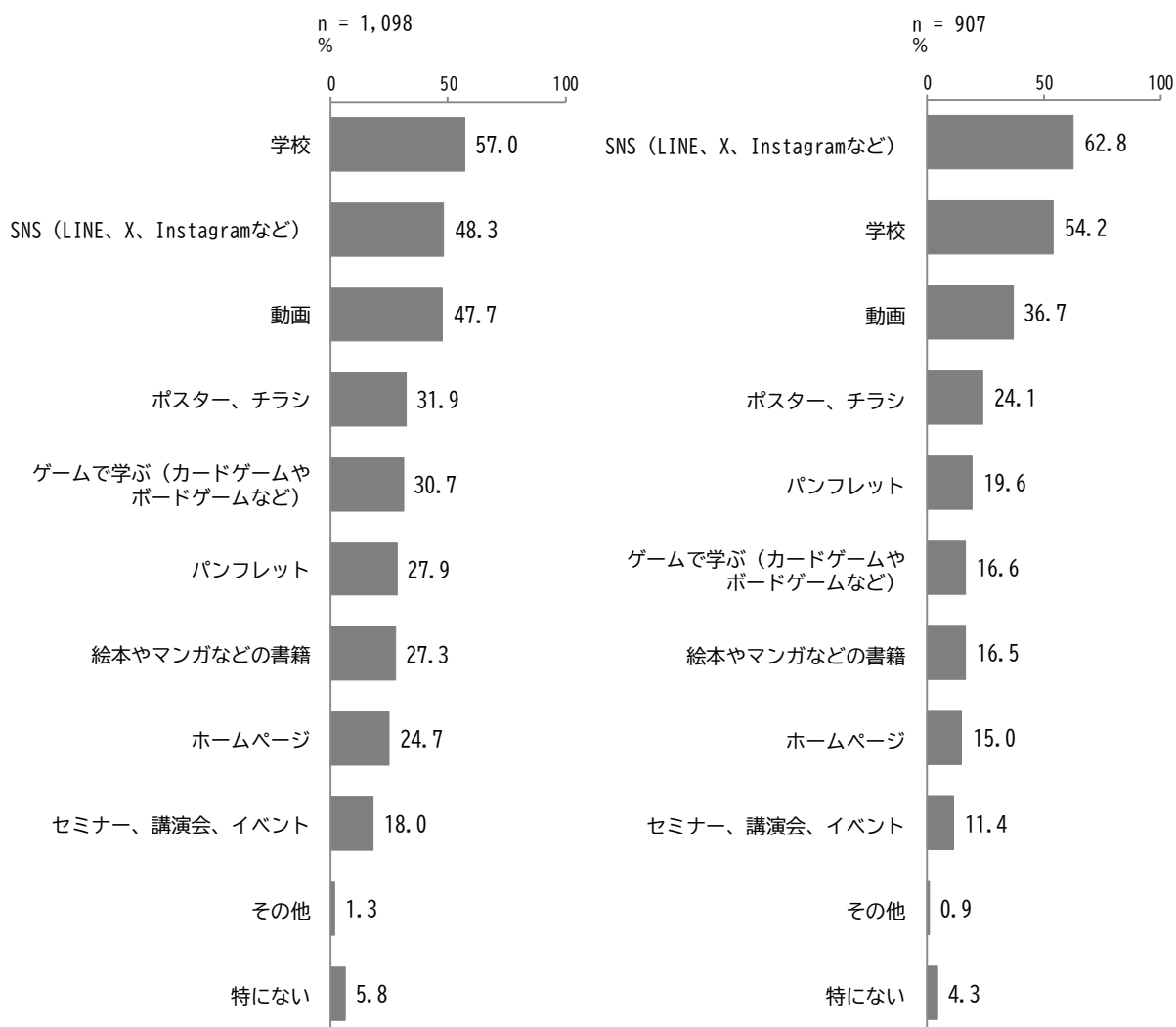
「こどもの権利」の周知方法は、小学1～3年生では、「学校」が54.3%で最も高く、以下、「動画」(40.1%)、「イベント」(37.5%)、「ポスター、チラシ」(35.2%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「ちよくせつはなす」などがあつた。

小学4～6年生では、「学校」が55.6%で最も高く、以下、「ポスター、チラシ」(51.2%)、「動画」(47.9%)、「パンフレット」(44.0%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「手紙」、「こどもの権利について知っている子が友達に話す」などがあつた。

問 12 「こどもの権利」について、あなたと同世代の子どもへの周知方法としてどのようなやり方が効果的だと思いますか。すべて教えてください。（複数回答）

【中学生】

【高校生相当】



「こどもの権利」の周知方法は、中学生では、「学校」が 57.0%で最も高く、以下、「SNS (LINE、X、Instagram など)」(48.3%)、「動画」(47.7%)、「ポスター、チラシ」(31.9%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「文京区のテレビ番組」などがあった。

高校生相当では、「SNS (LINE、X、Instagram など)」が 62.8%で最も高く、以下、「学校」(54.2%)、「動画」(36.7%)、「ポスター、チラシ」(24.1%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「広告」、「テレビ」などがあった。

## (14) 自由回答

問 13 「こどもの権利」について思ったこと、伝えたいことがあれば、自由に書いてください。

以下、原文掲載を基本としつつ、一部編集・抜粋の上掲載。

### 【小学1～3年生】

- ・友達や家族を大切にしていきたい。
- ・もっといろいろなこどもの権利を作ってほしい。
- ・子どものけんりを知らなかったです。
- ・自分は自分でいたい。
- ・こどもの一人一人の意見を大切にするのは大事なことだ!!!
- ・ことばがにがてだけど、気持ちをわかってくれるおとながいるとうれしい。
- ・わたしは、こどものけんりのことをみんなに知ってほしい。でも、話だけではちいさな子どもたちではむずかしいから学校でわかりやすくせつめいしたり、絵本などでおぼえたりできるようにしてほしいです。
- ・こどものけんりをせかいじゅうの子どもたちにしってほしい。
- ・おともだちと仲良くできるばしょをつくってほしいです。
- ・いろいろな「こどものけんり」について知れて良かったです。
- ・こどもの権利は、こどもにとっても、みんなにとっても大切なもの。
- ・かなしいことやつらいことがそうだとできるところや、あんしんできるところがあればいいとおもいます。
- ・長く勉強してきた大人は多くの人が「こどもの権利」について知っていると思うので、こども自身が「こどもの権利」について知る機会がもっとあると良いと思います。学校の授業で先生の説明を聞いたり動画を観たりした後に話し合うなど、するのが良いと思いました。
- ・むずかしいことだけどこどもにとっていいことだと思った。親にも今の回答を読んでほしい。
- ・外国の人にも知ってもらいたい。
- ・こどもの権利をたくさん大人の知って、こどもを大切にしてほしい。
- ・自分が安心して話しが出来るところがちかくにあってほしい。
- ・自由に遊べる所がほしい。
- ・イラッとしても、2、3回は聞いて欲しい。
- ・ホッとするとところがほしい。

### 【小学4～6年生】

- ・こどもの権利と言われても、具体的に何なのか分かりづらいことがあるのでそれを知る機会が欲しい。
- ・こどもの権利の意味をみんながしれるようになってほしいです。
- ・差別は絶対良くないし、だれでも苦しめるこどもは大人にそうだんしてほしい。

- ・子どもが安心して相談ができる場所があったらいいなと思います。私達が安心して相談できる人がいっぱいいたら、多くの子どもが助かると私は思います。
- ・みんなが「こどものけんり」を知って、幸せに生きていける環境にしたいと思いました。
- ・大人だけでなく、子どももこどもの権利についてしっかりと確認して、守っていきたいです。
- ・みんなに「こどものけんり」知ってほしい。
- ・誰一人欠けずにみんな「こどものけんり」を尊重されてほしい。
- ・こどもの権利はいつでも尊重されないといけないものであり、みんなが平等にしないといけないため、ひいきや差別はよくないと思った。
- ・みんなが理解すること大切なことだと思います。
- ・みんなの個性、趣味、好きなことを尊重してほしい。
- ・みんなの意見を尊重してほしいと思いました。
- ・学校で、もっと子どもの意見を反映して欲しい。
- ・こども同士で「こどものけんり」を尊重しあうことも、大人同士が「こどものけんり」について見直すことも、どちらも大切だと思いました。こどもと大人が実際にお互いの「こどものけんり」に対する意見を伝え合い、その意見を反映することが必要だ、と考えました。
- ・こどものけんりをみんなに知ってもらって、みんなが安心して過ごせたらいいなと思います。
- ・こどものけんりの大切さがわかりました。こどものけんり知らない人にぜひ知ってほしいと思いました。いつでも相談できる場所や落ち着く場所を作ってくれと安心してします。
- ・子どもが意見を言ったり安心できる居場所づくりはとても大切なことなので、自分が大人になったときも忘れずにいたいです。また、みんなが過ごしやすい環境をつくっていききたいです。
- ・こどもの権利についてあんまり知らないから、このアンケートを機に調べてみたい。
- ・大人の考えることがたいてい優先されているから、そういうのはやめて大人もこどもも同じ人間なので同じくらい重要な意見として取り入れてほしいです。
- ・こどもは自由に生活することが大事だと思う。運動のできる場所や勉強が集中できる場所があると生活しやすいと思う。
- ・周りの子に合わせずに自分の意見を尊重していいんだなって思いました。
- ・こどもの権利は大切だけどまだそれを守られていない人がいる。
- ・全て大人の意見で通してほしくない。
- ・差別がなく、こどもが自分らしく成長することは大事とわかった。
- ・こどもの権利について知らない大人やこどもが減って、日本に引っ越してきた外国人にも子どもの権利について知ることができるようになってほしいです。また、自分のこどもを大切にしない人がいなくなってこどもたちに悩みが減っていくといいな、と思っています。
- ・こどもの権利は、みんなが自由に楽しく生活できるための誰でも持っている大切な権利だと思います!!
- ・こどもの権利って何?と最初は思ったが、このアンケートに参加してこどもの権利は大切なものなのだと知った。

問9 「こどもの権利」についてご意見やご要望、期待することなどがありましたら、自由にご回答ください。

※文京区では、（仮称）こどもの権利に関する条例（素案）をホームページに公表しています。

この素案についても、ご意見やご要望などがありましたら、自由にご回答ください。

また、条例に入っていたらよいと思う言葉などがありましたら、そちらについても自由にご回答ください。

#### 【中学生】

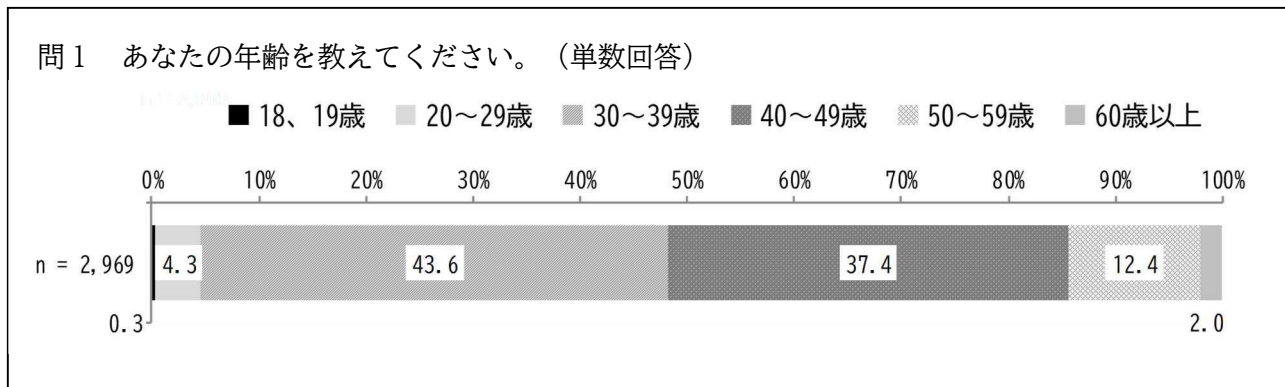
- ・「こどもの意志を尊重すること」などがあるとよいかと思いました。
- ・自分の意見を伝えることと、わがままを言うことは全く別のことだと思います。自分らしさは大切ですが、かといって自分を押し通して誰かを傷つけてしまってはいけません。だから正しい意見の交換やまわりを思いやることを学ぶ教育が必要であると私は考えます。
- ・一人一人が安心して過ごせるところを作ってもらいたい。
- ・この条例で、こどもたちの暮らしや毎日がより過ごしやすくなればいいと思います。
- ・学校などに掲示して、いろんな人が見れると思うので、ポスターやチラシでこどもの権利について啓発してほしいです。
- ・相談できる場所を増やす。
- ・こどもの意見を反映できる場所を作ってください。
- ・「こどもの権利」をつくり、社会に浸透させることで、虐待や暴力を受けるこどもが少しでも減ったらいいなと思います。
- ・年齢で決めつけない。
- ・こどもの意見を受け止めてください。

#### 【高校生相当】

- ・こどもの社会参加の拡大がもっとあると良いと思います。
- ・こどもに意見を表明する機会や社会活動を作してほしい。
- ・一人一人の意見が尊重される社会になってほしい。そのために、周りで困っている人がいたら自ら進んで助けてあげたいと改めて感じた。
- ・理解をみんなで深めることが大切。
- ・子ども同士で子どもの権利条約について考える場を作るといいと思います。
- ・みんなに心のよりどころとなるものがあつたらいいなと思う。
- ・ありのままの自分でいられる。
- ・あまり決めつけを押し付けないでほしいです。
- ・子どもが権利を主張すると、“わがままだ”と大人に言われることがある。とても心外。

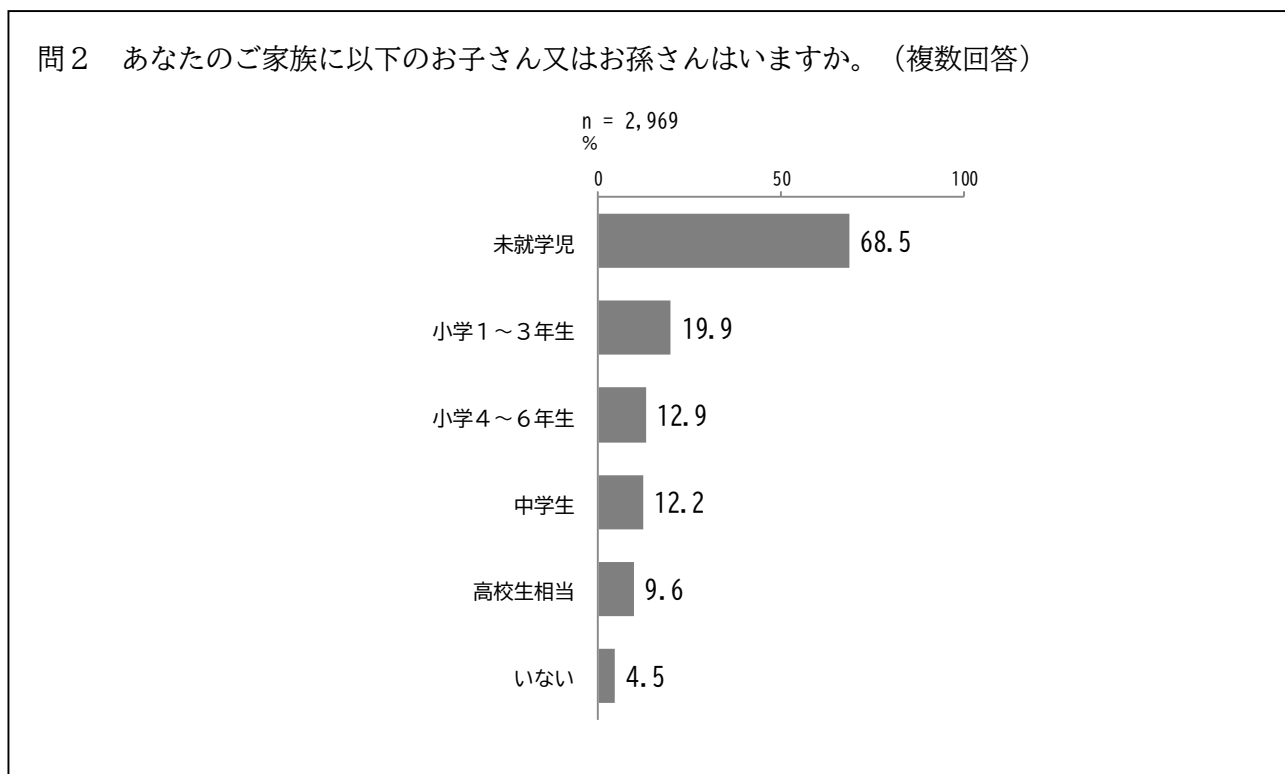
### 3 大人向け調査 調査結果

#### (1) 年齢



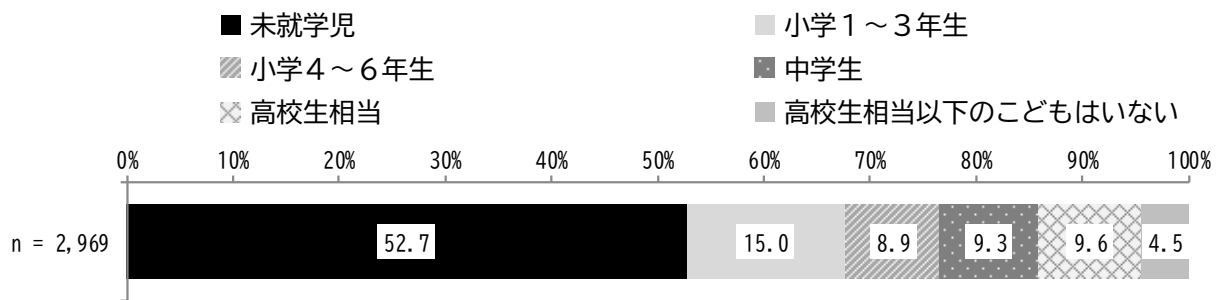
年齢は、「30～39歳」が43.6%で最も高く、以下、「40～49歳」（37.4%）、「50～59歳」（12.4%）となっている。

#### (2) こどもの就学段階



こどもの就学段階は、「未就学児」が68.5%で最も高く、以下、「小学1～3年生」（19.9%）、「小学4～6年生」（12.9%）となっている。

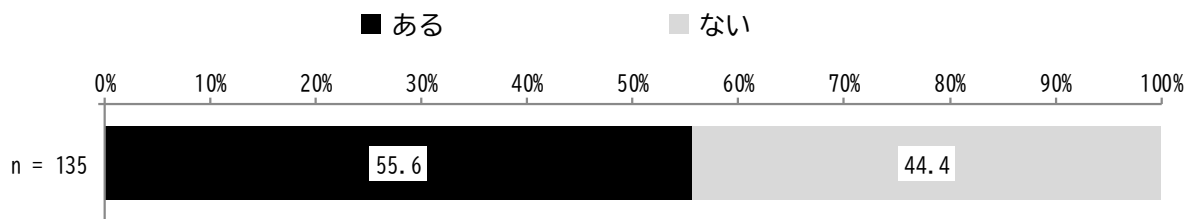
## <長子の就学段階>



長子の就学段階は、「未就学児」が52.7%で最も高く、以下、「小学1～3年生」（15.0%）、「高校生相当」（9.6%）となっている。

## (3) こどもと関わる機会の有無

問2-1 あなたは日頃18歳未満の子どもと関わる機会がありますか。（単数回答）



※ (3) こどもと関わる機会の有無は、(2) こどもの就学段階で「いない」と回答した135人が回答の対象

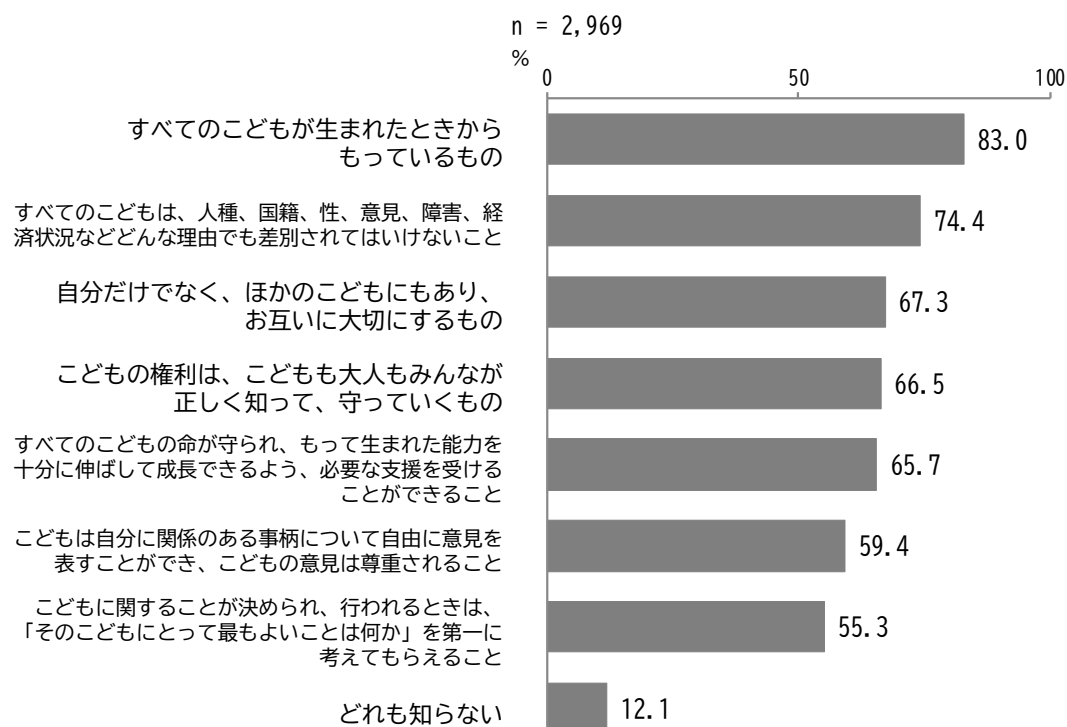
こどもと関わる機会の有無は、「ある」が55.6%、「ない」が44.4%となっている。

#### (4) 「こどもの権利」に関する認知度

問3 こどもには元気で健康に自分らしく育ち、ありのままの自分で生きるために必要な「こどもの権利」があります。

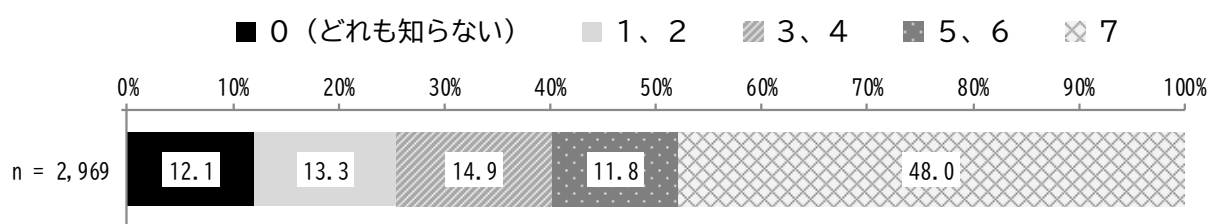
「こどもの権利」について知っていることはありますか。すべて教えてください。

(複数回答)



「こどもの権利」に関する認知度は、「すべてのこどもが生まれたときから持っているもの」が83.0%で最も高く、以下、「すべてのこどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと」(74.4%)、「自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にすること」(67.3%)、「こどもの権利は、こどもも大人もみんなが正しく知って、守っていくもの」(66.5%)となっている。

## <「こどもの権利」に関する認知度（回答数）>



「こどもの権利」に関する認知度を回答数別でみると、「7」が48.0%で最も高く、以下、「3、4」（14.9%）、「1、2」（13.3%）となっている。

## <年齢別の「こどもの権利」に関する認知度>

		調査数（n）	すべてのこどもが生まれたときからもっているもの	こどもの権利は、こどもも大人もみんなが正しく知って、守っていくもの	自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にしているもの	見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	すべてのこどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	とは何か」を第一に考えてもらえること	こどもに関することが決められ、行われるときは、「そのこどもにとつて最もよいこととは何か」を第一に考えてもらえること	う、必要な支援を受けることができること	すべてのこどもの命が守られ、もつて生まれた能力を十分に伸ばして成長できること	は尊重されること	こどもは自分と関係のある事柄についての意見	(%) どれも知らない
全 体		2,969	83.0	66.5	67.3	74.4	55.3	65.7	59.4	12.1				
年 齢 別	18、19歳	8	87.5	25.0	37.5	25.0	37.5	37.5	25.0	12.5				
	20～29歳	128	77.3	51.6	53.9	63.3	49.2	50.8	53.9	16.4				
	30～39歳	1,295	83.2	64.2	65.8	71.2	52.4	62.3	57.4	12.8				
	40～49歳	1,109	83.3	70.1	69.5	77.3	58.0	69.5	61.7	11.1				
	50～59歳	369	81.6	67.2	70.5	79.4	59.9	71.0	62.6	12.2				
	60歳以上	60	91.7	81.7	70.0	88.3	55.0	71.7	60.0	3.3				

年齢別でみると、「すべてのこどもが生まれたときからもっているもの」はすべての年齢で7割以上と高くなっている。特に、60歳以上は9割を超えて高くなっている。「すべてのこどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと」は年齢が上がるほど回答割合が高くなっており、60歳以上は9割近くと高くなっている。一方、「どれも知らない」は1割台の年齢が多くなっているが、20～29歳で1割台半ばと、他の年齢と比較して高くなっている。

		調査数（n）	すべてのこどもが生まれたときからもって	こどもの権利は、こどもも大人もみんなが正しく知って、守っていくもの	自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にすること	見、障害、経済状況などどんな理由でも意差別されてはいけないこと	すべてのこどもは、人種、国籍、性、意識、障害、経済状況などどんな理由でも意差別されてはいけないこと	こどもに関することが決められ、行われるときは、「そのこどもにとつて最もよいことは何か」を第一に考えてもらえること	う、必要な支援を受けることができること	すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できること	は尊重されること	こどもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、こどもの意見は尊重されること	どれも知らない	(%)
全 体		2,969	83.0	66.5	67.3	74.4	55.3	65.7	59.4	12.1				
長子の就学段階別	未就学児	1,566	81.9	62.4	63.3	70.0	50.9	61.7	55.6	13.6				
	小学1～3年生	444	89.0	75.5	75.0	80.0	62.2	69.4	65.5	8.3				
	小学4～6年生	263	81.7	70.3	69.6	79.5	60.1	68.8	60.8	11.0				
	中学生	277	83.8	71.5	73.6	80.1	60.6	72.6	66.8	7.9				
	高校生相当	284	76.8	63.0	63.7	74.6	54.6	68.0	59.2	16.9				
	高校生相当以下のこどもはいない	135	88.9	74.1	77.8	84.4	64.4	74.8	66.7	6.7				

57

<「こどもの権利」が大切にされているか別の「こどもの権利」に関する認知度>

(%)

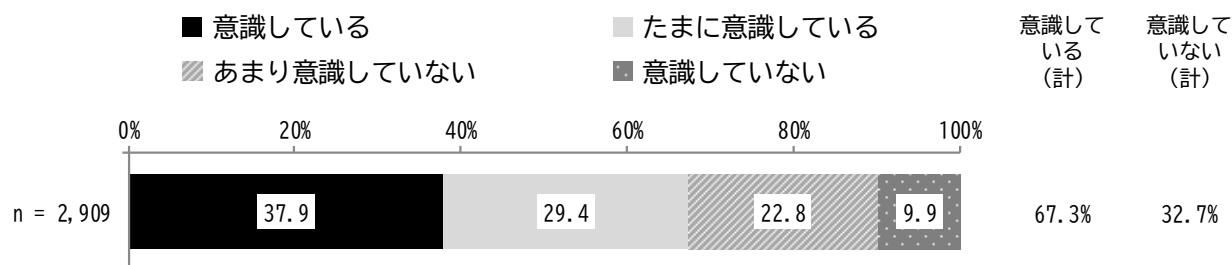
	調査数 (n)	すべてのこどもが生まれたときからもっているもの	こどもの権利は、正しく知って、守つていくもの	自分だけにでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にすること	別見、障害、経済状況など、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	すべてのこどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	こどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	こどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	こどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと	こどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと
全 体	2,969	83.0	66.5	67.3	74.4	55.3	65.7	59.4	12.1	
別	「こどもの権利」が大切にされている(計)	1,875	89.9	75.0	74.6	81.5	62.9	73.1	66.7	6.3
	「こどもの権利」が大切にされていない(計)	276	84.8	69.9	71.0	76.8	56.9	69.9	66.3	9.4
	「こどもの権利」がわからない	818	66.5	45.7	49.1	57.2	37.3	47.3	40.6	26.2

「こどもの権利」が大切にされているか別でみると、「すべてのこどもが生まれたときからもっているもの」は“大切にされている(計)”で9割近く、“大切にされていない(計)”で8割台半ばと高くなっている。「すべてのこどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと」は“大切にされている(計)”で8割を超え、“大切にされていない(計)”で7割台半ばと高くなっている。一方、「どれも知らない」は“わからない”で2割台半ばと“大切にされている(計)”、“大切にされていない(計)”と比較して高くなっている。

## (5) 「こどもの権利」を意識してこどもと接しているか

【あなたのお子さんや日頃関わっているこどもとの関係についてお伺いします。】

問3-1 あなたはこどもと関わるときに、「こどもの権利」をどのくらい意識して接していますか。（単数回答）



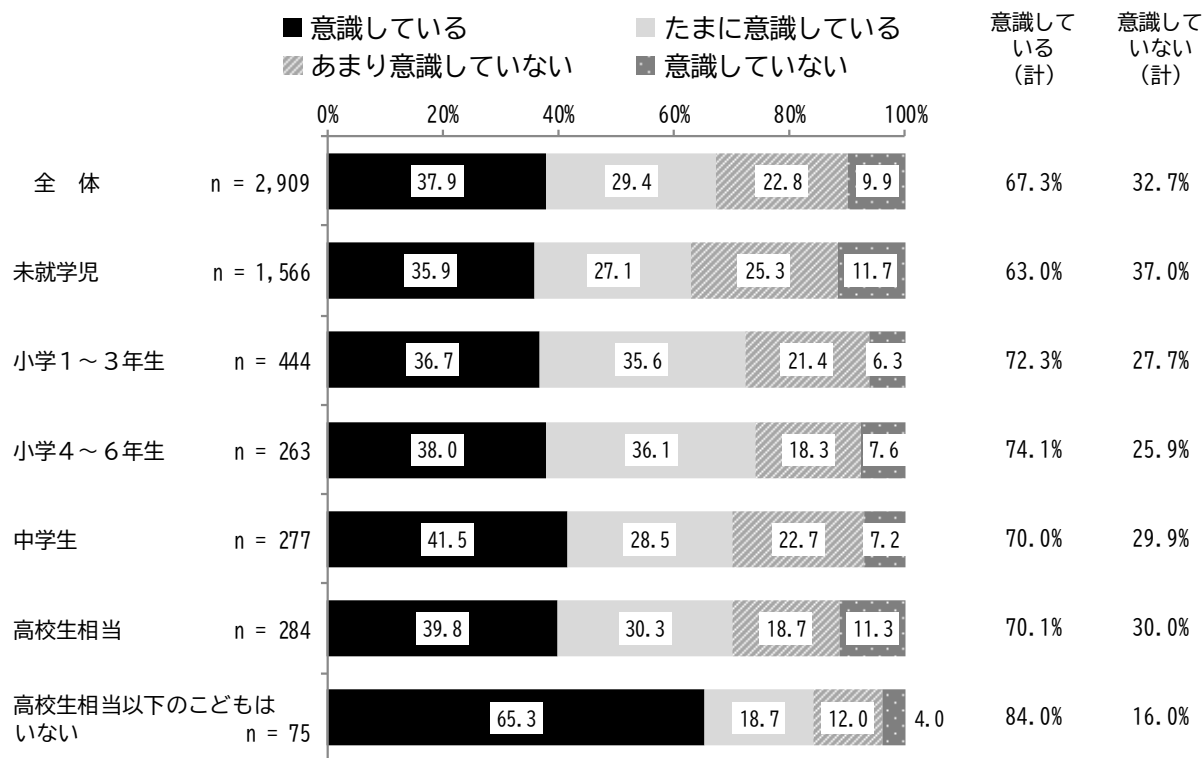
※ (5) 「こどもの権利」を意識してこどもと接しているかは、(2) こどもの就学段階で「未就学児」、「小学1～3年生」、「小学4～6年生」、「中学生」、「高校生相当」のいずれかに回答した、または(3) こどもと関わる機会の有無で「ある」と回答した2,909人が回答の対象

※ 「意識している（計）」は「意識している」と「たまに意識している」の合計

※ 「意識していない（計）」は「意識していない」と「あまり意識していない」の合計

「こどもの権利」を意識してこどもと接しているかは、「意識している」が37.9%で最も高くなっている。「意識している（計）」は67.3%、「意識していない（計）」は32.7%となっている。

## <長子の就学段階別の「こどもの権利」を意識してこどもと接しているか>

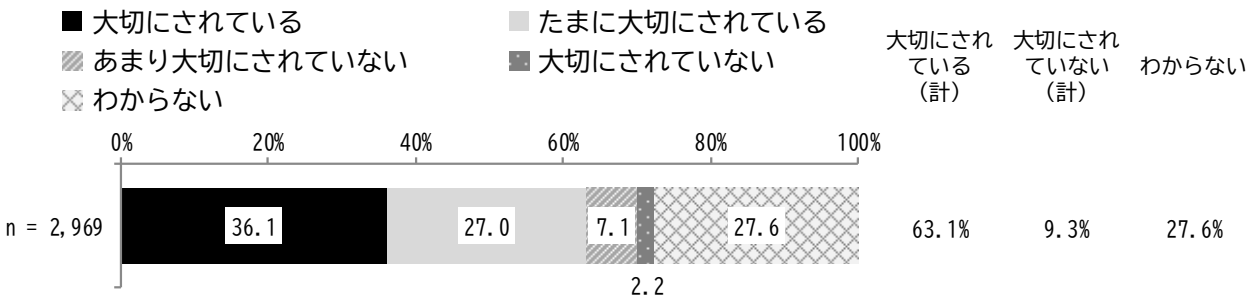


長子の就学段階別でみると、「意識している」は“高校生相当以下のこどもはいない”で6割台半ば、“中学生”で4割を超えて高くなっている。「たまに意識している」は“小学1～3年生”、“小学4～6年生”で3割台半ばと高くなっている。一方、「意識していない」は“未就学児”、“高校生相当”で1割を超え、他の長子の就学段階と比較して高くなっている。

## (6) 「こどもの権利」が大切にされているか

【文京区のことについてお伺いします。】

問4 「こどもの権利」はどのくらい大切にされていると思いますか。(単数回答)

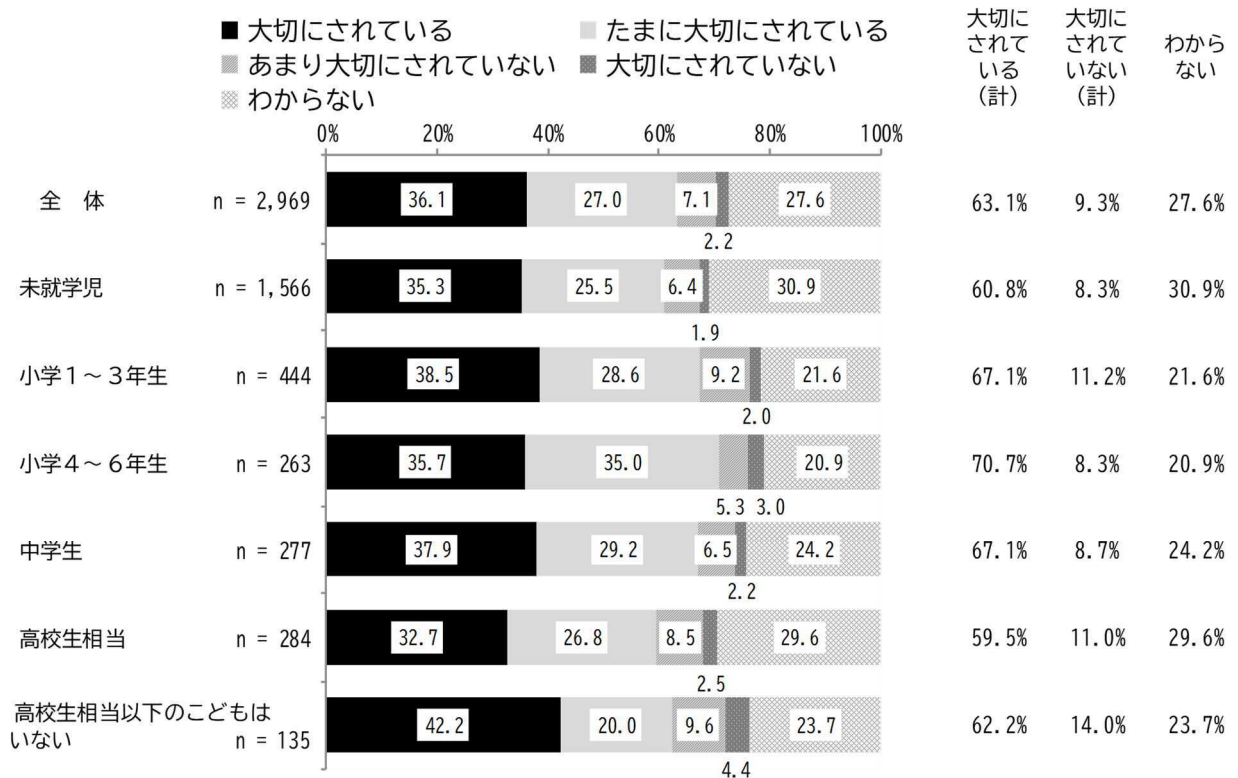


※ 「大切にされている(計)」は「大切にされている」と「たまに大切にされている」の合計

※ 「大切にされていない(計)」は「大切にされていない」と「あまり大切にされていない」の合計

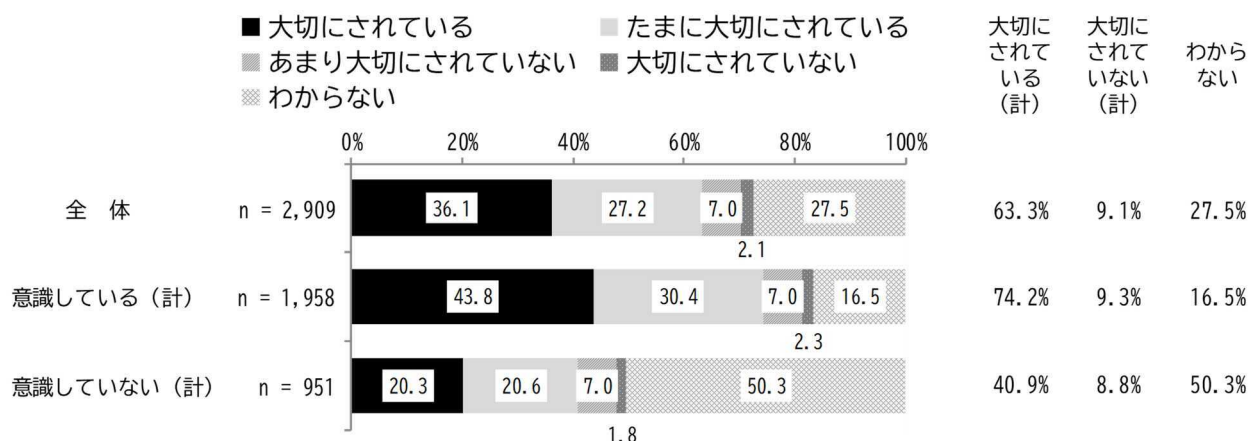
「こどもの権利」が大切にされているかは、「大切にされている」が36.1%で最も高くなっている。「大切にされている(計)」は63.1%、「大切にされていない(計)」は9.3%、「わからない」は27.6%となっている。

### <長子の就学段階別の「こどもの権利」が大切にされているか>



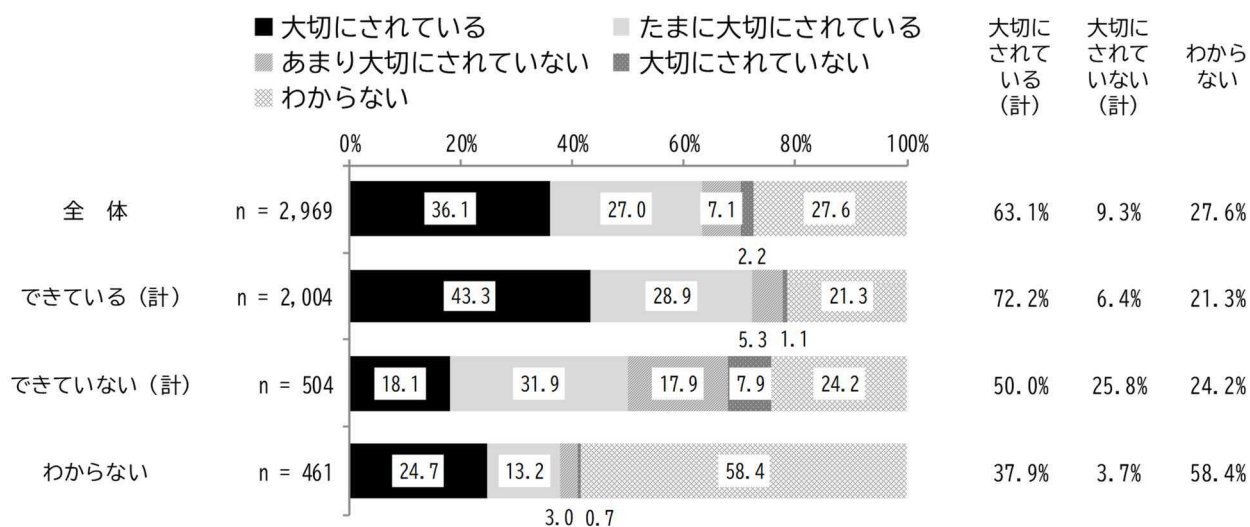
長子の就学段階別でみると、「大切にされている」は“高校生相当以下のこどもはいない”で4割を超え、“小学1～3年生”、“中学生”で4割近くと高くなっている。「たまに大切にされている」は“小学4～6年生”で3割台半ばと高くなっている。一方、「わからない」は“未就学児”で3割、“高校生相当”で3割近くと高くなっている。

<「こどもの権利」を意識してこどもと接しているか別の「こどもの権利」が大切にされているか>



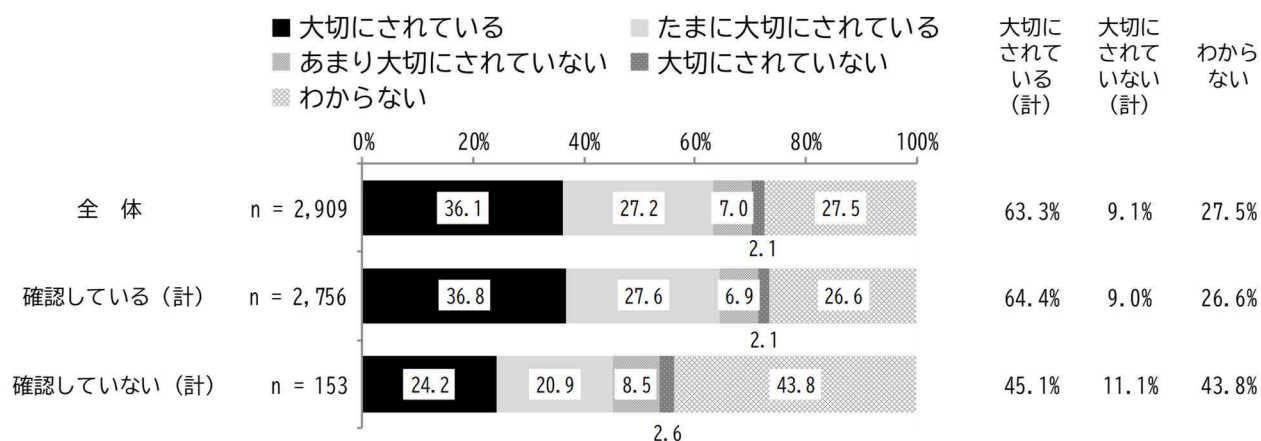
「こどもの権利」を意識してこどもと接しているか別でみると、「大切にされている」は“意識している (計)”が“意識していない (計)”よりも 23.5 ポイント、「たまに大切にされている」も“意識している (計)”が“意識していない (計)”よりも 9.8 ポイント高くなっている。一方、「わからない」は“意識していない (計)”が“意識している (計)”よりも 33.8 ポイント高くなっている。

<こどもは気持ちや意見を言うことができるか別の「こどもの権利」が大切にされているか>



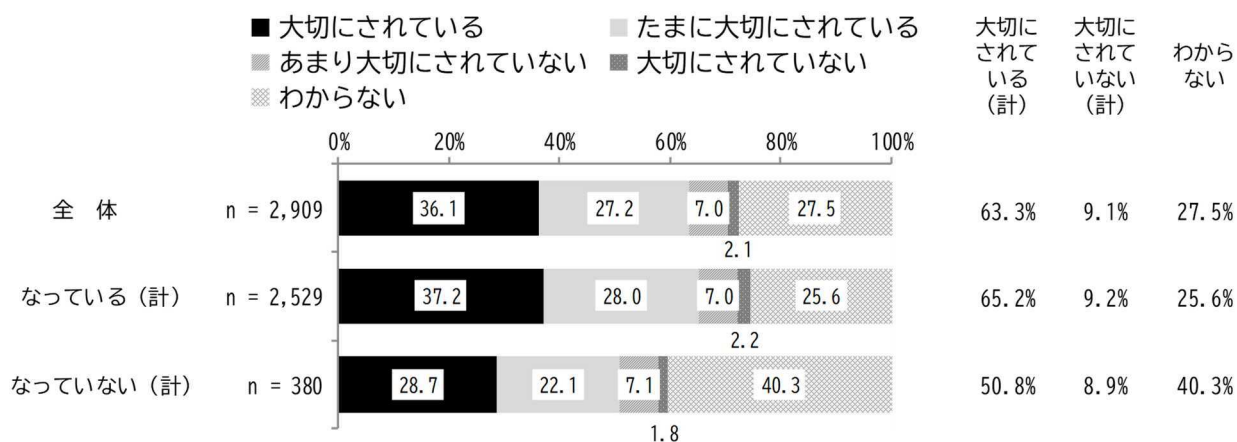
こどもは気持ちや意見を言うことができるか別でみると、「大切にされている」は“できている (計)”で4割台半ばと高くなっている。「たまに大切にされている」は“できていない (計)”で3割を超えて高く、「あまり大切にされていない」も“できていない (計)”で2割近くと高くなっている。

## <こどもの気持ちや意見を確認しているか別の「こどもの権利」が大切にされているか>



こどもの気持ちや意見を確認しているか別でみると、「大切にされている」は“確認している (計)”が“確認していない (計)”よりも 12.6 ポイント、「たまに大切にされている」も“確認している (計)”が“確認していない (計)”よりも 6.7 ポイント高くなっている。一方、「わからない」は“確認していない (計)”が“確認している (計)”よりも 17.2 ポイント高くなっている。

## <こどもの相談相手になっているか別の「こどもの権利」が大切にされているか>

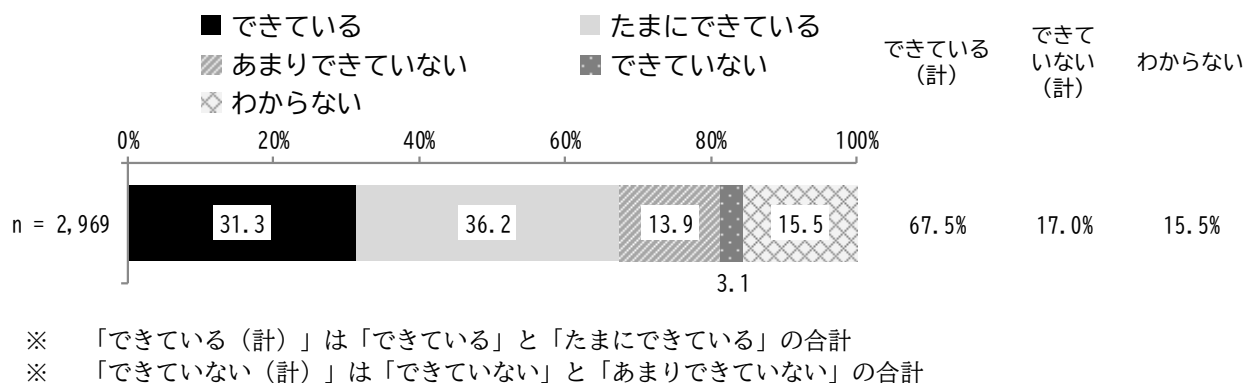


こどもの相談相手になっているか別でみると、「大切にされている」は“なっている (計)”が“なっていない (計)”よりも 8.5 ポイント、「たまに大切にされている」も“なっている (計)”が“なっていない (計)”よりも 5.9 ポイント高くなっている。一方、「わからない」は“なっていない (計)”が“なっている (計)”よりも 14.7 ポイント高くなっている。

## (7) こどもは気持ちや意見を言うことができるか

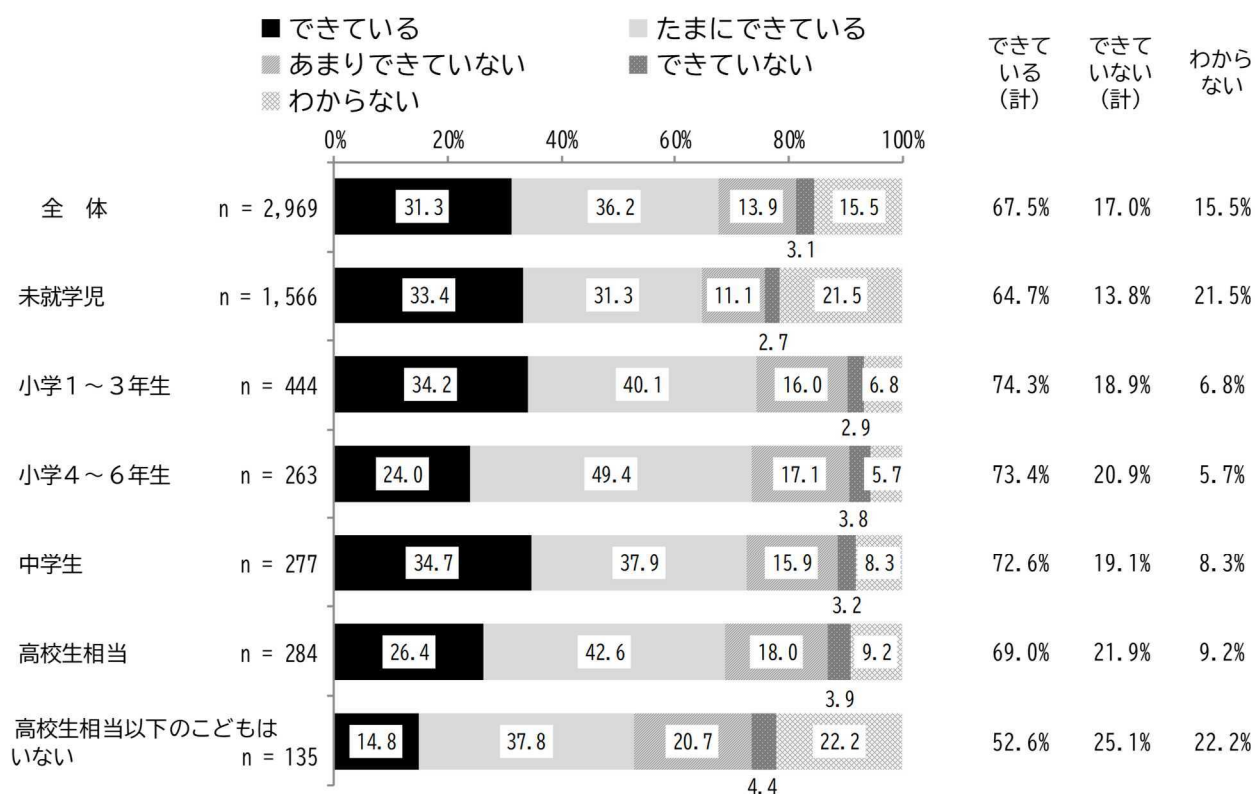
【文京区のことについてお伺いします。】

問5 こどもはまわりの人に自分の気持ちや意見をどのくらい言うことができていると思いますか。（単数回答）



こどもは気持ちや意見を言うことができるかは、「たまにできている」が36.2%で最も高くなっている。「できている(計)」は67.5%、「できていない(計)」は17.0%、「わからない」は15.5%となっている。

### <長子の就学段階別のこどもは気持ちや意見を言うことができるか>

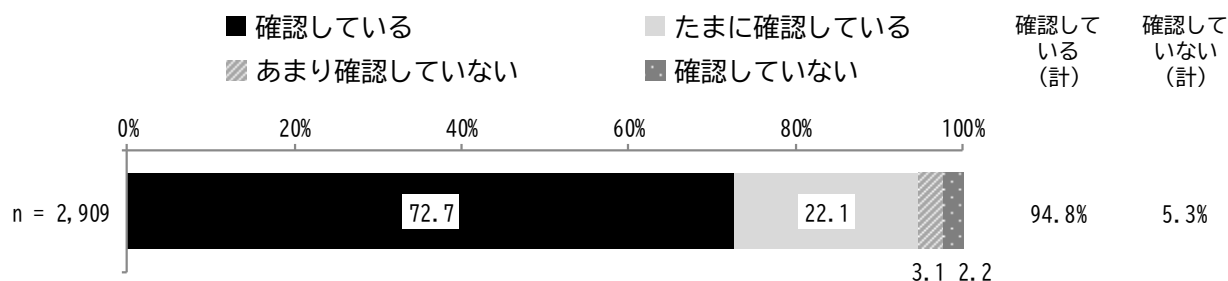


長子の就学段階別でみると、「できている」は“未就学児”、“小学1～3年生”、“中学生”で3割台半ばと高くなっている。「たまにできている」は“小学4～6年生”で5割近く、“高校生相当”で4割を超えて高くなっている。一方、「わからない」は“未就学児”、“高校生相当以下のこどもはいない”で2割を超えて高くなっている。

## (8) こどもの気持ちや意見を確認しているか

【あなたのお子さんや日頃関わっているこどもとの関係についてお伺いします。】

問5-1 あなたはこどものことを決めるときにこどもの気持ちや意見をどのくらい確認していますか。(単数回答)



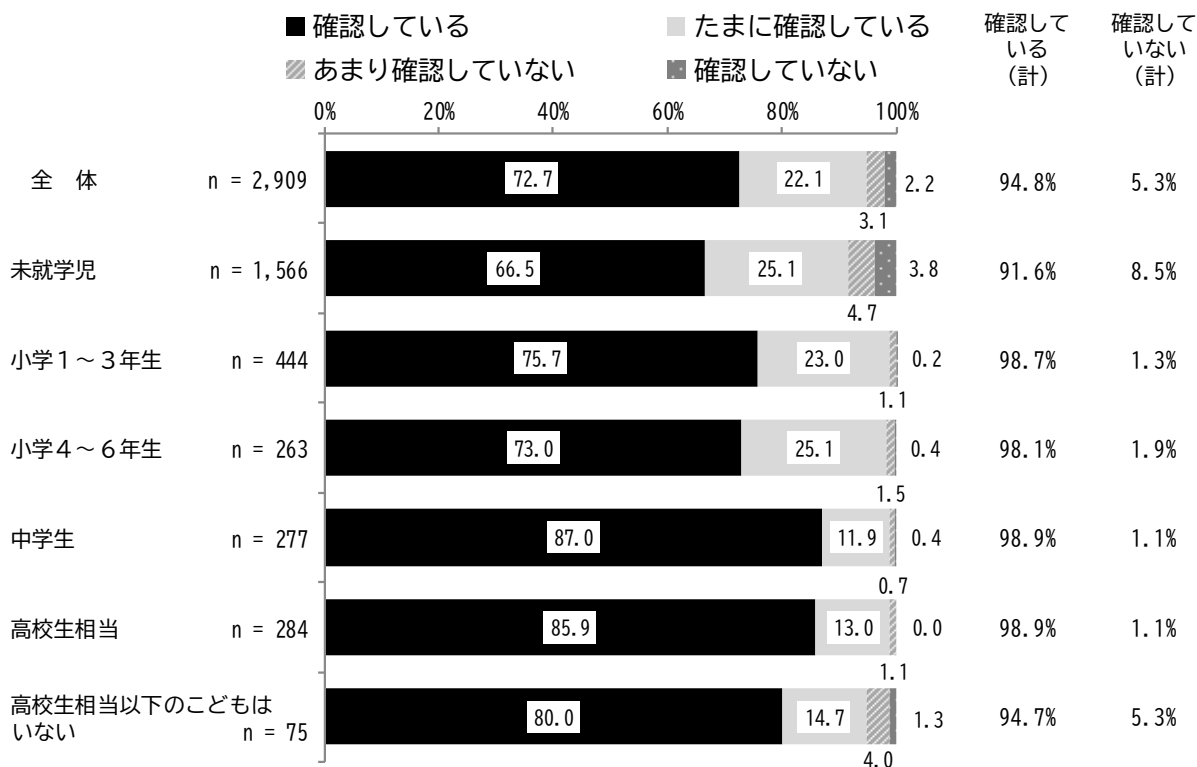
※ (8) こどもの気持ちや意見を確認しているかは、(2) こどもの就学段階で「未就学児」、「小学1～3年生」、「小学4～6年生」、「中学生」、「高校生相当」のいずれかに回答した、または(3) こどもと関わる機会の有無で「ある」と回答した2,909人が回答の対象

※ 「確認している (計)」は「確認している」と「たまに確認している」の合計

※ 「確認していない (計)」は「確認していない」と「あまり確認していない」の合計

こどもの気持ちや意見を確認しているかは、「確認している」が72.7%で最も高くなっている。「確認している (計)」は94.8%、「確認していない (計)」は5.3%となっている。

### <長子の就学段階別のこどもの気持ちや意見を確認しているか>

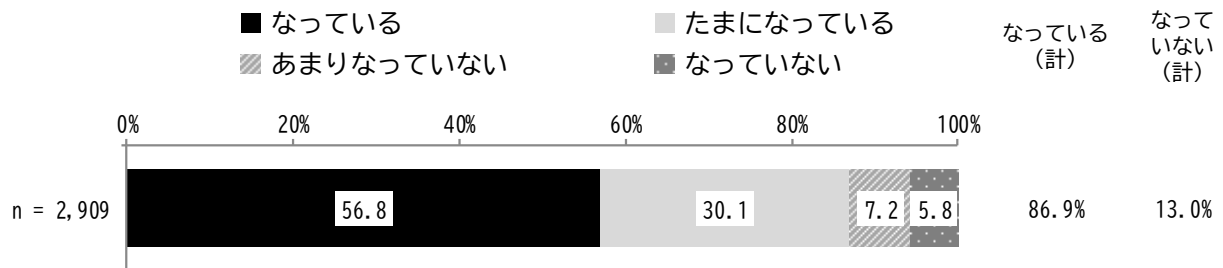


長子の就学段階別でみると、「確認している」は“中学生”で9割近く、“高校生相当”で8割台半ばと高くなっている。「たまに確認している」は“未就学児”、“小学1～3年生”、“小学4～6年生”で2割台半ばと他の長子の就学段階と比較して高くなっている。

## (9) こどもの相談相手になっているか

【あなたのお子さんや日頃関わっている子どもとの関係についてお伺いします。】

問5-2 あなたはこどもの相談相手にどのくらいなっていますか。(単数回答)



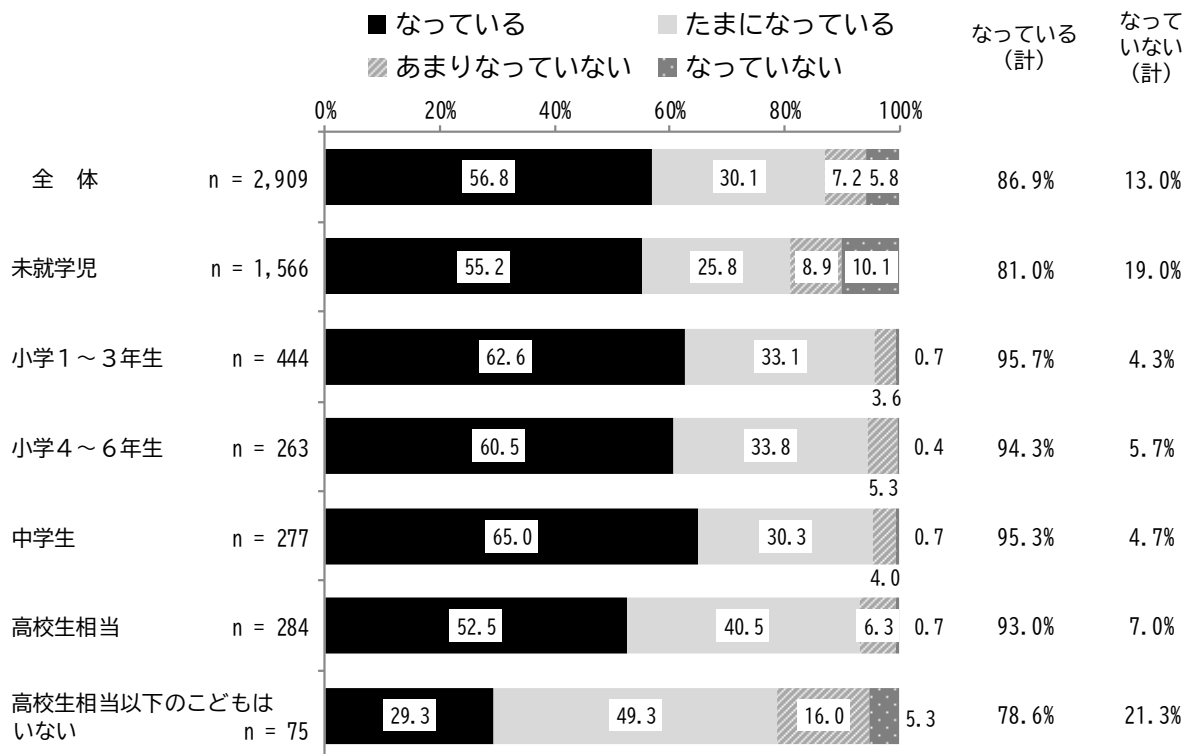
※ (9) こどもの相談相手になっているかは、(2) こどもの就学段階で「未就学児」、「小学1～3年生」、「小学4～6年生」、「中学生」、「高校生相当」のいずれかに回答した、または(3) こどもと関わる機会の有無で「ある」と回答した2,909人が回答の対象

※ 「なっている (計)」は「なっている」と「たまになっている」の合計

※ 「なっていない (計)」は「なっていない」と「あまりなっていない」の合計

こどもの相談相手になっているかは、「なっている」が56.8%で最も高くなっている。「なっている (計)」は86.9%、「なっていない (計)」は13.0%となっている。

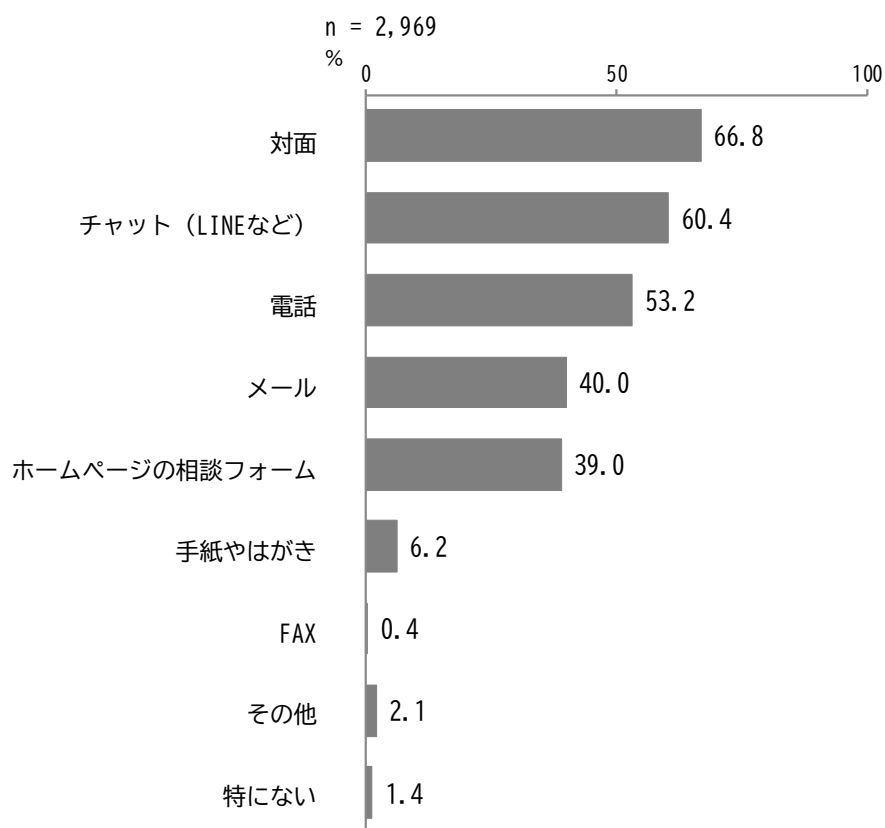
### <長子の就学段階別のこどもの相談相手になっているか>



長子の就学段階別でみると、「なっている」は“中学生”で6割台半ば、“小学1～3年生”で6割を超えて高くなっている。「たまになっている」は“高校生相当以下のこどもはいない”で5割近く、“高校生相当”で4割と高くなっている。

## (10) 相談手段

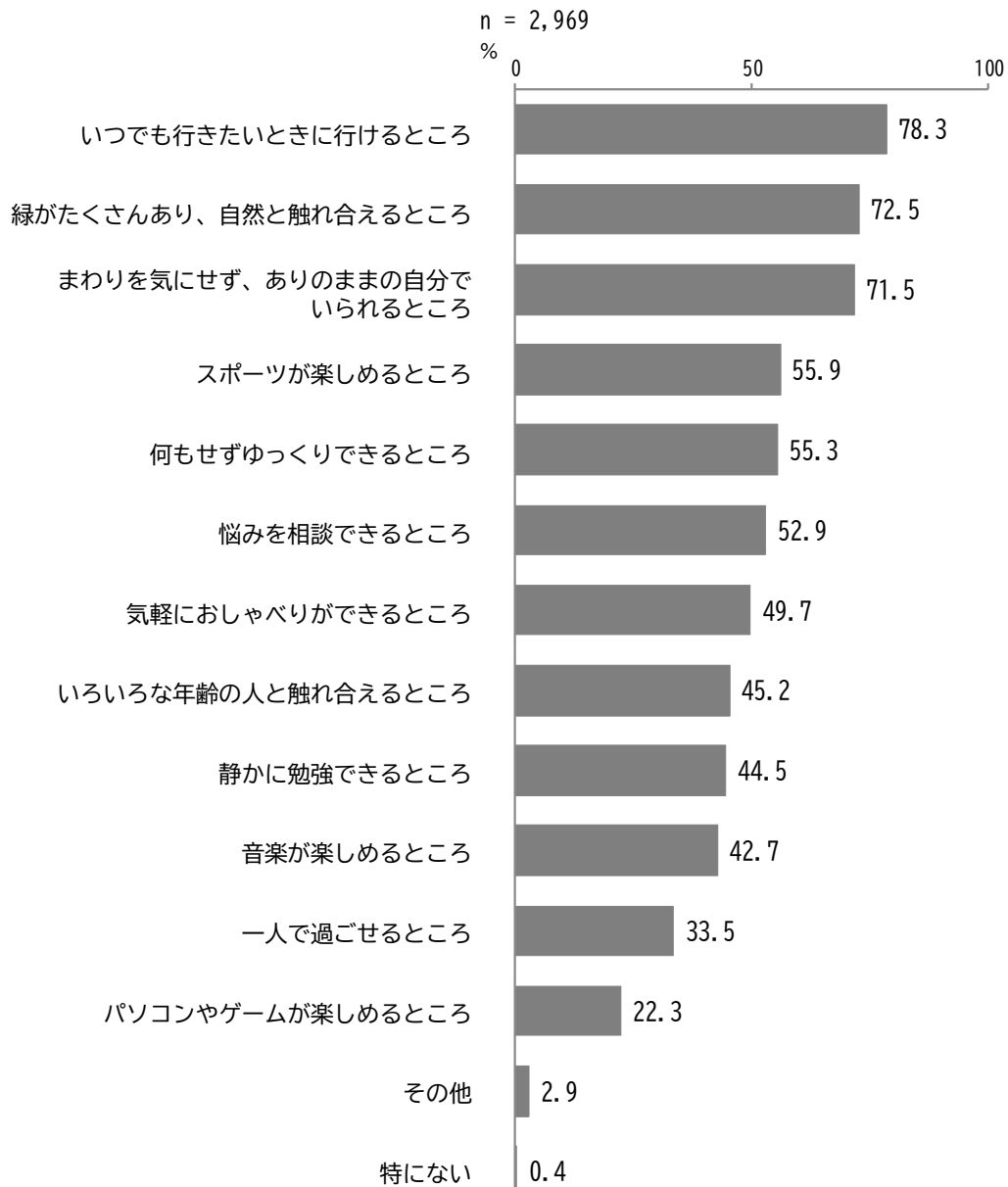
問6 区役所などにあるこどもに関する相談窓口では、どんな方法だと相談しやすいですか。すべて教えてください。（複数回答）



相談手段は、「対面」が66.8%で最も高く、以下、「チャット (LINE など)」(60.4%)、「電話」(53.2%)、「メール」(40.0%)、「ホームページの相談フォーム」(39.0%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「Zoom などのオンラインビデオ通話」、「匿名で相談できる窓口」などがあった。

## (11) こどもの居場所

問7 こどもの居場所としてどのような場所があるとよいと思いますか。すべて教えてください。  
(複数回答)



こどもの居場所は、「いつでも行きたいときに行ける場所」が78.3%で最も高く、以下、「緑がたくさんあり、自然と触れ合える場所」(72.5%)、「まわりを気にせず、ありのままの自分でいられる場所」(71.5%)、「スポーツが楽しめる場所」(55.9%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「プレーパークや広い広場など子どもが自由に遊べる場所」、「安全が守られる場所」、「勉強を教えてもらえる場所」などがあつた。

# <長子の就学段階別のこどもの居場所>

(%)

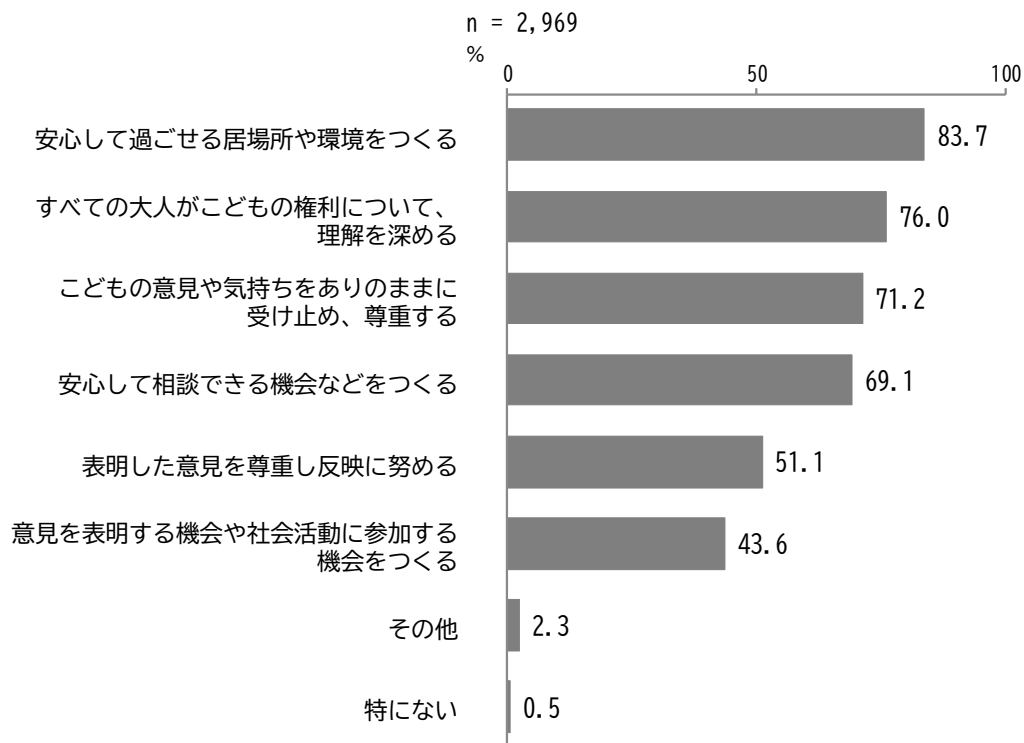
		調査数 (n)	いつでも行きたいときに行けるところ	何もせずゆっくりできるところ	まわりを気にせず、ありのままの自分でいられるところ	一人で過ごせるところ	気軽にしゃべりができるところ	いろいろな年齢の人と触れ合えるところ	悩みを相談できるところ	スポーツが楽しめるところ	音楽が楽しめるところ	パソコンやゲームが楽しめるところ
全 体		2,969	78.3	55.3	71.5	33.5	49.7	45.2	52.9	55.9	42.7	22.3
長子の就学段階別	未就学児	1,566	81.7	55.0	72.7	30.1	47.6	44.9	48.9	55.9	45.3	18.3
	小学1～3年生	444	81.1	57.9	72.1	35.8	52.5	49.1	54.1	61.7	42.3	21.6
	小学4～6年生	263	76.4	52.9	71.1	36.1	53.2	49.0	54.0	55.9	35.0	26.6
	中学生	277	67.5	53.1	64.6	34.7	52.3	41.9	57.8	57.8	40.1	28.9
	高校生相当	284	69.7	57.0	69.7	41.2	50.4	40.5	58.1	52.1	42.6	32.4
	高校生相当以下のこどもはいない	135	74.1	55.6	74.1	42.2	51.9	45.9	71.9	40.7	33.3	28.1

		調査数 (n)	静かに勉強できるところ	緑がたくさんあり、自然と触れ合えるところ	その他	特にない
全 体		2,969	44.5	72.5	2.9	0.4
長子の就学段階別	未就学児	1,566	40.0	76.5	3.1	0.3
	小学1～3年生	444	43.0	77.3	2.5	0.2
	小学4～6年生	263	48.7	71.1	3.4	0.4
	中学生	277	56.0	62.8	1.1	0.7
	高校生相当	284	56.3	62.0	3.2	0.7
	高校生相当以下のこどもはいない	135	43.7	56.3	3.7	0.7

長子の就学段階別でみると、「いつでも行きたいときに行けるところ」は“未就学児”、“小学1～3年生”で8割を超え、“小学4～6年生”、“高校生相当以下のこどもはいない”で7割台半ばと高くなっている。「緑がたくさんあり、自然と触れ合えるところ」は“小学1～3年生”で8割近く、“未就学児”で7割台半ばと高くなっている。「悩みを相談できるところ」は“高校生相当以下のこどもはいない”で7割を超え、他の長子の就学段階と比較して高くなっている。

## (12) 周りの大人が「こどもの権利」を守るために行うべきこと

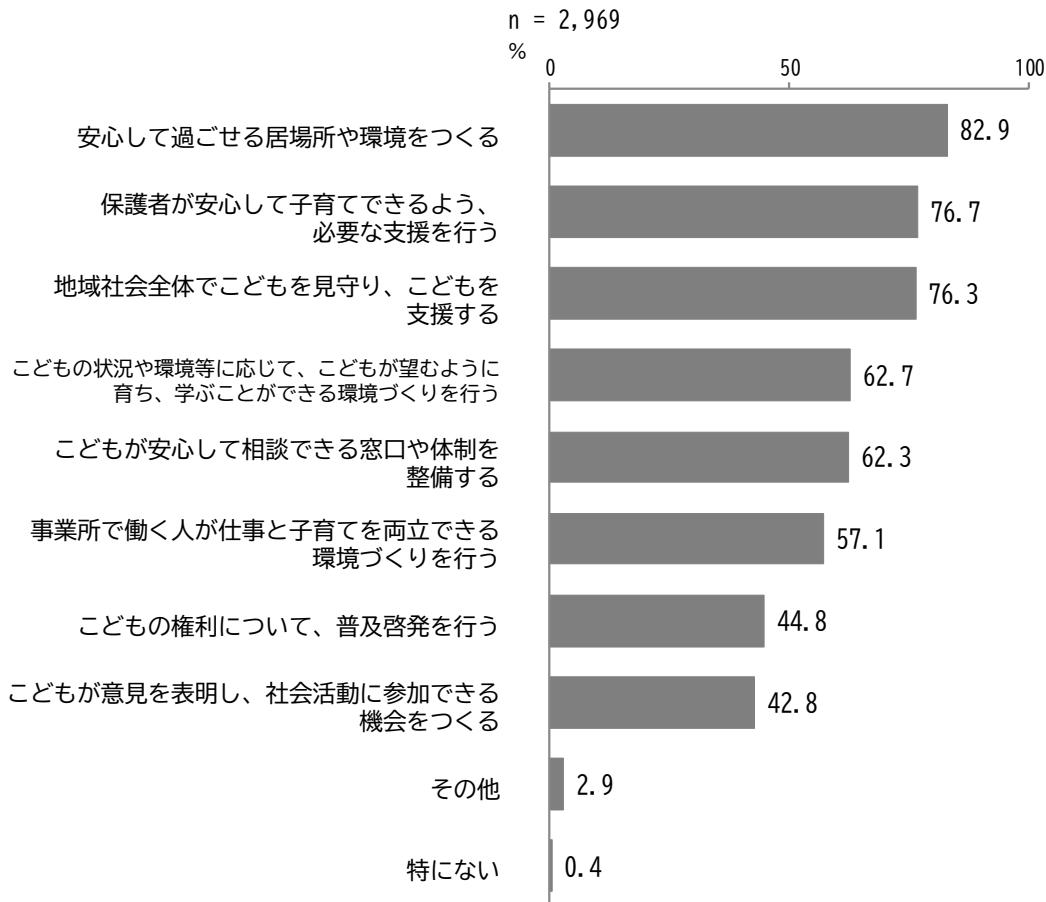
問8 「こどもの権利」を守るために、周りの大人が行うべきことは何だと思いますか。すべて教えてください。（複数回答）



周りの大人が「こどもの権利」を守るために行うべきことは、「安心して過ごせる居場所や環境をつくる」が83.7%で最も高く、以下、「すべての大人がこどもの権利について、理解を深める」（76.0%）、「こどもの意見や気持ちをありのままに受け止め、尊重する」（71.2%）、「安心して相談できる機会などをつくる」（69.1%）となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「大人同士でも相手の人権を尊重している姿をこどもに見せる」、「こどもの気持ちを受け止めるために大人が余裕を持つこと」などがあつた。

### (13) 社会や行政が「こどもの権利」を守るために行うべきこと

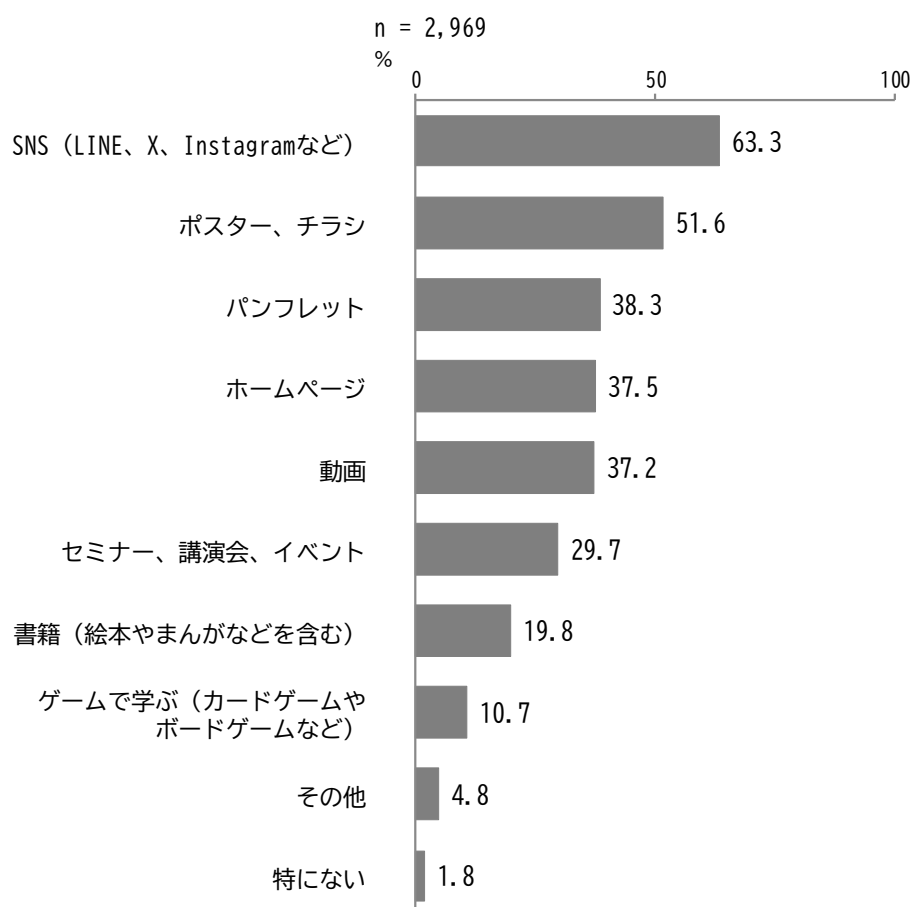
問9 「こどもの権利」を守るために、社会や行政が行うべきことは何だと思いますか。すべて教えてください。（複数回答）



社会や行政が「こどもの権利」を守るために行うべきことは、「安心して過ごせる居場所や環境をつくる」が82.9%で最も高く、以下、「保護者が安心して子育てできるよう、必要な支援を行う」(76.7%)、「地域社会全体で子どもを見守り、子どもを支援する」(76.3%)、「こどもの状況や環境等に応じて、こどもが望むように育ち、学ぶことができる環境づくりを行う」(62.7%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「こどもの権利について学ぶ機会をつくる」、「社会から孤立しがちな家庭の子どもを把握する」などがあつた。

# (14) 「こどもの権利」の周知方法

問 10 「こどもの権利」について、大人への周知方法としてどのようなやり方が効果的だと思いますか。すべて教えてください。（複数回答）



「こどもの権利」の周知方法は、「SNS (LINE、X、Instagram など)」が 63.3%で最も高く、以下、「ポスター、チラシ」(51.6%)、「パンフレット」(38.3%)、「ホームページ」(37.5%)、「動画」(37.2%)となっている。なお、「その他」の具体的な内容には、「区報ぶんきょう」、「公共交通機関で掲示」などがあった。

## (15) 自由回答

問 11 「こどもの権利」についてご意見やご要望、期待することなどがありましたら、自由にご回答ください。

※文京区では、（仮称）こどもの権利に関する条例（素案）をホームページに公表しています。

この素案についても、ご意見やご要望などがありましたら、自由にご回答ください。

また、条例に入っていたらよいと思う言葉などがありましたら、そちらについても自由にご回答ください。

以下、原文掲載を基本としつつ、一部編集・抜粋の上掲載。

- ・うまく表現できないのですが、「1% better than yesterday」や「live better」という言葉があれば嬉しいです。
- ・こどもの権利について知りませんでした。このような機会を設けていただき、ありがとうございます。区のホームページで素案を拝見しました。こどもの権利に関する条例に適当かは分かりませんが、「感謝」「尊重」「自立」というキーワードや「こどもの可能性を広げること」とそのために「こどもが選択できること」を大切にしたいです。
- ・子どもを持つ親でさえあまりわかっていないので、子どもとの接点がない大人は「こどもの権利」について無知だと思う。啓発活動に期待する。文京区には外国にルーツを持つ子どもも多いので「生まれた場所や国籍、人種に関係なく誰もが持つ権利」であることを強調してほしい。「こどもの権利」を尊重できる社会が、あらゆる人の基本的人権を尊重できるインクルーシブな社会に成長していくことを期待する。
- ・子どもから、大人は一定労働時間があると必ず休憩をとらなければならないのに、こどもは5時間、6時間と休憩なしで授業を受けるのはおかしくないか、と言われその通りだと思った。こどもが休憩をとる権利があってもよいと思う。
- ・守られるだけでなく、優しく温かく見守られる権利もあつたらのびのび成長できるかなと思います。
- ・「大人は自らがこどもの時代に感じた気持ちを思い出して子どもに接することを心がける」というような文言があっても良いかと思いました。
- ・子どもが家庭の事情に関わらず、生きるために十分な教育を受ける権利を特に保障されたい。
- ・大人への啓発が重要と感じます。区報やポスター等で折りに触れてご紹介いただけるとよいかとおもいます。
- ・親の子育て相談などの機会を増やし充実させてほしい。親の幸せやゆとりがあり始めてこどもの権利が実現すると思う。産後や子育てで悩み苦しむ親は大勢いると思います。
- ・今回のアンケートを通じ、「こどもの権利」を理解していても、親に余裕がない場面で丁寧な対応ができず、子どもにしわ寄せがいつているかもしれないと考えました。親、または保育者など、【こどもの権利を行使するための、大人へのケア】もセットでお願いしたいです。
- ・こどもの権利について目にしたり考えたりする中で人権を尊重する意識が高まり、全ての人の権利が尊重される社会となり、こどもの権利がより意識して尊重されるようになってほしいと思います。

- ・ 条例の文言は低年齢のこどもには難しく、大人も説明しづらいことがあるので、こども向けに噛み砕いた表現のリーフレットなどがあると嬉しいです。
- ・ 子ども自身が知ることが自衛につながると思うので、保育園や学校で動画やお芝居で啓蒙してほしいです。このアンケートに答えるような大人は知っていることで、知らなそうな保護者や祖父母に届くよう、模索してほしいです。個人的には年配男性、祖父母は、子どもの反応を待ってあげたり、子どもの言葉を率直に受け取ったり確認したりが難しく、こどもの権利に対して鈍感だと感じています。
- ・ 大人はもちろん、子ども自身がこどもの権利について知ることでも大事なので、こどもが理解できることばで条例が周知されることも必要だと思います。また、こどもの権利についてどのような課題や現状があるのか、具体的な例を用いて示されると、一人一人の関心や理解も深まると思います。
- ・ こどもらしく生きられるような環境を整えてあげてください。
- ・ 子どもにも人権がありその権利を大切にされて、自由に発言出来て、安心して過ごせる環境を作してほしい。
- ・ 学校に通うこどもをもつ親以外の大人への啓蒙活動が大切だと感じる。（特に最近の事件や会社での言動をみて感じる）
- ・ やりたいことを思う存分できる環境作りをしてあげたい
- ・ 大人への周知とともに、子ども自身への周知や啓発が大切だと思います。
- ・ こどもの権利をこども達は認知していないと感じる。学校生活の中で授業や講演会などで理解し安心して生活できるようになれば良いと思う。それぞれの学校内にでも掲示するようなポスターがあってもいいと思う。
- ・ こどもの権利については聞いたことがあり、内容も全て大切であると感じるが、あまりこどもの権利について考える機会が無かった。具体的にどんな事をすれば良いのかを知りたい。実際に、こどもの権利に基づいて区で行なっていることを知りたい。
- ・ 「理解を深める」ためにパンフレットや動画など様々かんがえられますが、できるだけ具体例（特に権利を侵している事例）を出して周知していただけるとよいと考えます。無自覚にこどもの権利を侵しているケースが非常に多いと思います。
- ・ 権利を定めるだけでなく、すべての子どもがその権利をきちんと行使できる仕組みづくりをお願いします。
- ・ こどもの権利という言葉はまだまだ認知度が低い気がします。出産時や就学時などのライフステージの変遷の時には強く啓蒙してもらえると同時に、こどものいない家庭や独身世帯にも幅広く認知してもらえる活動が必要かと思っています。
- ・ 啓蒙活動は難しいと思いますが、若い父母年代の目に触れることが大切だと思います。実際、私も未就学児を育てる親ですが「こどもの権利」の具体的なことは存じ上げませんでした。子どもの関係で比較的目的を通すのは保育園からのチラシや案内なので、そこに織り交ぜたりするのもいいかもしれません。このような漠然とした内容を能動的に受け取りに行く方は少ないと思うので、いかに具体的な内容をまずは受動的にでも受け取ってもらうか、が大事なのかなと思います。
- ・ 今現在子育てをしている世代ではない人、子育てをしていない人に向けて発信をしていただき、社会全体で子どもを守っていく世の中になってほしいです。
- ・ 核家族化が増していく社会で、子どもも保護者も気兼ねなく相談できたり、悩みを受け入れてくれる環境が保てるよう、こどもの権利に関する条例が施行されることを、切に願います。

- ・ こどもの権利を守るためには、親がそれを尊重出来るだけの余裕が心と体にないと難しいと考えます。子育て支援のより一層の拡充を期待します。
- ・ 意識するきっかけになったので、アンケートの実施もとても効果的だと思います。
- ・ 幼稚園や保育園の保護者会でこのような話があると啓蒙に繋がるかもしれないと思いました。
- ・ 悩みや嫌な事があった時は我慢せずに話せる環境、嫌と言った事で不利益を得る事がないように守られる環境であって欲しいと思っています。
- ・ 「こどもの権利」を啓発することでこども等にどのようなメリットがあるのか、今一つわかりにくくなっていることが「こどもの権利」が浸透しない理由かと思われます。
- ・ 子どもたちにも周知し、必要な時に権利を主張できるようにしてあげたいと思います。母子手帳交付の際など、これから保護者となる方に周知パンフレットなどお渡しできたら良いかと思いました。
- ・ 私がこどもの頃はこどもの権利条約について学校で学びました。授業参観などで扱えば、保護者にも浸透するのではないのでしょうか。
- ・ 子ども本人や大人からの継続的な意見聴取、スピード感をもった改革を期待します。また子どものいない大人からの意見を聞く機会や、意識改革への取り組みもお願いしたいです。
- ・ 子どもが自分らしくのびのびと暮らすためには、親が笑顔でいることが大切だと考えます。そのため、親が好きな時に電話カウンセリングを受けられる環境を整えることで、その実現に近づけるのではないかと思います。
- ・ 子どもに関心がない方もいらっしゃると思います。また少子化により関心が薄れることも予測されるため、こどもの権利はますます重要になるかと思います。周知するために、こどもの権利はもちろんですが、この権利が守られ、子どもが健やかに育つことによって、どのような明るい影響があるのかを同時に伝えることも大切なことだと思います。権利が守られるためには、保護者の心の安定、大人の偏りのない目をもって子どもを見つめる気持ち、そんなところにも繋がっていったら良いと期待します。どうぞよろしくお願いします。
- ・ 匿名で相談できる窓口を作ってほしい。
- ・ 権利があったとしても、こどもにとって本音をだせる相手が少ないと思う。こどもが安心できる大人に対面で、自分の意見を話せる関係が必要だと考える。異年齢が関わることができる、安全な場や機会をつくる必要があると思う。
- ・ こどもが発言できる機会があればよいと思う。小学校の道徳の時間などで話し合い、話し合った内容を行政に提出できるようにしてはどうか。
- ・ 他の国や自治体で、こどもの権利に関して先進的な取り組みがあれば、具体的な事例を知りたい。それを紹介するイベントや勉強会を開いてほしい。こんな例があると分かれば、文京区ならこういう取り組みができそう、と考えやすい気がする。
- ・ 子どもが自分の気持ちに気づくことはとても難しく、さらにそれを言葉にする能力を身につけるためには時間を要すると感じます。感じ方や正しいと思うことは人それぞれなので、人と違う意見や考え方をもっていて良いということを、小さい頃から伝えてあげてほしいと思います。
- ・ こどもが、ひとりで孤立しない、地域で見守られる社会になってほしいと思います。
- ・ 学校などで知識をつけてあげて、子ども自身が親に許可を得なくてもアクセスできる窓口があるといいと思います。
- ・ 教育熱が高い文京区では特に遊び場の確保、休む権利の周知が必要です。

- ・まだ自分の意見を十分に表明することが難しいこども（生後6か月の乳児等）について、どのように権利を確保するかが難しいなと思いました。
- ・扶養世帯だけでなく皆で子どもの将来に投資する世の中であるべきと思います。
- ・こどもが塾や習い事のハシゴで忙しく、かわいそうだと思います。こども時代の自由な時間もこどもの権利なのにな、と思います。
- ・増える外国籍の人にもわかるようにしてほしい。
- ・子どもの最善の利益を考える、子どもの意思を尊重した社会が実現したら子どもも楽しく生きやすい社会になると思う。
- ・公共の場所で子連れの人が、肩身の狭い思いをしなくて済む街になってほしい。みんなが子どもに、子連れの親に、優しくなってほしい。
- ・他の区に比べて子どもたちを尊重してくれていてありがたい環境だと思う。小さいうちから子どもの権利について学べるような機会があればより良い。区内の保育園や幼稚園、こども園に区でつくった絵本や紙芝居などを通して伝えていって欲しい。
- ・どうせ言っても仕方ない、と子どもに思われぬように。全ての子どもに、自分たちには権利があることを知らせて欲しい。
- ・全てのこどもを対象にしていると理解していますが、最小限の支援で生きていけるお子さんと、多種多様な支援を必要とするお子さんでは共通の認識を得られないように思います。また、そういったお子さんごとの違いにより、その保護者や周囲の大人の認識も異なるように思います。文京区という同じコミュニティで生活し助け合っていく仲間として、共通の認識を得られるような施策になることを願っています。
- ・かしこまって学ぶのではなく、未就学児の頃から自然に触れる機会があり、当たり前知っているというようになれば考え方が普及していくのではないかと思います。
- ・条例には、「子どもの権利条約」の文言は含めてほしい。
- ・権利と共に義務もしっかりと教える。
- ・こどもの権利に関して、大人もこどもも認識する機会が少ないと思う。大人も知識を深めるとともに、こども自身が自分の権利を知り、尊重されるべき存在であることを認識することが必要だと思うのです、日頃の教育等で積極的にこどもに伝える機会を作っていただきたいと思う。
- ・正直、この条例があることは全く知りませんでした。ホームページに記載があっても全く関心がないから見ないで無知のままです。ホームページ以外で啓蒙していかないと何も変わらないと思います。
- ・子育て中の家庭は「こどもの権利」を意識したり学校などから情報を得る機会も多いですが、子育てを終えた家庭やこどものいない家庭の方は「こどもの権利」について学んだり知識をアップデートする機会がありません。社会全体に周知するには、これらの方々に「自分の生活にも関係があること」と捉えていただけるかどうか重要です。また、小学校高学年からの思春期は、子育て中の親にとって「こどもの権利」を認識し、こどもとの関わり方を再構築するタイミングなので、小学校高学年の保護者会で流すビデオ教材などがあると嬉しいです。

## 資料編

### (1) 調査依頼ハガキ

【共通】

郵便はがき

料金別納  
郵便


---

(お問い合わせ先)  
文京区 こどもの権利に関する意識調査 実施事務局  
(調査受託: )

〒  
電 話: (フリーコール) 平日:午前 9:00～午後5:00  
メー ル:

(調査実施者)  
文京区 子ども家庭部 子育て支援課 子ども施策推進担当

こどもの権利や  
条例の素案については  
こちら ▼




にほんごが わからないひとは こちら

Contact details 문의처 諮詢窗口 咨询单位

mail : bunkyo-kodomo@surece.co.jp

#### 【小学1～3年生】



文京区 ☆

### こどもの権利に関する意識調査（2回目） ご協力をお願い


保護者の方へ  
文京区では、「(仮称)こどもの権利に関する条例」を令和8年4月に施行する予定です。そこで、昨年に続き、こどもの権利に関する意識調査(2回目)を実施いたします。このはがきは0歳から高校3年生相当までの方にお送りしています。

お子様のお名前などが公表されることは一切ありません。また、ご回答いただいた内容は、条例を検討すること以外には使用いたしません。


本調査の趣旨をご理解いただき、必要に応じてお子様のご回答をサポートしていただくなど、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年5月 文京区長 成澤 廣 修

保護者の皆様の  
アンケートはこちら ▶




★令和6年度に実施した  
アンケート調査の結果はこちら ▶



しょうがく1～3ねんせいの みなさんへ

ぶんきょうくでは こどものけんりを まもるための ルールを  
かんがえています。そこで、みんなが ふだん おもっていること  
を おしえてね！


アンケートは こちら！



くりつ の しょうがくこうに  
かよっているひとは、  
がっこうの タブレットでも  
かいとうが できるよ！

6がつ8にち(にちようび) までに 1かいだけ こたえてね！  
わからないところは おうちのひとに おしえてもらいながら こたえてね！

#### 【小学4～6年生】



文京区 ☆

### こどもの権利に関する意識調査（2回目） ご協力をお願い


保護者の方へ  
文京区では、「(仮称)こどもの権利に関する条例」を令和8年4月に施行する予定です。そこで、昨年に続き、こどもの権利に関する意識調査(2回目)を実施いたします。このはがきは0歳から高校3年生相当までの方にお送りしています。

お子様のお名前などが公表されることは一切ありません。また、ご回答いただいた内容は、条例を検討すること以外には使用いたしません。


本調査の趣旨をご理解いただき、必要に応じてお子様のご回答をサポートしていただくなど、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年5月 文京区長 成澤 廣 修

保護者の皆様の  
アンケートはこちら ▶




★令和6年度に実施した  
アンケート調査の結果はこちら ▶



しょうがく4～6ねんせいの みなさんへ

ぶんきょうくでは、こどものけんりを守るためのルールを 考えています。  
そこで、みんながふだん思っていることを教えてね！


アンケートは こちら！



くりつ の しょうがくこうに  
かよっている  
ひとは、学校のタブレットでも  
かいとうが できるよ！

6がつ8日(にちようび) までに 1回だけ 答えてね！  
わからないところは、お家の人に教えてもらいながら答えてね！

## 【中学生】



### 文京区 子どもの権利に関する意識調査（2回目） ご協力をお願い

保護者の方へ


文京区では、「(仮称)子どもの権利に関する条例」を令和8年4月に施行する予定です。そこで、昨年に続き、子どもの権利に関する意識調査(2回目)を実施いたします。このはがきは0歳から高校3年生相当までの方にお送りしています。

お子様のお名前などが公表されることは一切ありません。また、ご回答いただいた内容は、条例を検討すること以外には使用いたしません。


本調査の趣旨をご理解いただき、必要に応じてお子様のご回答をサポートしていただくなど、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年5月 文京区長 成澤 廣 修

保護者の皆様のアンケートはこちら▶




★令和6年度に実施したアンケート調査の結果はこちら▶



#### 中学生のみなさんへ

文京区では、子どもの権利を守るため、「(仮称)子どもの権利に関する条例」を令和8年4月に施行する予定です。そこで、みなさんが普段思っていることを教えてください。


アンケートはこちら！



区立の中学校に通っている方は、学校のタブレットでも回答ができます。

**6月8日(日)まで に 1回だけ ご回答ください。**

## 【高校生相当】



### 文京区 子どもの権利に関する意識調査（2回目） ご協力をお願い

保護者の方へ


文京区では、「(仮称)子どもの権利に関する条例」を令和8年4月に施行する予定です。そこで、昨年に続き、子どもの権利に関する意識調査(2回目)を実施いたします。このはがきは0歳から高校3年生相当までの方にお送りしています。

お子様のお名前などが公表されることは一切ありません。また、ご回答いただいた内容は、条例を検討すること以外には使用いたしません。


本調査の趣旨をご理解いただき、必要に応じてお子様のご回答をサポートしていただくなど、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年5月 文京区長 成澤 廣 修

保護者の皆様のアンケートはこちら▶




★令和6年度に実施したアンケート調査の結果はこちら▶



#### 高校生相当のみなさんへ

文京区では、子どもの権利を守るため、「(仮称)子どもの権利に関する条例」を令和8年4月に施行する予定です。そこで、みなさんが普段思っていることを教えてください。


アンケートはこちら！



- ✓ アンケートの回答にかかる時間は、3分程度です。
- ✓ アンケートの回答は、1回のみでお願いします。

**ご回答受付期間：5月9日(金)～6月8日(日)**

## 【未就学児（保護者）】



### 文京区 子どもの権利に関する意識調査（2回目） ご協力をお願い

就学前のお子様の保護者の方へ

文京区では、「(仮称)子どもの権利に関する条例」を令和8年4月に施行する予定です。そこで、昨年に続き、子どもの権利に関する意識調査(2回目)を実施いたします。このはがきは0歳から高校3年生相当までの方にお送りしています。

調査結果は全て統計的な数値として処理するため、回答者が特定されることは一切ございません。また、ご回答いただいた内容は、条例を検討すること以外には使用いたしません。


本調査の趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

令和7年5月 文京区長 成澤 廣 修

#### ご 回 答 の ご 案 内


**ご回答受付期間：5月9日(金)～6月8日(日)**

アンケートはこちら！



- ✓ アンケートは保護者の方がお答えください。
- ✓ アンケートの回答にかかる時間は、3分程度です。
- ✓ アンケートの回答は、お一人1回のみでお願いします。

★令和6年度に実施したアンケート調査の結果はこちら▶



**ご家族のみなさままでぜひご回答ください！**

(2) 調査依頼チラシ

【区民等】



こどもの権利に関する意識調査(2回目)

# WEB アンケート ご協力をお願い

スマホで  
かんたん！



アンケートはこちら



最短  
3分！



## 対 象 者

文京区内在住・在勤・在学の方

- ※ 文京区内にお住まいの0歳から高校3年生相当までの方には、ご本人宛てに別途案内はがきをお送りしています。どちらか一方からご回答ください。
- ※ ご家族のみなさまでぜひご回答ください！

ご回答受付期間

5/9(金)

}

6/8(日)

## ご回答にあたって

- 文京区は、「子どもの権利条約」の考え方に基づき、「(仮称)こどもの権利に関する条例」を令和8年4月に施行する予定です。アンケートの結果は、条例を検討する際に基礎資料として活用いたします。
- アンケートは無記名です。回答者が特定されたり、回答内容が他の目的に使用されたりすることは一切ございません。
- アンケートの回答は、1回のみでお願いします。

## 【お問い合わせ】

文京区 こどもの権利に関する意識調査 実施事務局(調査受託:株式会社サーベイリサーチセンター)

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1-3

電 話:

メー ル:

にほんごが わからないひとは こちら  
Contact details 諮詢窓口 咨询单位 문의처

mail:

こどもの権利については  
こちら ▼



# し まも 知ろう! 守ろう! こどもの けん り 権利

ぶん きょう く 文京区はこどものけん り 権利についてのじょう れい 条例づくりにと くり 取り組んでいます

こどもの権利は、全てのこどもたちが生まれたときから持っており、こどもたちが健やかに、自分らしく育つために必要なものです。こどもの権利には、次のようなものがあります。

## 安心して生きる・過ごすための権利

- ✓ 命が守られ、尊重されること
- ✓ 家族や大切な人と一緒に過ごせること
- ✓ ゆったりと安心できる場所で休めること



## 成長と可能性に関する権利

- ✓ 遊び、学び、休むこと
- ✓ くり返し挑戦できること
- ✓ 個性が認められ、自分の可能性が大切にされること



## 必要な支援を受け、守られる権利

- ✓ 悩んでいること、困っていること等を相談できること
- ✓ こどもであることを理由に不当な扱いを受けないこと
- ✓ あらゆる差別や虐待、いじめなどを受けずに安心して生きていくことができること



## 参加と仲間づくりに関する権利

- ✓ 自分の意見、考え、気持ち等を表明し、それが尊重されること
- ✓ 仲間をつくり、集まること



令和8年4月の施行に向けて、「(仮称)こどもの権利に関する条例(素案)」を作成しました。ぜひご覧ください。

(仮称)こどもの権利に関する条例(素案)



## 「こどもの権利に関する意識調査」の結果を公表中!

- ★ 令和6年10~11月に実施したアンケート調査へのご協力ありがとうございました。

調査結果  
報告書 ▼



## 「こどもの権利」の啓発動画を公開中!

- ★ こども向けの分かりやすい動画です。
- ★ お子様から大人の方まで、ぜひご覧ください。



「こどもの権利」  
啓発動画 ▼



### (3) 調査画面

【小学1～3年生】

## ぶんきょうく こどもの けんりに かんする いしきちょうさ(2かいめ)【しょうがく1～3ねんせいむけ】

ぶんきょうくでは、こどものけんりを まもるための ルールを かんがえています。  
みなさんが ふだんおもっていることを おしえてください。

しょうがく1～3ねんせいむけアンケートに こたえる

#### 推奨環境

- スマートフォン
  - Android 7.0以上
    - Google Chrome(最新版)
  - iOS 13.0以上
    - Safari(最新版)
- パソコン
  - Windows または MacOS
    - Google Chrome(最新版)
    - Microsoft Edge(最新版)
    - Mozilla Firefox(最新版)
    - Safari(最新版)

※推奨環境下のご利用でも、OSとブラウザの組み合わせ、ブラウザの設定状況によっては表示、機能に不具合が起こる可能性があります。予めご了承くださいますようお願いいたします。

## ぶんきょうく こどもの けんりに かんする いしきちょうさ(2かいめ)【しょうがく1～3ねんせいむけ】

1 / 4 ページ

### Q1

あなたの がくねんを おしえて ください。(1つえらぶ)

- ☐ 1. しょうがく1ねんせい
- ☐ 2. しょうがく2ねんせい
- ☐ 3. しょうがく3ねんせい

### Q2

こどもには げんきで けんこうに じぶんらしく そだち、ありのままの じぶんで いきるために ひつような「こどもの けんり」が あります。

「こどもの けんり」について 知っていることは ありますか。すべて おしえて ください。(いくつでも えらべる)

- ☐ 1. すべての こどもが うまれたときから もっているもの
- ☐ 2. こどもの けんりは、こどもも おとなも みんなが ただしくして、まもっていくもの
- ☐ 3. じぶんだけでなく、ほかの こどもにもあって、おたがいに たいせつにするもの
- ☐ 4. すべての こどもは、どんなりゆうがあっても なかまはずれにされたいけないこと
- ☐ 5. こどものことが きめられるときは、こどもにとって 1ばんよいことを かんがえてもらえること
- ☐ 6. すべてのこどもは、げんきにいきで、そだつことができること
- ☐ 7. じぶんの きもちを いうことが できること。おとなは そのきもちを たいせつにしてくれること
- ☐ 8. どれも しらない

### Q3

あなたの「こどもの けんり」は たいせつにされていると おもいますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. たいせつにされている
- ☐ 2. たまに たいせつにされている
- ☐ 3. あまり たいせつにされていない
- ☐ 4. たいせつにされていない

**Q4**

あなたは まわりのひとに じぶんの きもちを いうことが できていますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. できている
- ☐ 2. たまにできている
- ☐ 3. あまりできていない
- ☐ 4. できていない

**Q5**

まわりのひとは あなたのことを きめるときに、あなたの きもちを かくにんしてくれますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. かくにんしてくれる
- ☐ 2. たまに かくにんしてくれる
- ☐ 3. あまり かくにんしてくれない
- ☐ 4. かくにんしてくれない

## ぶんきょうく こどもの けんりに かんする いしきちょうさ(2かいめ)【しょうがく1~3ねんせいむけ】

2 / 4 ページ

Q6

あなたの きもち、まわりの ひとに うけとめてもらっていますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. うけとめてもらっている
- ☐ 2. たまに うけとめてもらっている
- ☐ 3. あまり うけとめてもらえていない
- ☐ 4. うけとめてもらえていない

Q7

あなたには こまっていることや、なやんでいることを あんしんして はなせるひとは いますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. たくさん いる
- ☐ 2. すこし いる
- ☐ 3. あまり いない
- ☐ 4. いない

**Q7-1**

それは だれですか。すべて おしえて ください。(いくつでも えらべる)

<input type="checkbox"/> 1. おとうさん
<input type="checkbox"/> 2. おかあさん
<input type="checkbox"/> 3. おじいさん、おばあさん
<input type="checkbox"/> 4. おにいさん・おねえさん、おとうと・いもうと
<input type="checkbox"/> 5. がっこうの せんせい
<input type="checkbox"/> 6. スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカー
<input type="checkbox"/> 7. ほかごとうデイサービスの せんせい
<input type="checkbox"/> 8. ならいごとの せんせい
<input type="checkbox"/> 9. ともだち
<input type="checkbox"/> 10. きんじょのひと
<input type="checkbox"/> 11. くやくしよのひと
<input type="checkbox"/> 12. そのた
( <input type="text"/> )

**Q8**

くやくしよのひとに こまっていることや、なやんでいることを はなすばあい、どんなほうほうだと はなしやすいですか。すべて おしえて ください。(いくつでも えらべる)

<input type="checkbox"/> 1. あって はなす
<input type="checkbox"/> 2. でんわ
<input type="checkbox"/> 3. てがみや、はがき
<input type="checkbox"/> 4. ぶんきょうくの ホームページ
<input type="checkbox"/> 5. メール
<input type="checkbox"/> 6. チャット(ラインなど)
<input type="checkbox"/> 7. ファックス
<input type="checkbox"/> 8. そのた
( <input type="text"/> )
<input type="checkbox"/> 9. ない

## ぶんきょうく こどもの けんりに かんする いしきちょうさ(2かいめ)【しょうがく1~3ねんせいむけ】

3 / 4 ページ

Q9

あなたには ほとんどできるばしょが ありますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. たくさん ある
- ☐ 2. すこし ある
- ☐ 3. あまり ない
- ☐ 4. ない

Q10

どんなばしょが あったらよいと おもいますか。すべて おしえて ください。(いくつでも えらべる)

- ☐ 1. いつでも いきたいときに いけるところ
- ☐ 2. なにもしないで ゆっくりできるところ
- ☐ 3. まわりのひとを きにしないで いられるところ
- ☐ 4. ひとりで いられるところ
- ☐ 5. おしゃべりが できるところ
- ☐ 6. いろいろな ねんれいのひとと おしゃべりが できるところ
- ☐ 7. なやみを いうことが できるところ
- ☐ 8. スポーツが たのしめるところ
- ☐ 9. おんがくが たのしめるところ
- ☐ 10. パソコンやゲームが たのしめるところ
- ☐ 11. しずかに べんきょうできるところ
- ☐ 12. しぜんが あるところ
- ☐ 13. その他  
(  )
- ☐ 14. ない

## ぶんきょうく こどもの けんりに かんする いしきちょうさ(2かいめ)【しょうがく1~3ねんせいむけ】

4 / 4 ページ

### Q11

「こどもの けんり」を たいせつに するために おとなに してほしいことを すべて おしえて ください。(いくつでも えらべる)

- ☐ 1. かぞくが こどもの けんりのことを、してほしい
- ☐ 2. がっこうの せんせいなど、こどもと かかわるおとなが こどもの けんりのことを、してほしい
- ☐ 3. こどもの きもちを きいて、たいせつに してほしい
- ☐ 4. こまっていることや、なやんでいることを あんしんして はなせるばしよを つくってほしい
- ☐ 5. ほっとできるばしよを つくってほしい
- ☐ 6. こどもの けんりのことを、みんなに しらせてほしい
- ☐ 7. かんがえていることを いうじかんや、ばしよを つくってほしい
- ☐ 8. いけんを かなえてほしい
- ☐ 9. その他  
(  )
- ☐ 10. ない

### Q12

あなたと おなじとしの こどもに「こどもの けんり」について してもらうには どのようなやりかたが よいとおもいますか。すべて おしえて ください。(いくつでも えらべる)

- ☐ 1. パンフレット
- ☐ 2. ポスター、チラシ
- ☐ 3. ホームページ
- ☐ 4. どうが
- ☐ 5. がっこう
- ☐ 6. SNS(LINE、X、Instagramなど)  
フェイスライン エクス インスタグラム
- ☐ 7. えほんやマンガ
- ☐ 8. ゲームで まなぶ(カードゲームや、ボードゲームなど)
- ☐ 9. イベント
- ☐ 10. その他  
(  )
- ☐ 11. ない

**Q13**

「こどもの けんり」について おもったこと、つたえたいことが あれば、じゆうに かいて ください。

A large empty rectangular box with a thin black border, intended for the respondent to write their answer. A small icon of a pencil is visible in the bottom right corner of the box.

## ぶんきょうく こどもの けんりに かんする いしきちょうさ(2かいめ)【しょうがく1~3ねんせいむけ】

かいとうが おくられました

---

ありがとうございました。

こどものけんりについて、もっと知りたいひとは [こちら](https://www.city.bunkyo.lg.jp/b022/p007744.html)  
<https://www.city.bunkyo.lg.jp/b022/p007744.html>

【小学4～6年生】

ぶんきょうく 文京区こどものけんりにかんする いしきちようさ 意識調査(2回目) かいめ しょうがく 小学4～6年生向け ねんせいむ

ぶんきょうく 文京区では、こどものけんりを守るためのルールをかんがえています。

みなさんがふだんおもっていることをおしえてください。

しょうがく 小学4～6年生向けアンケートにこたえる

すいしょうかんきょう 推奨環境

- スマートフォン
  - Android 7.0以上
    - Google Chrome(さいしんばん 最新版)
  - iOS 13.0以上
    - Safari(さいしんばん 最新版)
- パソコン
  - Windows または MacOS
    - Google Chrome(さいしんばん 最新版)
    - Microsoft Edge(さいしんばん 最新版)
    - Mozilla Firefox(さいしんばん 最新版)
    - Safari(さいしんばん 最新版)

※すいしょうかんきょうか りよう 推奨環境下のご利用でも、OSとブラウザのくあ 組み合わせ、ブラウザのせっていじょうきょう 設定状況によってはひょうじ 表示、きんのう 機能にふくあ い お かなのうせい 可能性があります。あらかじめ承く 承 くださいますようお願いいたします。

Q1

あなたの学年<sup>かくねん</sup>をおし  
教えてください。(1つえらぶ)

☐ 1. 小学4年生<sup>しょうがく ねんせい</sup>

☐ 2. 小学5年生<sup>しょうがく ねんせい</sup>

☐ 3. 小学6年生<sup>しょうがく ねんせい</sup>

Q2

こどもには元気<sup>げんき</sup>で健康<sup>けんこう</sup>に自分らしく<sup>じぶん</sup>育ち<sup>そだ</sup>、ありのままの自分<sup>じぶん</sup>で生きるために必要な「こどものけんり」<sup>ひつよう</sup>  
があります。

「こどものけんり」について知<sup>し</sup>っていることはありますが。すべて教<sup>おし</sup>えてください。(いくつでもえら  
べる)

☐ 1. すべてのこどもが生ま<sup>う</sup>れたときから持っているもの

☐ 2. こどものけんりは、こどもも大人<sup>おとな</sup>もみんなが正<sup>ただ</sup>しく知<sup>し</sup>って、まも<sup>まも</sup>っていくもの

☐ 3. 自分<sup>じぶん</sup>だけでなく、ほかのこどもにもあり、おたがいに大切<sup>たいせつ</sup>にするもの

☐ 4. すべてのこどもは、どんな理<sup>りゆう</sup>由があってもさべつされてはいけないこと

☐ 5. こどものことが決<sup>き</sup>められるときは、こどもにとって1番<sup>ばん</sup>よいことをかんが<sup>かんが</sup>えてもらえること

☐ 6. すべてのこどもは、元気<sup>げんき</sup>に生<sup>い</sup>きて、そだ<sup>そだ</sup>つことができること

☐ 7. 自分<sup>じぶん</sup>のことについて、自分<sup>じぶん</sup>の意見<sup>いけん</sup>や気持<sup>きもち</sup>を言<sup>い</sup>うことができること。大人<sup>おとな</sup>はその意見<sup>いけん</sup>を大切<sup>たいせつ</sup>にして  
くれること

☐ 8. どれも知<sup>し</sup>らない

Q3

あなたの「こどものけんり」は大切にされているとおもいますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. 大切にされている
- ☐ 2. たまに大切にされている
- ☐ 3. あまり大切にされていない
- ☐ 4. 大切にされていない

Q4

あなたはまわりの人に自分の気持ちや意見を言うことができますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. できている
- ☐ 2. たまにできている
- ☐ 3. あまりできていない
- ☐ 4. できていない

Q5

まわりの<sup>ひと</sup>人はあなたのことを決める<sup>きま</sup>るときに、あなたの気持ちや意見<sup>いけん</sup>をかくにんしてくれますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. かくにんしてくれる
- ☐ 2. たまにかくにんしてくれる
- ☐ 3. あまりかくにんしてくれない
- ☐ 4. かくにんしてくれない

Q6

あなたの気持ちや意見<sup>いけん</sup>は、まわりの人に受け止めてもらっていますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. 受け止めてもらっている
- ☐ 2. たまに受け止めてもらっている
- ☐ 3. あまり受け止めてもらえていない
- ☐ 4. 受け止めてもらえていない

Q7

あなたには安心して相談<sup>そうだん</sup>できる相手<sup>あいて</sup>はいますか。(1つえらぶ)

- ☐ 1. たくさんいる
- ☐ 2. すこしいる
- ☐ 3. あまりいない
- ☐ 4. いない

Q7-1

それはだれですか。すべて<sup>おし</sup>教えてください。(いくつでもえらべる)

☐ 1. お父<sup>ちち</sup>さん

☐ 2. お母<sup>はは</sup>さん

☐ 3. おじいさん、おばあさん

☐ 4. きょうだい

☐ 5. 学校<sup>がっこう</sup>の先生<sup>せんせい</sup>

☐ 6. スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー

☐ 7. 放課後<sup>ほうかご</sup>等<sup>どう</sup>デイサービスの先生<sup>せんせい</sup>

☐ 8. 習い事<sup>なつごと</sup>の先生<sup>せんせい</sup>

☐ 9. 友達<sup>ともだち</sup>

☐ 10. 近所<sup>きんじよ</sup>の人<sup>ひと</sup>

☐ 11. 区役所<sup>くやくじよ</sup>などの相談窓口<sup>そうだんまどぐち</sup>

☐ 12. その他<sup>た</sup>

(  )

Q8

くやくしょ 区役所などにあるこどもの<sup>そうだんまどぐち</sup>相談窓口では、どんな<sup>ほうほう</sup>方法だと<sup>そうだん</sup>相談しやすいですか。すべて教えてください。(いくつでもえらべる)

☐ 1. <sup>ちよくせつあ</sup>直接会う

☐ 2. <sup>でんわ</sup>電話

☐ 3. <sup>てがみ</sup>手紙やはがき

☐ 4. ホームページの<sup>そうだん</sup>相談フォーム

☐ 5. メール

☐ 6. チャット(<sup>ライン</sup>LINEなど)

☐ 7. ファックス

☐ 8. その他

(  )

☐ 9. とくにない

Q9

あなたには<sup>あんしん</sup>安心してすごせる場所<sup>ばしょ</sup>がありますか。(1つえらぶ)

☐ 1. たくさんある

☐ 2. すこしある

☐ 3. あまりない

☐ 4. ない

Q10

どんな場所<sup>ばしょ</sup>があったらよいと思いますか。すべて教えてください。(いくつでもえらべる)

☐ 1. いつでも行き<sup>い</sup>たいときに行<sup>い</sup>けるところ

☐ 2. 何も<sup>なに</sup>せずゆっくりできるところ

☐ 3. まわりを<sup>ま</sup>気にせず、ありのままの自分<sup>じぶん</sup>でいられるところ

☐ 4. 一人<sup>ひとり</sup>でいられるところ

☐ 5. おしゃべりができるところ

☐ 6. いろいろな年齢<sup>ねんれい</sup>の人<sup>ひと</sup>とおしゃべりができるところ

☐ 7. なやみ<sup>そつだん</sup>を相談<sup>そうだん</sup>できるところ

☐ 8. スポーツが<sup>たの</sup>楽しめるところ

☐ 9. 音楽<sup>おんがく</sup>が<sup>たの</sup>楽しめるところ

☐ 10. パソコンやゲームが<sup>たの</sup>楽しめるところ

☐ 11. しずかに勉強<sup>べんきょう</sup>できるところ

☐ 12. 自然<sup>しぜん</sup>があるところ

☐ 13. その他<sup>た</sup>

(  )

☐ 14. とくにない

Q11

「こどものけんり」を大切に<sup>たいせつ</sup>するために大人<sup>おとな</sup>にしてほしいことをすべて<sup>おし</sup>教えてください。(いくつでもえらべる)

- ☐ 1. 家族<sup>かぞく</sup>がこどものけんりについて、理解<sup>りかい</sup>してほしい
- ☐ 2. 学校<sup>がっこう</sup>の先生<sup>せんせい</sup>など、こどもとかかわる大人<sup>おとな</sup>がこどものけんりについて、理解<sup>りかい</sup>してほしい
- ☐ 3. こどもの意見<sup>いけん</sup>や気持ち<sup>きもち</sup>をありのままに受け止め、尊重<sup>そんちょう</sup>してほしい
- ☐ 4. 安心<sup>あんしん</sup>して相談<sup>そうだん</sup>できる場所<sup>ばしょ</sup>をつくってほしい
- ☐ 5. 安心<sup>あんしん</sup>してすごせる居場所<sup>いばしょ</sup>やかんきょうをつくってほしい
- ☐ 6. こどものけんりについて、みんなに知<sup>し</sup>らせてほしい
- ☐ 7. 意見<sup>いけん</sup>を言う時間<sup>い じかん</sup>や場所<sup>ばしょ</sup>をつくってほしい
- ☐ 8. 意見<sup>いけん</sup>を反映<sup>はんえい</sup>してほしい
- ☐ 9. その他<sup>た</sup>
- (  )
- ☐ 10. とくにない

Q12

あなたと同じ<sup>おな</sup>年の<sup>とし</sup>こどもに、「こどものけんり」について知らせるにはどのようなやり方<sup>かた</sup>がよいと思いますか。すべて<sup>おし</sup>教えてください。(いくつでもえらべる)

<input type="checkbox"/> 1. パンフレット
<input type="checkbox"/> 2. ポスター、チラシ
<input type="checkbox"/> 3. ホームページ
<input type="checkbox"/> 4. <sup>どうが</sup> 動画
<input type="checkbox"/> 5. <sup>がっこう</sup> 学校
<input type="checkbox"/> 6. SNS(LINE、X、 <sup>インスタグラム</sup> Instagramなど)
<input type="checkbox"/> 7. <sup>えほん</sup> 絵本やマンガなど
<input type="checkbox"/> 8. ゲームで <sup>まな</sup> ぶ(カードゲームやボードゲームなど)
<input type="checkbox"/> 9. セミナー、 <sup>こうえんかい</sup> 講演会、イベント
<input type="checkbox"/> 10. その他
( <input type="text"/> )
<input type="checkbox"/> 11. とくにない

Q13

「こどものけんり」について<sup>おも</sup>思ったこと、つたえたいことがあれば、自由<sup>じゆう</sup>に<sup>か</sup>書いてください。

<div></div>
-------------

かいどう おく  
回答が送られました。

---

ありがとうございました。

ことものけんりについて、もっと知りたい人はこちら  
<https://www.city.bunkyo.lg.jp/b022/p007744.html>

【中学生、高校生相当】

## 文京区こどもの権利に関する意識調査(2回目)【中学生・高校生相当向け】

文京区では、「(仮称)こどもの権利に関する条例」を令和8年4月に施行する予定です。  
そこで、すべての方を対象に、こどもの権利に関する意識調査(2回目)を実施いたします。  
本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※(仮称)こどもの権利に関する条例(素案)において「こども」とは、  
「18歳未満の人」と「これらの人と等しく権利を認めることが適当な人」を言います。

中学生・高校生相当向けアンケートに回答する

### 推奨環境

- スマートフォン
  - Android 7.0以上
    - Google Chrome(最新版)
  - iOS 13.0以上
    - Safari(最新版)
- パソコン
  - Windows または MacOS
    - Google Chrome(最新版)
    - Microsoft Edge(最新版)
    - Mozilla Firefox(最新版)
    - Safari(最新版)

※推奨環境下のご利用でも、OSとブラウザの組み合わせ、ブラウザの設定状況によっては表示、機能に不具合が起こる可能性があります。予めご了承くださいますようお願いいたします。

## 文京区こどもの権利に関する意識調査(2回目)【中学生・高校生相当向け】

1 / 3 ページ

### Q1

あなたの学年を教えてください。(選択は1つ)

- ☐ 1. 中学1年生
- ☐ 2. 中学2年生
- ☐ 3. 中学3年生
- ☐ 4. 高校1年生相当
- ☐ 5. 高校2年生相当
- ☐ 6. 高校3年生相当

### Q2

こどもには元気で健康に自分らしく育ち、ありのままの自分で生きるために必要な「こどもの権利」があります。

「こどもの権利」について知っていることはありますか。すべて教えてください。(選択はいくつでも)

- ☐ 1. すべてのこどもが生まれたときから持っているもの
- ☐ 2. こどもの権利は、こどもも大人もみんなが正しく知って、守っていくもの
- ☐ 3. 自分だけでなく、ほかのこどもにもあり、お互いに大切にすること
- ☐ 4. すべてのこどもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと
- ☐ 5. こどもに関することが決められ、行われるときは、「そのこどもにとって最もよいことは何か」を第一に考えてもらえること
- ☐ 6. すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、必要な支援を受けられること
- ☐ 7. こどもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、こどもの意見は尊重されること
- ☐ 8. どれも知らない

**Q3**

あなたの「こどもの権利」は大切にされていると思いますか。(選択は1つ)

- ☐ 1. 大切にされている
- ☐ 2. たまに大切にされている
- ☐ 3. あまり大切にされていない
- ☐ 4. 大切にされていない

**Q4**

あなたはまわりの人に自分の気持ちや意見を言うことができますか。(選択は1つ)

- ☐ 1. できている
- ☐ 2. たまにできている
- ☐ 3. あまりできていない
- ☐ 4. できていない

**Q5**

まわりの人はあなたのことを決めるときに、あなたの気持ちや意見を確認してくれますか。(選択は1つ)

- ☐ 1. 確認してくれる
- ☐ 2. たまに確認してくれる
- ☐ 3. あまり確認してくれない
- ☐ 4. 確認してくれない

## 文京区こどもの権利に関する意識調査(2回目)【中学生・高校生相当向け】

2 / 3 ページ

### Q6

あなたの気持ちや意見は、まわりの人に受け止めてもらっていますか。(選択は1つ)

- ☐ 1. 受け止めてもらっている
- ☐ 2. たまに受け止めてもらっている
- ☐ 3. あまり受け止めてもらえていない
- ☐ 4. 受け止めてもらえていない

### Q7

あなたには安心して相談できる相手はいますか。(選択は1つ)

- ☐ 1. たくさんいる
- ☐ 2. すこしいる
- ☐ 3. あまりいない
- ☐ 4. いない

**Q7-1**

それはだれですか。すべて教えてください。(選択はいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1. 父
<input type="checkbox"/> 2. 母
<input type="checkbox"/> 3. 祖父母
<input type="checkbox"/> 4. きょうだい
<input type="checkbox"/> 5. 学校の先生
<input type="checkbox"/> 6. スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー
<input type="checkbox"/> 7. 放課後等デイサービスの先生
<input type="checkbox"/> 8. 習い事の先生
<input type="checkbox"/> 9. 友達
<input type="checkbox"/> 10. 先輩・後輩
<input type="checkbox"/> 11. 地域活動で関わった人や近所の人
<input type="checkbox"/> 12. 区や都の行政の相談窓口
<input type="checkbox"/> 13. その他
( <input type="text"/> )

**Q8**

区役所などにあるこどもの相談窓口では、どんな方法だと相談しやすいですか。すべて教えてください。  
(選択はいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1. 対面
<input type="checkbox"/> 2. 電話
<input type="checkbox"/> 3. 手紙やはがき
<input type="checkbox"/> 4. ホームページの相談フォーム
<input type="checkbox"/> 5. メール
<input type="checkbox"/> 6. チャット(LINEなど)
<input type="checkbox"/> 7. FAX
<input type="checkbox"/> 8. その他
( <input type="text"/> )
<input type="checkbox"/> 9. 知らない

## 文京区こどもの権利に関する意識調査(2回目)【中学生・高校生相当向け】

3 / 3 ページ

### Q9

あなたには安心して過ごせる居場所がありますか。(選択は1つ)

☐ 1. たくさんある

☐ 2. すこしある

☐ 3. あまりない

☐ 4. ない

### Q10

どんな居場所があったらよいと思いますか。すべて教えてください。(選択はいくつでも)

☐ 1. いつでも行きたいときに行けるところ

☐ 2. 何もせずゆっくりできるところ

☐ 3. まわりを気にせず、ありのままの自分でいられるところ

☐ 4. 一人で過ごせるところ

☐ 5. 気軽におしゃべりができるところ

☐ 6. いろいろな年齢の人と触れ合えるところ

☐ 7. 悩みを相談できるところ

☐ 8. スポーツが楽しめるところ

☐ 9. 音楽が楽しめるところ

☐ 10. パソコンやゲームが楽しめるところ

☐ 11. 静かに勉強できるところ

☐ 12. 緑がたくさんあり、自然と触れ合えるところ

☐ 13. その他

(  )

☐ 14. 特にない

**Q11**

「こどもの権利」を大切にするために大人や社会にしてほしいことをすべて教えてください。(選択はいくつでも)

- ☐ 1. 保護者がこどもの権利について、理解を深めてほしい
- ☐ 2. 学校の先生など、こどもと関わる大人がこどもの権利について、理解を深めてほしい
- ☐ 3. こどもの意見や気持ちをありのままに受け止め、尊重してほしい
- ☐ 4. 安心して相談できる窓口や機会をつくってほしい
- ☐ 5. 安心して過ごせる居場所や環境をつくってほしい
- ☐ 6. こどもの権利について、普及啓発を行ってほしい
- ☐ 7. 意見を表明する機会や社会活動に参加する機会をつくってほしい
- ☐ 8. 表明した意見を反映してほしい
- ☐ 9. その他
- (  )
- ☐ 10. 特にない

**Q12**

「こどもの権利」について、あなたと同世代のこどもへの周知方法としてどのようなやり方が効果的だと思いますか。すべて教えてください。(選択はいくつでも)

- ☐ 1. パンフレット
- ☐ 2. ポスター、チラシ
- ☐ 3. ホームページ
- ☐ 4. 動画
- ☐ 5. 学校
- ☐ 6. SNS(LINE、X、Instagramなど)
- ☐ 7. 絵本やマンガなどの書籍
- ☐ 8. ゲームで学ぶ(カードゲームやボードゲームなど)
- ☐ 9. セミナー、講演会、イベント
- ☐ 10. その他
- (  )
- ☐ 11. 特にない

**Q13**

「こどもの権利」についてご意見やご要望、期待することなどがありましたら、自由にご回答ください。

※文京区では、(仮称)こどもの権利に関する条例(素案)をホームページに公表しています。

この素案についても、ご意見やご要望などがありましたら、自由にご回答ください。

また、条例に入っていたらよいと思う言葉などがありましたら、そちらについても自由にご回答ください。



## 文京区こどもの権利に関する意識調査(2回目)【中学生・高校生相当向け】

回答が送信されました

---

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

こどもの権利について、詳しく知りたい方はこちら

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/b022/p007744.html>

## 文京区こどもの権利に関する意識調査(2回目)【大人向け】

文京区では、「(仮称)こどもの権利に関する条例」を令和8年4月に施行する予定です。  
そこで、すべての方を対象に、こどもの権利に関する意識調査(2回目)を実施いたします。  
本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※(仮称)こどもの権利に関する条例(素案)において「こども」とは、  
「18歳未満の人」と「これらの人と等しく権利を認めることが適当な人」を言います。

### 大人向けアンケートに回答する

※このアンケートは大人以外の方にもお願いしています。  
小学生、中学生、高校生相当の方はこちらから回答してください。

しょうがく1～3ねんせいむけアンケートに こたえる

しょうがく ねんせいむ  
小学4～6年生向けアンケートにこたえる

中学生・高校生相当向けアンケートに回答する

### 推奨環境

- スマートフォン
  - Android 7.0以上
    - Google Chrome(最新版)
  - iOS 13.0以上
    - Safari(最新版)
- パソコン
  - Windows または MacOS
    - Google Chrome(最新版)
    - Microsoft Edge(最新版)
    - Mozilla Firefox(最新版)
    - Safari(最新版)

※推奨環境下のご利用でも、OSとブラウザの組み合わせ、ブラウザの設定状況によっては表示、機能に不具合が起こる可能性があります。予めご了承くださいますようお願いいたします。

## 文京区こどもの権利に関する意識調査(2回目)【大人向け】

1 / 2 ページ

### Q1

あなたの年齢を教えてください。(選択は1つ)

☐ 1. 18、19歳

☐ 2. 20～29歳

☐ 3. 30～39歳

☐ 4. 40～49歳

☐ 5. 50～59歳

☐ 6. 60～69歳

☐ 7. 70～79歳

☐ 8. 80歳以上

### Q2

あなたのご家族に以下のお子さん又はお孫さんはいますか。(選択はいくつでも)

☐ 1. 未就学児

☐ 2. 小学1～3年生

☐ 3. 小学4～6年生

☐ 4. 中学生

☐ 5. 高校生相当

☐ 6. いない

### Q2-1

あなたは日頃18歳未満の子どもと関わる機会がありますか。(選択は1つ)

☐ 1. ある

☐ 2. ない

**Q3**

子どもには元気で健康に自分らしく育ち、ありのままの自分で生きるために必要な「子どもの権利」があります。

「子どもの権利」について知っていることはありますか。すべて教えてください。(選択はいくつでも)

- ☐ 1. すべての子どもが生まれたときから持っているもの
- ☐ 2. 子どもの権利は、子どもも大人もみんなが正しく知って、守っていくもの
- ☐ 3. 自分だけでなく、ほかの子どもにもあり、お互いに大切にすること
- ☐ 4. すべての子どもは、人種、国籍、性、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されてはいけないこと
- ☐ 5. 子どもに関することが決められ、行われるときは、「その子どもにとって最もよいことは何か」を第一に考えてもらえること
- ☐ 6. すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、必要な支援を受けられること
- ☐ 7. 子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、子どもの意見は尊重されること
- ☐ 8. どれも知らない

**Q3-1**

【あなたのお子さんや日頃関わっている子どもとの関係についてお伺いします。】

あなたは子どもと関わるときに、「子どもの権利」をどのくらい意識して接していますか。(選択は1つ)

- ☐ 1. 意識している
- ☐ 2. たまに意識している
- ☐ 3. あまり意識していない
- ☐ 4. 意識していない

**Q4**

【文京区のことについてお伺いします。】

「子どもの権利」はどのくらい大切にされていると思いますか。(選択は1つ)

- ☐ 1. 大切にされている
- ☐ 2. たまに大切にされている
- ☐ 3. あまり大切にされていない
- ☐ 4. 大切にされていない
- ☐ 5. わからない

**Q5**

【文京区のことについてお伺いします。】

こどもはまわりの人に自分の気持ちや意見をどのくらい言うことができていると思いますか。(選択は1つ)

- ☐ 1. できている
- ☐ 2. たまにできている
- ☐ 3. あまりできていない
- ☐ 4. できていない
- ☐ 5. わからない

**Q5-1**

【あなたのお子さんや日頃関わっているこどもとの関係についてお伺いします。】

あなたはこどものことを決めるときにこどもの気持ちや意見をどのくらい確認していますか。(選択は1つ)

- ☐ 1. 確認している
- ☐ 2. たまに確認している
- ☐ 3. あまり確認していない
- ☐ 4. 確認していない

**Q5-2**

【あなたのお子さんや日頃関わっているこどもとの関係についてお伺いします。】

あなたはこどもの相談相手にどのくらいなっていますか。(選択は1つ)

- ☐ 1. なっている
- ☐ 2. たまになっている
- ☐ 3. あまりなっていない
- ☐ 4. なっていない

## 文京区こどもの権利に関する意識調査(2回目)【大人向け】

2 / 2 ページ

### Q6

区役所などにあるこどもに関する相談窓口では、どんな方法だと相談しやすいですか。すべて教えてください。(選択はいくつでも)

☐ 1. 対面

☐ 2. 電話

☐ 3. 手紙やはがき

☐ 4. ホームページの相談フォーム

☐ 5. メール

☐ 6. チャット(LINEなど)

☐ 7. FAX

☐ 8. その他

(  )

☐ 9. 特にない

**Q7**

こどもの居場所としてどのような場所があるとよいと思いますか。すべて教えてください。(選択はいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1. いつでも行きたいときに行けるところ
<input type="checkbox"/> 2. 何もせずゆっくりできるところ
<input type="checkbox"/> 3. まわりを気にせず、ありのままの自分でいられるところ
<input type="checkbox"/> 4. 一人で過ごせるところ
<input type="checkbox"/> 5. 気軽におしゃべりができるところ
<input type="checkbox"/> 6. いろいろな年齢の人と触れ合えるところ
<input type="checkbox"/> 7. 悩みを相談できるところ
<input type="checkbox"/> 8. スポーツが楽しめるところ
<input type="checkbox"/> 9. 音楽が楽しめるところ
<input type="checkbox"/> 10. パソコンやゲームが楽しめるところ
<input type="checkbox"/> 11. 静かに勉強できるところ
<input type="checkbox"/> 12. 緑がたくさんあり、自然と触れ合えるところ
<input type="checkbox"/> 13. その他
( <input type="text"/> )
<input type="checkbox"/> 14. 特にない

**Q8**

「こどもの権利」を守るために、周りの大人が行うべきことは何だと思いますか。すべて教えてください。(選択はいくつでも)

<input type="checkbox"/> 1. すべての大人がこどもの権利について、理解を深める
<input type="checkbox"/> 2. こどもの意見や気持ちをありのままに受け止め、尊重する
<input type="checkbox"/> 3. 安心して相談できる機会などをつくる
<input type="checkbox"/> 4. 安心して過ごせる居場所や環境をつくる
<input type="checkbox"/> 5. 意見を表明する機会や社会活動に参加する機会をつくる
<input type="checkbox"/> 6. 表明した意見を尊重し反映に努める
<input type="checkbox"/> 7. その他
( <input type="text"/> )
<input type="checkbox"/> 8. 特にない

**Q9**

「こどもの権利」を守るために、社会や行政が行うべきことは何だと思いますか。すべて教えてください。  
(選択はいくつでも)

- ☐ 1. 地域社会全体でこどもを見守り、こどもを支援する
- ☐ 2. こどもの権利について、普及啓発を行う
- ☐ 3. こどもが安心して相談できる窓口や体制を整備する
- ☐ 4. 安心して過ごせる居場所や環境をつくる
- ☐ 5. こどもが意見を表明し、社会活動に参加できる機会をつくる
- ☐ 6. 保護者が安心して子育てができるよう、必要な支援を行う
- ☐ 7. 事業所で働く人が仕事と子育てを両立できる環境づくりを行う
- ☐ 8. こどもの状況や環境等に応じて、こどもが望むように育ち、学ぶことができる環境づくりを行う
- ☐ 9. その他  
(  )
- ☐ 10. 特にない

**Q10**

「こどもの権利」について、大人への周知方法としてどのようなやり方が効果的だと思いますか。すべて教えてください。(選択はいくつでも)

- ☐ 1. パンフレット
- ☐ 2. ポスター、チラシ
- ☐ 3. ホームページ
- ☐ 4. 動画
- ☐ 5. SNS(LINE、X、Instagramなど)
- ☐ 6. 書籍(絵本やまんがなどを含む)
- ☐ 7. ゲームで学ぶ(カードゲームやボードゲームなど)
- ☐ 8. セミナー、講演会、イベント
- ☐ 9. その他  
(  )
- ☐ 10. 特にない

**Q11**

「こどもの権利」についてご意見やご要望、期待することなどがありましたら、自由にご回答ください。

※文京区では、(仮称)こどもの権利に関する条例(素案)をホームページに公表しています。

この素案についても、ご意見やご要望などがありましたら、自由にご回答ください。

また、条例に入っていたらよいと思う言葉などがありましたら、そちらについても自由にご回答ください。

## 文京区こどもの権利に関する意識調査(2回目)【大人向け】

回答が送信されました

---

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

こどもの権利について、詳しく知りたい方はこちら

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/b022/p007744.html>



---

こどもの権利に関する意識調査（２回目）  
報 告 書

令和７年 11 月

文京区 子ども家庭部 子育て支援課 子ども施策推進担当

〒112-8555 東京都文京区春日 1-16-21  
電話 03-5803-1256 FAX 03-5803-1345

印刷物番号 F0125011